

令和4年度みえ森と緑の県民税基金事業（資料編）

目次

①	みえ森と緑の県民税基金積立金事業	1-1
②	災害に強い森林づくり推進事業	1-2
	ア. 災害緩衝林整備事業	
③	森林情報基盤整備事業	1-37
④	森を育む人づくりサポート体制整備事業	
	ア. 森林教育体制整備事業	1-49
	イ. みえ森づくりサポートセンター運営事業	1-83
	ウ. 森林教育施設整備事業	1-107
⑤	生物多様性推進事業	1-114
⑥	森林とふれあう自然公園環境整備事業	1-119
⑦	みえ森と緑の県民税市町交付金事業	2-1
	ア. みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業	2-3
	a. 流域防災機能強化対策事業	
	b. 森林再生力強化対策事業	
	イ. みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業	2-17
	a. 災害からライフラインを守る事前伐採事業	
	ウ. みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業	3-1
⑧	みえ森と緑の県民税制度運営事業	33-1

① 令和 4 年度みえ森と緑の県民税基金事業の構成

① みえ森と緑の県民税基金積立金事業 1,149,251 千円



災害に強い森林づくり推進事業

三重県農林水産部治山林道課

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、県が流木災害等を軽減するため、溪流内の危険木の除去、流木や土砂の流下を緩衝する溪流沿いの森林整備、倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

また、豪雨時に流下して下流に被害を与えるおそれのある溪流内に異常に堆積した流木や土砂等について、除去を行います。

災害緩衝林整備事業

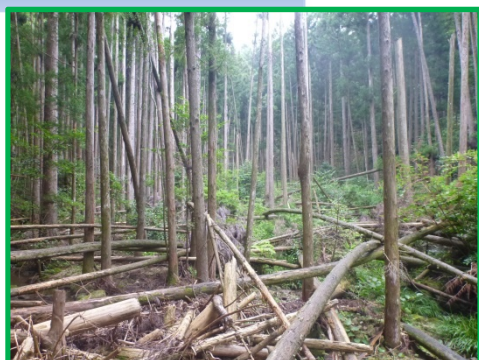
溪流部において、流木になる恐れのある危険木を下流へ流れ出さなくするために「危険木の伐採、撤去」

の周辺溪岸部において、上流からの土砂の流下を緩和するために「立木の大径化を促す調整伐、伐採木の撤去」

の周辺山腹部において、溪流内に土砂が流れ出さなくするために「立木の根系の発達を促す調整伐」

土砂・流木緊急除去事業

豪雨等によって流出し人家等に被害を与える恐れのある「異常に堆積した流木や土砂等の除去」



整備前の森林状況



整備後の森林状況(紀宝町内)

災害緩衝林整備事業

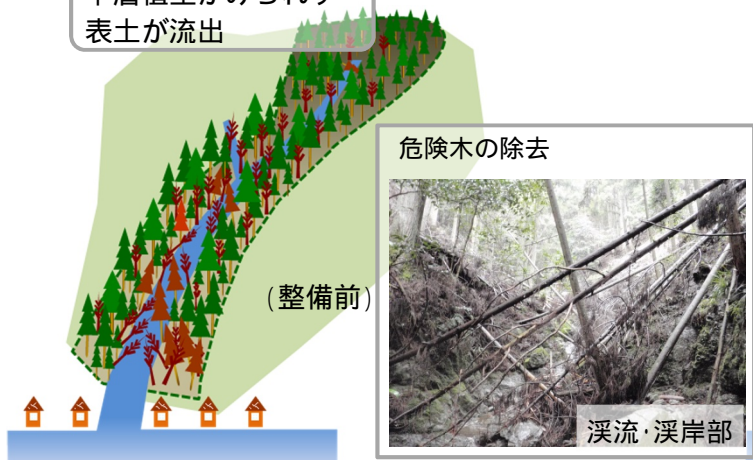
近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、流木災害等を軽減するため、溪流内の危険木の除去、流木や土砂の流下を緩衝する溪流沿いの森林整備、倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

< 整備前の森林の状態 >

流出する恐れのある危険木が存在

間伐不足で過密小径な林分

下層植生がみられず表土が流出

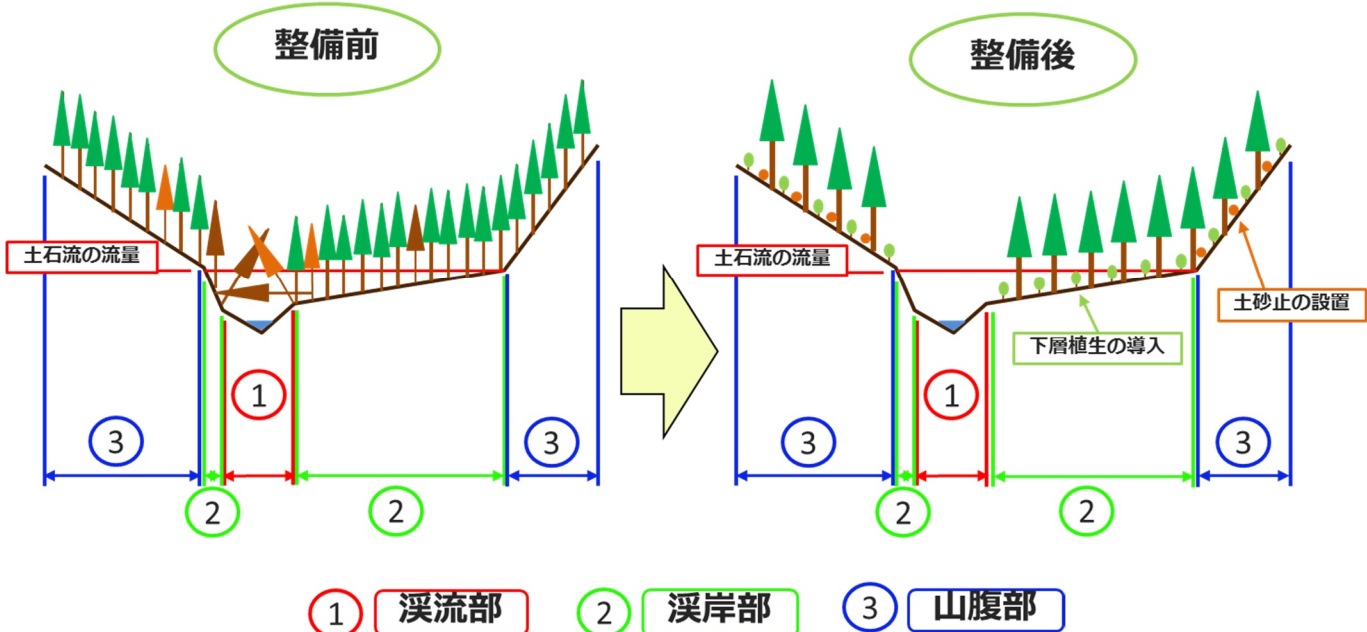


< 整備区分 青字：立地環境 赤字：整備内容 >

- 溪流部で危険木の除去 流木発生抑制
- 溪岸部で調整伐による立木の大径化促進 森林の抵抗力の増加 流木・土砂等流下緩衝
- 山腹部で調整伐による根系の発達促進、土砂止の設置 斜面の安定化 流木・土砂等流出抑制

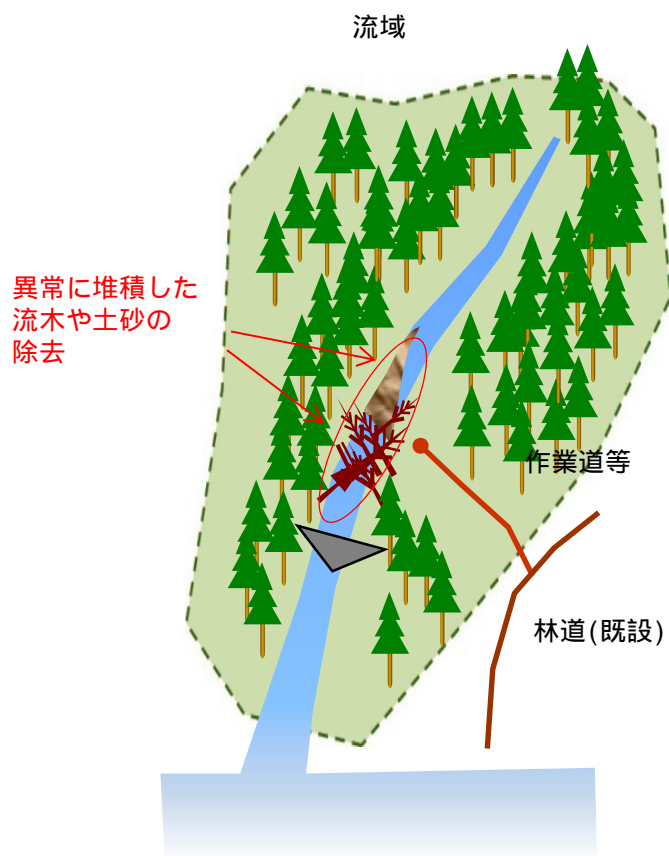


【整備区分横断図】



土砂・流木緊急除去事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、溪流内に異常に堆積した土砂や流木について、台風や豪雨の際に流出して下流に被害を与える恐れのあるものを撤去します。



溪流内に異常に堆積した流木



流木撤去後（紀北町）

令和4年度災害に強い森林づくり推進事業 実施箇所表

災害緩衝林整備事業

NO	施行箇所				危険木等 除去体積 (m3)	危険木等 除去単価 (円/ m3)	調整伐 (ha)	調整伐単 価(円/ ha)	工事費 (千円)	コスト縮 減額(千 円)	保全対象	進捗状況	搬出方法
	郡(市)	町	大字	字									
1	(鈴鹿)	—	西庄内町	池ノ谷	24.0	12,976	3.52	428,223	5,392	178	キャンプ場、林道	完成	車両系 山腹引上
2	(亀山)	—	関町市瀬	野々谷	33.0	6,899	0.12	512,700	960	182	人家4戸、国道	完成	車両系
3	(亀山)	—	加太中在家	オシカガ谷	99.0	13,918	1.03	318,468	5,635	0	人家1戸、保育園、 市道、田	完成	山腹引上
4	(亀山)	—	加太中在家	三ツ合	74.0	6,842	0.56	377,000	2,423	506	キャンプ場、県道、 林道	完成	車両系
5	(亀山)	—	加太板屋	西谷	23.0	7,579	1.91	400,600	3,803	66	鉄道、林道	完成	車両系
6	(亀山)	—	安坂山町	横尾	33.0	7,335	2.81	281,800	3,559	214	人家19戸、市道	完成	車両系 山腹引上
7	(亀山)	—	安坂山町	一之谷	10.0	17,280	3.42	402,400	4,638	0	人家2戸、県道、農 道	完成	山腹引上
8	(津)	—	美杉町八知	トリガウエ	108.0	6,502	0.43	331,700	4,165	467	人家5戸、鉄道、市 道	完成	車両系 山腹引き上げ
9	(松阪)	—	大足町	大足山	157.0	7,076	1.96	313,600	9,875	1,833	人家8戸、介護施 設、県道	完成	架線系
10	(松阪)	—	阪内町	尻附谷	121.0	8,107	1.34	349,660	12,614	1,320	人家35戸、集會 所、県道	完成	架線系
11	(松阪)	—	飯南町横野	ファイ谷	33.4	16,824	2.75	442,100	4,827	0	人家18戸、公民 館、国道	完成	山腹引上
12	(松阪)	—	飯南町下仁柿	中倉	135.0	1,204	1.10	301,600	8,537	1,790	人家13戸、市道	完成	架線系
13	(松阪)	—	飯高町宮本	桐ノ木	10.0	9,213	0.10	802,380	8,538	789	人家3戸、国道、農 地	完成	架線系
14	多気	多気	相鹿瀬	羽鹿谷	230.0	7,729	2.48	261,200	8,539	924	人家2戸、県道、農 地	完成	車両系 山腹引き上げ
15	多気	大台	神瀬	狩ヶ谷	777.8	4,549	0.00	0	8,540	655	人家10戸、鉄道、 国道	完成	車両系 架線系
16	多気	大台	下真手	荷ノ倉	191.0	2,050	0.64	31,575	8,541	1,645	人家19戸、町道、 林道	施工中	
17	多気	大台	小切畑	庄吉小屋	180.0	6,405	0.00	0	27,795	5,709	人家3戸、林道	施工中	
18	度会	大紀	永会	西ノ谷	9.7	15,713	7.74	420,800	8,610	0	人家21戸、消防 庫、県道、農地	完成	山腹引き上げ
19	度会	大紀	神原	樋ノ谷	68.0	10,436	14.48	413,800	8,610	0	人家10戸、公民 館、県道、農地	施工中	
20	度会	度会	田口	樋ノ谷 (田口)	0.0	0	6.29	321,400	8,610	0	人家、県道、農地	完成	
21	度会	大紀	神原	上ヶ野 (西ノ谷)	8.0	18,342	0.28	413,800	8,610	0	公民館、県道、農 地	施工中	
22	(伊賀)	—	奥馬野	オク	38.0	11,286	5.23	316,600	8,235	103	人家37戸、県道、 農地	完成	車両系 山腹引き上げ
23	(伊賀)	—	下阿波	皿上	148.0	14,188	8.19	417,900	13,162	0	人家9戸、公民館、 国道、市道	完成	山腹引き上げ
24	(伊賀)	—	上阿波	船ヶ谷	64.0	13,992	15.07	317,255	16,592	13	人家2戸、国道、県 道	完成	車両系 山腹引き上げ
25	(伊賀)	—	諸木	折戸	83.0	14,105	4.08	337,400	7,195	10	県道	完成	車両系 山腹引き上げ
26	(名張)	—	青蓮寺	青蓮寺山	73.0	14,077	2.87	358,300	7,531	0	県道	完成	山腹引き上げ
27	(尾鷲)	—	古江町	ソラ	100.0	11,133	3.69	301,700	10,256	2,698	人家38戸、漁港、 国道、市道	完成	架線系
28	(尾鷲)	—	古江町	奥の谷	67.0	12,242	5.08	374,100	11,420	1,823	人家7戸、漁港、国 道、市道	完成	架線系
29	(尾鷲)	—	九鬼町	奥地	71.0	9,443	2.10	324,800	9,618	1,852	人家55戸、公民館、電 話基地、県道、市道	完成	架線系
30	(熊野)	—	井戸町	土地山	48.0	14,159	1.65	522,400	3,617	0	人家15戸、県道	完成	山腹引上げ
31	(熊野)	—	井戸町	がま谷	259.0	8,848	4.72	422,200	19,342	4,400	人家2戸、県道	完成	車両系 山腹引上げ
32	(熊野)	—	紀和町大河内	和知谷	108.0	3,445	12.45	598,925	19,343	2,658	林道	施工中	
	合計	12市町		32箇所	3,383.9	平均 9,809	平均 118.1	平均 356,762	289,132	29,835			

溪流部 危険木除去

事例1 亀山市(三ッ合)
整備前



整備後



溪岸部 危険木除去

事例1 亀山市(三ッ合)
整備前



整備後



山腹部 調整伐

事例1 亀山市(三ツ合)
整備前



整備後



溪流部 危険木除去

事例2 津市(トリガウエ)
整備前



整備後



溪岸部 危険木除去

事例2 津市(トリガウエ)
整備前



整備後



山腹部 調整伐

事例 2 津市(トリガウエ)
整備前



整備後



溪流部 危険木除去

事例3 松阪市(桐ノ木)
整備前

整備後



溪流部 危険木除去

事例3 松阪市(桐ノ木)
整備前

整備後



溪岸部 調整伐

事例3 松阪市(桐ノ木)
整備前



整備後



山腹部 調整伐

事例3 松阪市(桐ノ木)
整備前



整備後



溪流部 危険木除去

事例4 大紀町(西ノ谷)
整備前

整備後



溪流部 危険木除去

事例4 大紀町(西ノ谷)
整備前

整備後



山腹部 調整伐

事例4 大紀町(西ノ谷)
整備前



整備後



溪流部 危険木除去

事例5 伊賀市(折戸)
整備前



整備後



溪流部 危険木除去

事例5 伊賀市(折戸)
整備前



整備後



山腹部 調整伐

事例 5 伊賀市(折戸)
整備前



整備後



溪流部 危険木除去

事例6 尾鷲市(奥地)
整備前

整備後



溪流部 危険木除去

事例6 尾鷲市(奥地)
整備前

整備後



溪岸部 調整伐

事例6 尾鷲市(奥地)
整備前

整備後



山腹部 調整伐

事例6 尾鷲市(奥地)
整備前

整備後



溪岸部 調整伐

事例7 熊野市(がま谷)
整備前



整備後



山腹部 調整伐

事例7 熊野市(がま谷)
整備前



整備後



災害に強い森林づくり推進事業のPR

1. パネル展示

令和4年度に各県庁舎及び各市町庁舎等の27箇所でPRのためのパネル展示を実施しました。

2. 工事現場でのPR

各工事実施現場で「みえ森と緑の県民税」を活用した事業であることをPRするため、下記の ～ を実施しました。

施工前に「のぼり」を設置
施工中に工事看板を設置
完成後にPR標柱を設置

3. 事業実績を三重県HPに公開

平成26年度～令和3年度の事業実績として、事業箇所一覧表、位置図及び箇所ごとの整備図面、整備対比写真を公開しています。(令和4年度の事業実績については現在準備中です。)

災害に強い森林づくり推進事業 PR展示等の展示場所及び展示期間

県庁舎等

令和5年5月10日 現在

	展示場所	展示期間	日数
四日市農林事務所	庁舎1階ロビー展示室	令和5年2月1日 ~ 令和5年2月15日	15
津農林水産事務所	庁舎ロビー	令和5年1月17日 ~ 令和5年1月27日	11
松阪農林事務所	庁舎玄関ホール	令和5年2月3日 ~ 令和5年2月17日	15
伊勢農林水産事務所	庁舎1階、2階ロビー	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日	365
伊賀農林事務所	庁舎2階ロビー	令和5年1月15日 ~ 令和5年1月31日	17
尾鷲農林水産事務所	1階ロビー	令和5年2月8日 ~ 令和5年2月20日	13
熊野農林事務所	原木市場	令和4年3月20日 ~ 令和4年3月20日	1

市町庁舎等

	展示場所	展示期間	日数
四日市市	農水振興課窓口	令和5年2月10日 ~ 令和5年2月28日	19
桑名市	桑名市役所農林水産課 窓口	令和5年1月16日 ~ 令和5年2月28日	44
いなべ市	シビックコア棟1階壁面	令和5年3月1日 ~ 令和5年3月14日	14
亀山市	農林振興課窓口	令和5年1月4日 ~ 継続展示中	127
鈴鹿市	鈴鹿市役所 1階 市民ギャラリー	令和5年2月27日 ~ 令和5年3月3日	5
木曽岬町	庁舎3階 エレベーターホール隣	令和5年1月4日 ~ 継続展示中	127
東員町	西庁舎 1階	令和5年3月13日 ~ 令和5年3月24日	12
川越町	あいあいホールロビー	令和5年2月4日 ~ 令和5年2月26日	23
朝日町	役場1階 玄関ロビー 役場2階 大会議室前ガラス面	令和5年2月14日 ~ 令和5年2月28日	15
菰野町	菰野町農村環境改善センターロビー	令和5年1月6日 ~ 令和5年3月17日	71
津市	津市白山庁舎	令和5年2月1日 ~ 令和5年3月31日	59
松阪市	松阪市飯高地域振興局1F窓口	令和5年1月16日 ~ 令和5年3月16日	60
明和町	明和町役場研修室	令和5年2月1日 ~ 令和5年2月15日	15
多気町	BANKYO文化会館ロビー	令和5年1月11日 ~ 令和5年1月27日	17
大台町	大台町宮川総合支所1Fロビー	令和5年2月15日 ~ 令和5年3月2日	16
伊賀市役所	3階フロア	令和5年2月1日 ~ 令和5年2月15日	15
名張市役所	1階ロビー	令和5年3月14日 ~ 令和5年3月31日	18
尾鷲市役所	1階ロビー	令和5年2月21日 ~ 令和5年3月3日	11
熊野市	熊野市文化交流センター	令和4年2月7日 ~ 令和4年2月15日	9
御浜町	役場ロビー	令和4年2月20日 ~ 令和4年2月28日	9

県庁舎及び市町庁舎等の PRパネル展示状況



大台町(宮川総合支所)



津庁舎



熊野市文化交流センター



四日市庁舎

工事現場のPR状況

1. 施工前に「のぼり」を設置



2. 施工中の工事看板に税の内容を記載して設置



3. 完成後にPR標柱を設置



現在位置：[トップページ](#) > [観光・産業・しごと](#) > [森林・林業](#) > [みんなで支える森林づくり](#) > [みえ森と緑の県民税](#) > [県の事業](#) > [令和3年度災害に強い森林づくり推進事業の取組実績](#)
 担当所属：[県庁の組織一覧](#) > [農林水産部](#) > [治山林道課](#) > [治山班](#)

みえ森と緑の県民税

- [トピックス](#)
- [みえ森と緑の県民税とは](#)
- [県の事業](#)
- [市町の事業](#)
- [県・市町の連携事業](#)
- [評価制度](#)
- [導入経緯と見直し](#)

いいね!

シェアする

ツイート

LINEで送る

印刷する

「みえ森と緑の県民税」を活用した県で取り組む事業

三重県では、近年頻発する豪雨等の異常気象による山地災害を防ぐため、平成26年度から「みえ森と緑の県民税」を活用し、流木や土砂の流出の発生のある溪流沿いの森林において、「災害に強い森林づくり推進事業」に取り組んでいます。

「災害に強い森林づくり推進事業」は、次の2つの事業を実施しています。

- ①「災害緩衝林整備事業」では、溪流内の危険木の除去、流木や土砂の流出を軽減するための森林整備。
- ②「土砂・流木緊急除去事業」では、治山施設等に異常に堆積して流出の恐れがある土砂や流木の除去。

令和3年度に実施した箇所を以下の一覧表にまとめましたのでご覧ください。

また、一覧表の地図写真欄のPDFをクリックすると箇所毎の地図と写真（整備前と整備後の対比写真）がご覧になります。

[PDF](#) 令和3年度事業位置図

令和3年度災害に強い森林づくり推進事業実施箇所一覧表

①災害緩衝林整備事業

市町名	大字等	地区名	危険木等除去体積(m3)	調整伐面積(ha)	地図写真
菟野町	杉谷	一之瀬	108.0	2.51	PDF
鈴鹿市	西庄内町	深沢	20.0	2.24	PDF
亀山市	関町金場	植切	43.0	3.19	PDF
亀山市	関町市瀬	野々谷	10.0	1.66	PDF
亀山市	関町沓掛	安間平	22.0	2.48	PDF
亀山市	加太榎ヶ坂	蛇谷	63.0	2.87	PDF
津市	白山町福田山	附田	0.0	5.73	PDF
津市	美杉町下之川	大谷	0.0	1.13	PDF
津市	白山町小杉	樋ノ口	298.0	9.56	PDF
松阪市	嬉野岩倉町	倉狭間	76.0	0.26	PDF
松阪市	与原町	ウスギ	93.0	0.41	PDF
松阪市	与原町	カテガ谷	106.0	1.65	PDF
松阪市	飯南町下仁柿	中倉	212.0	0.00	PDF
多気町	長谷	柿木谷	127.0	0.74	PDF
大台町	唐櫃	横谷(西八カゼ)	458.0	1.32	PDF
大台町	栗谷	大西谷	447.0	0.02	PDF
大台町	下真手	荷ノ倉	424.0	0.50	PDF
度会町	五ヶ町	小ツカト	12.4	10.51	PDF
南伊勢町	伊勢路	下地谷	13.0	4.48	PDF
大紀町	崎	猿田原	11.5	18.07	PDF
伊賀市	島ヶ原	観節1	2.6	9.35	PDF
伊賀市	高尾	奥出	27.6	2.99	PDF
伊賀市	島ヶ原	観節2	61.9	6.87	PDF
伊賀市	奥馬野	オク1	15.6	5.06	PDF
伊賀市	奥馬野	オク2	6.5	1.49	PDF
尾鷲市	三木浦町	早田道	124.0	3.31	PDF
紀北町	十須	江竜	348.0	4.55	PDF
熊野市	紀和町矢ノ川	後地	180.0	3.18	PDF
紀宝町	鮎田	市畑	164.0	5.55	PDF
熊野市	紀和町小船	露谷	13.0	4.31	PDF
合計			3487.1	115.99	

②土砂・流木緊急除去事業

市町名	大字等	地区名	土砂除去体積 (m3)	流木除去体積 (m3)	地図 写真
いなべ市	大安町宇賀	西ヶ窪	8.0	-	PDF
松阪市	飯高町舟戸	大崩	1853.0	-	PDF
大台町	桧原	東又谷	1751.0	-	PDF
紀北町	十須	江竜	87.0	14.2	PDF
合計			3699.0	14.2	

本ページに関する問い合わせ先

三重県 農林水産部 治山林道課 治山班

〒514-8570 津市広明町13番地（本庁6階）

電話番号：059-224-2575 ファクス番号：059-224-2070 メールアドレス：chirin@pref.mie.lg.jp

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

- お求めの情報は充分掲載されておりましたか？ 充分だった ぶつう 足りなかった
- このページの内容や表現は分かりやすかったですか？ 分かりやすかった ぶつう 分かりにくかった
- この情報はすぐに見つけられましたか？ すぐに見つかった ぶつう 時間がかかった

送信する

ページID：000274083

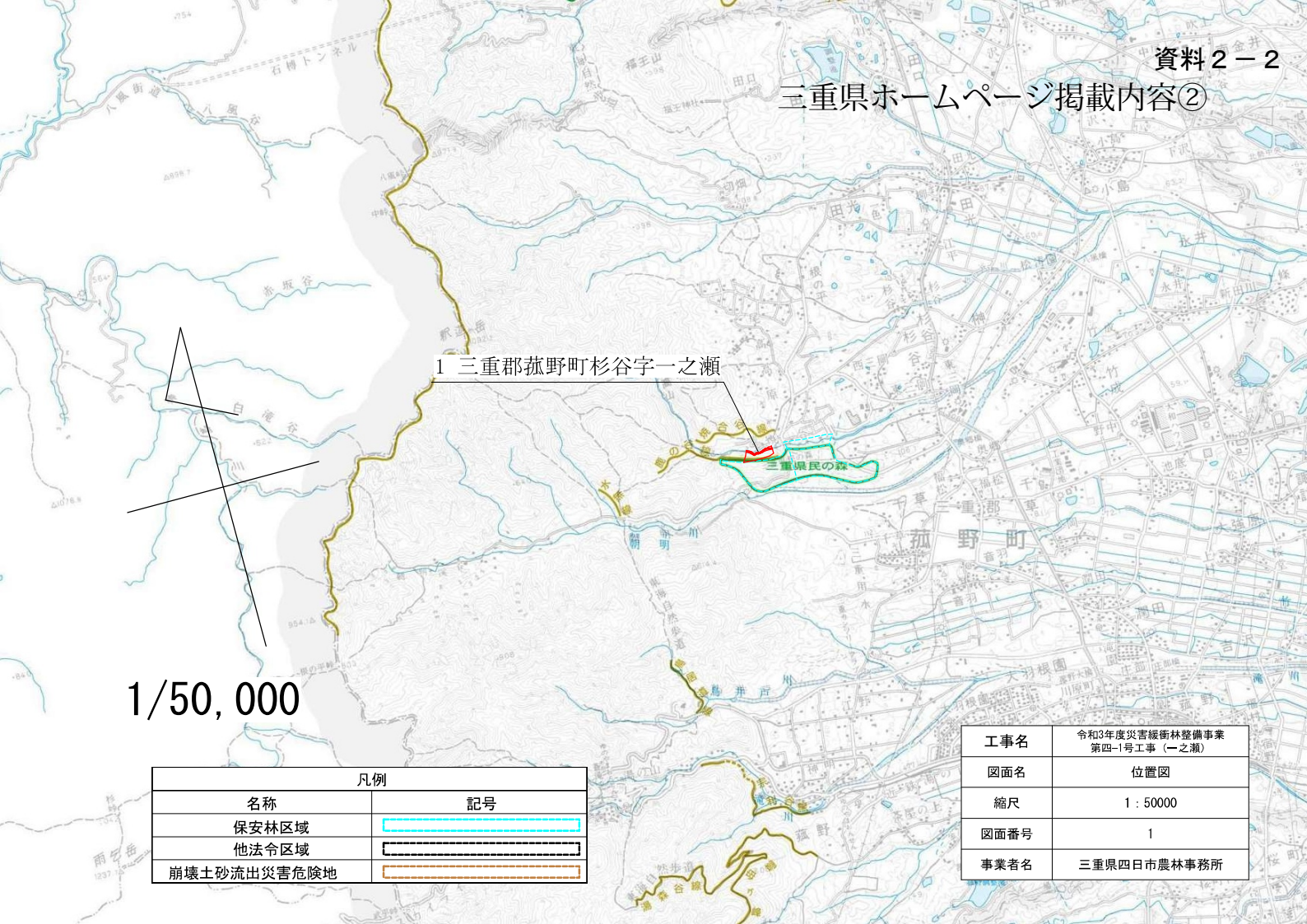
[このページのトップへ](#)[リンク・著作権・免責事項・ダウンロード](#) | [個人情報保護ポリシー](#) | [ウェブアクセシビリティ](#) | [サイトに関するご意見・お問い合わせ](#)

三重県庁

〒514-8570 三重県津市広明町13番地 三重県庁電話案内：059-224-3070 法人番号5000020240001

[県庁案内](#)

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。 Copyright © 2015 Mie Prefecture, All rights reserved.

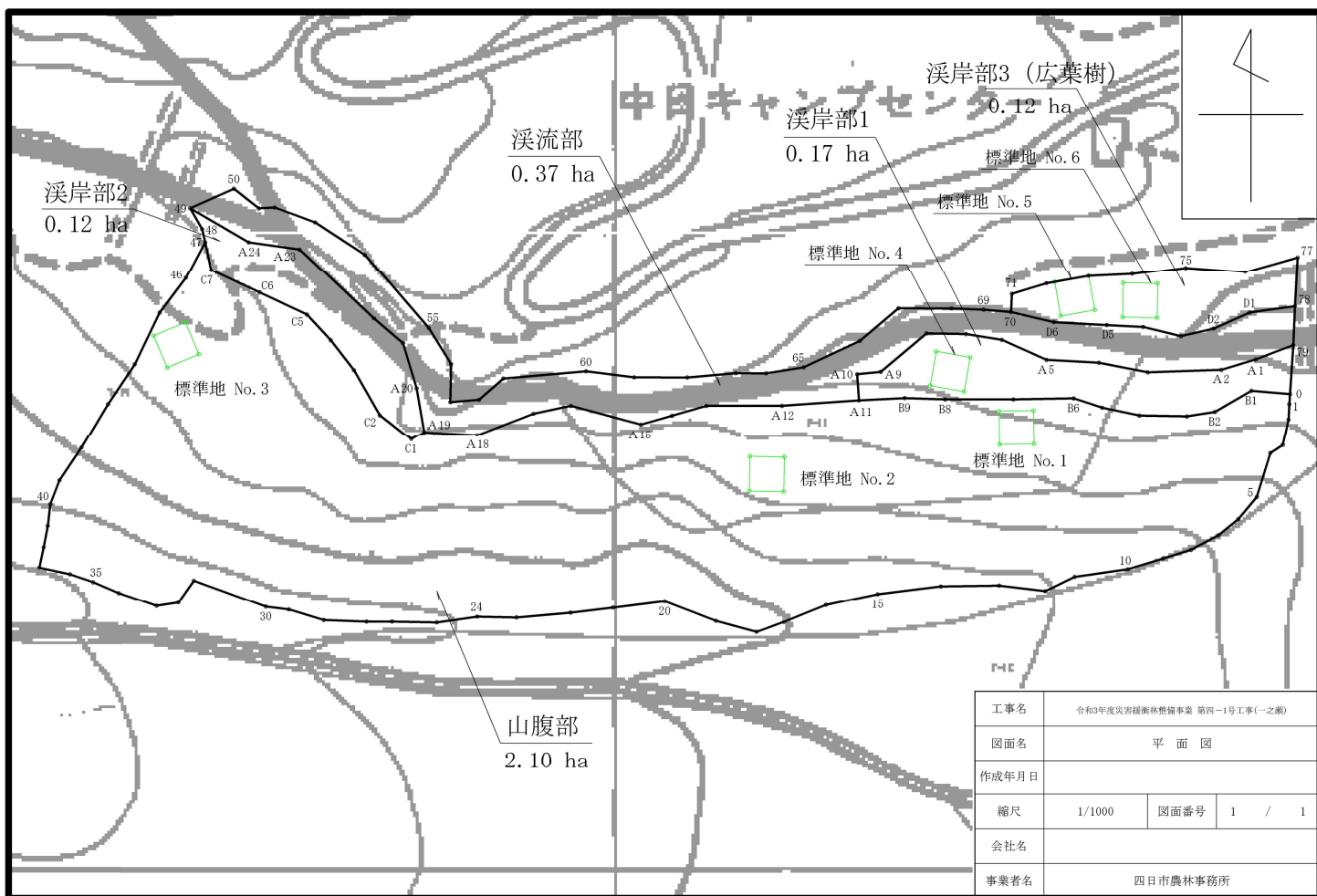


1 三重郡菰野町杉谷字一之瀬

1/50,000

凡例	
名称	記号
保安林区域	
他法令区域	
崩壊土砂流出災害危険地	

工事名	令和3年度災害緩衝林整備事業 第四-1号工事（一之瀬）
図面名	位置図
縮尺	1 : 50000
図面番号	1
事業者名	三重県四日市農林事務所



工事名	令和3年度災害緩衝林整備事業 第四-1号工事（一之瀬）		
図面名	平面図		
作成年月日			
縮尺	1/1000	図面番号	1 / 1
会社名			
事業者名	四日市農林事務所		

溪流部 危険木除去

整備前



整備後



溪岸部 危険木除去

整備前



整備後



溪岸部 調整伐

整備前



整備後



溪岸部 調整伐

整備前



整備後



山腹部 調整伐

整備前



整備後



工事のお知らせ

みえ **森** と **緑** の 県民税 森林づくりを県民みんなの力で！

平素は、三重県行政にご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。
 この度は、下記の箇所において、災害緩衝林整備事業を実施することとなりました。
 工事中は、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力のほどよろしく願います。

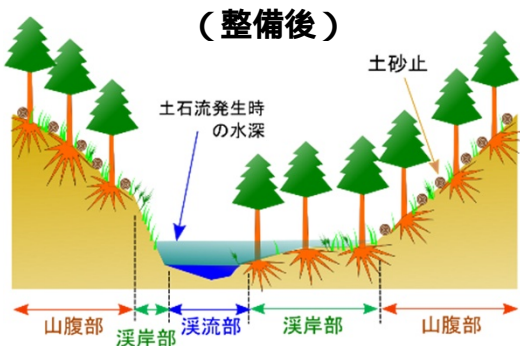
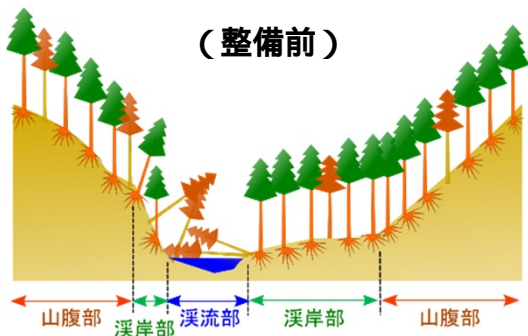
工事名 : 令和〇年度災害緩衝林整備事業第〇 - 〇号工事 (〇〇)
 工事期間 : 令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()
 工事内容 : 危険木除去、森林整備
 施工場所 : 〇〇市〇〇町〇〇 (別添位置図)



【災害緩衝林整備事業】

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、「みえ森と緑の県民税」を活用して「災害緩衝林整備事業」を行っています。
 危険木の除去や、森林整備などを進め、流木災害等を軽減します。

【施業のイメージ】



【工事に関するお問い合わせ先】

発注者 : 三重県〇〇事務所 森林・林業室
 〇〇〇課

TEL : 〇〇〇〇 - 〇〇 - 〇〇〇〇

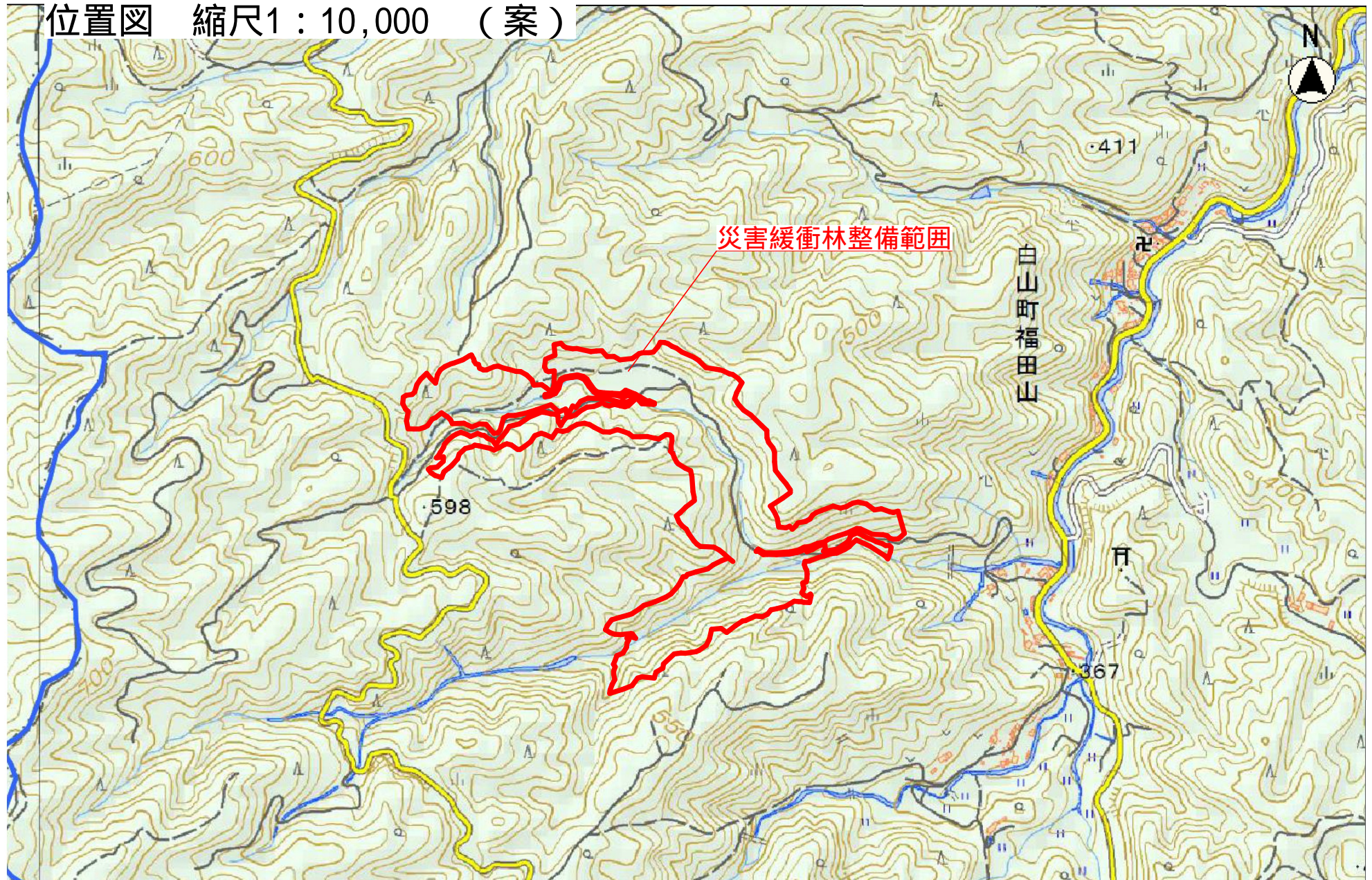
受注者 : 〇〇〇

TEL : 〇〇〇〇 - 〇〇 - 〇〇〇〇

令和〇年度災害緩衝林整備事業第〇-〇号工事(〇〇)

地元住民への周知資料

位置図 縮尺1:10,000 (案)



工事完了のお知らせ

みえ **森** と **緑** の 県民税
森林づくりを **県民** みんなの **力** で！

下記工事は、令和 年 月 日 () をもちまして完了いたしました。
渓流内の倒木や根の浮き上がった木など、流木の原因となる危険木の除去と、
渓流沿いの森林整備を行いました。

工事名 : 令和〇年度災害緩衝林整備事業第〇 - 〇号工事 (〇〇)
工事内容 : 危険木除去、森林整備
施工場所 : 〇〇市〇〇町〇〇



【対比写真】(例) (整備前)



引き続き災害に強い森林を目指し、山崩れや洪水などの災害発生のリスクを軽減するための森林整備を進めてまいります。

【工事に関するお問い合わせ先】
発注者：三重県〇〇事務所 森林・林業室 〇〇〇〇課 TEL：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
受注者：〇〇〇 TEL：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

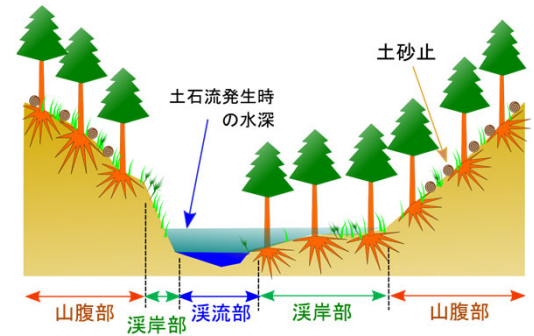


災害に強い森林づくり推進事業

効果検証にかかる調査・研究事業 成果の概要 (林業研究所)

事業目的と検証事項

- 山腹部・・・調整伐による立木の成長の促進、
斜面安定効果及び土砂流亡抑制効果発揮に対して
 - 効果検証が必要な事項
 - ・斜面安定効果, 土砂流亡抑制効果は発揮できるか?項目1
 - ・立木の成長は促進されるか?項目2
- 溪岸部・・・調整伐による立木の成長の促進※に対して
 - 効果検証が必要な事項
 - ・立木の成長は促進されるか?項目2
- 溪流部・・・危険木除去による流木発生抑制効果に対して
 - 効果検証が必要な事項
 - ・流木発生抑制効果は持続しているか?項目3



※本事業では胸高直径30cm以上の森林に誘導することを目標としている

効果検証にかかる調査・研究

項目1 樹木根系による斜面安定効果調査
根系発達による斜面安定効果を検証するために

- ① 根系分布調査, 根引き抜き試験により, 表層崩壊防止力を把握
- ② 土砂流亡量調査で, 土砂流亡抑制効果の持続期間を把握(三重大学共同研究)



調整伐と伐倒木を利用した土砂止の設置



根引き抜き試験



根系分布調査



土砂流亡量調査

根引き抜き試験及び根系分布調査の実施, 土砂流亡量の継続調査

項目2 UAV(ドローン)を用いた森林モニタリング調査
成長促進効果を検証するために

UAV空撮画像の解析により事業実施箇所の森林状況の変化を把握(名古屋大学共同研究)



UAV(ドローン)



調整伐実施後の状態変化を調査



項目3 整備森林における危険木発生状況調査
危険木除去による流木発生抑制効果を検証するために

危険木を除去した溪流での流木等危険木発生状況を把握(一部, 三重大学共同研究)



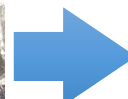
整備前



危険木除去



整備後



現状?

目的:

- ①根系による表層崩壊防止力の把握・・・山腹部における調整伐実施が斜面安定(根系による表層崩壊防止力)に及ぼす効果を明らかにする。
- ②土砂流亡量の継続調査・・・調整伐実施, 土砂止設置による土砂流亡抑制効果の持続期間を明らかにする。

方法:

- ①調整伐後6~11年経過したスギ林5カ所, 同6~8年経過したヒノキ林5カ所において, それぞれ調整伐実施地と未実施地の立木間中央部(崩壊防止力の最弱部)各3カ所で根系分布調査を行った。得られたデータに対し, 根引き抜き試験から得た崩壊防止力推定モデルを適用して崩壊防止力を推定し, 調整伐実施地と未実施地との比較検証を行った。
- ②平成27~29年度に土砂流亡量観測を行った3カ所の試験地で観測を継続した(三重大学共同研究)。

結果:

- ①調整伐実施地では, 調整伐直後は伐採木の根系腐朽により, 立木間中央部の崩壊防止力は一時的に低下すると推測されるが, 調整伐の効果により, 未実施地と比較して立木間距離が長いにも関わらず, 6~11年後には崩壊防止力が同程度まで大きくなった(図-1)。全調査地の根系分布データから, 立木間距離と崩壊防止力の関係を解析したところ, 同じ立木間距離では実施地の方が未実施地よりも崩壊防止力が大きかった(図-2)。これらの結果より, 実施地の根系による崩壊防止力は, 斜面全体では未実施地よりも大きくなっていると考えられた。
- ②調整伐後の林床被覆率上昇に伴って土砂流亡量は減少し, 調整伐後8年経過時点でも低い水準で保たれていた(図-3)。林床被覆率が高い状態が保たれていることから, 今後も土砂流亡抑制効果は持続することが推察された。

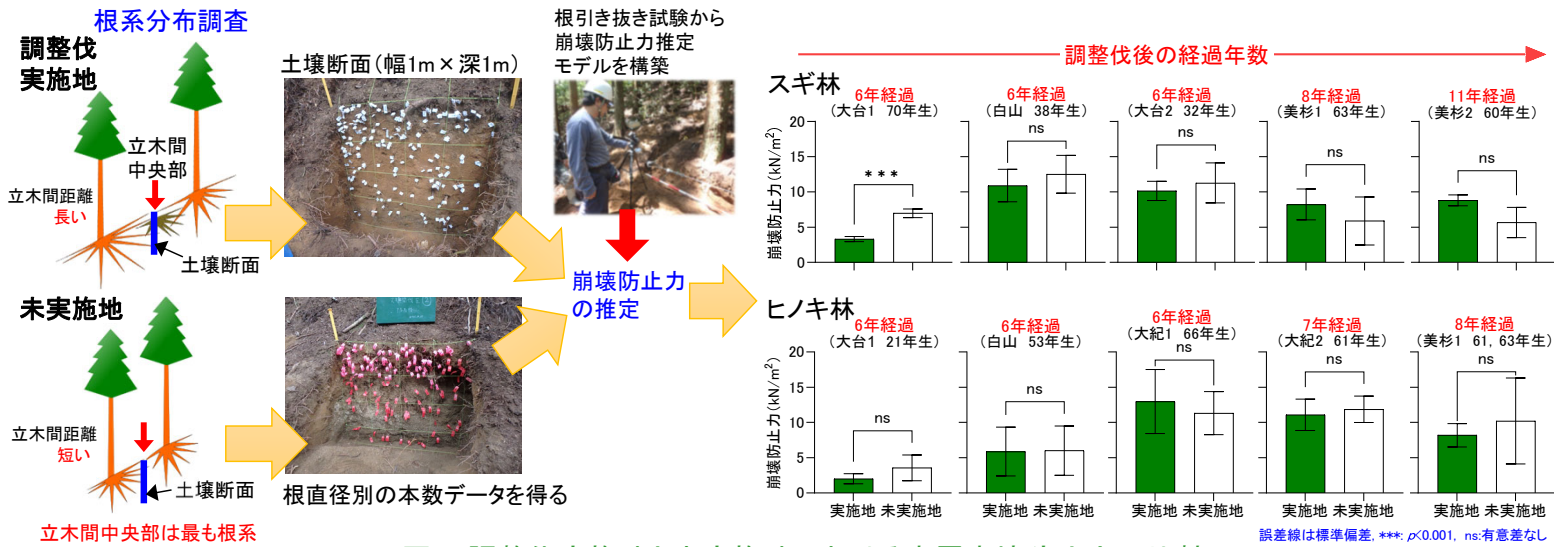


図1. 調整伐実施地と未実施地における表層崩壊防止力の比較

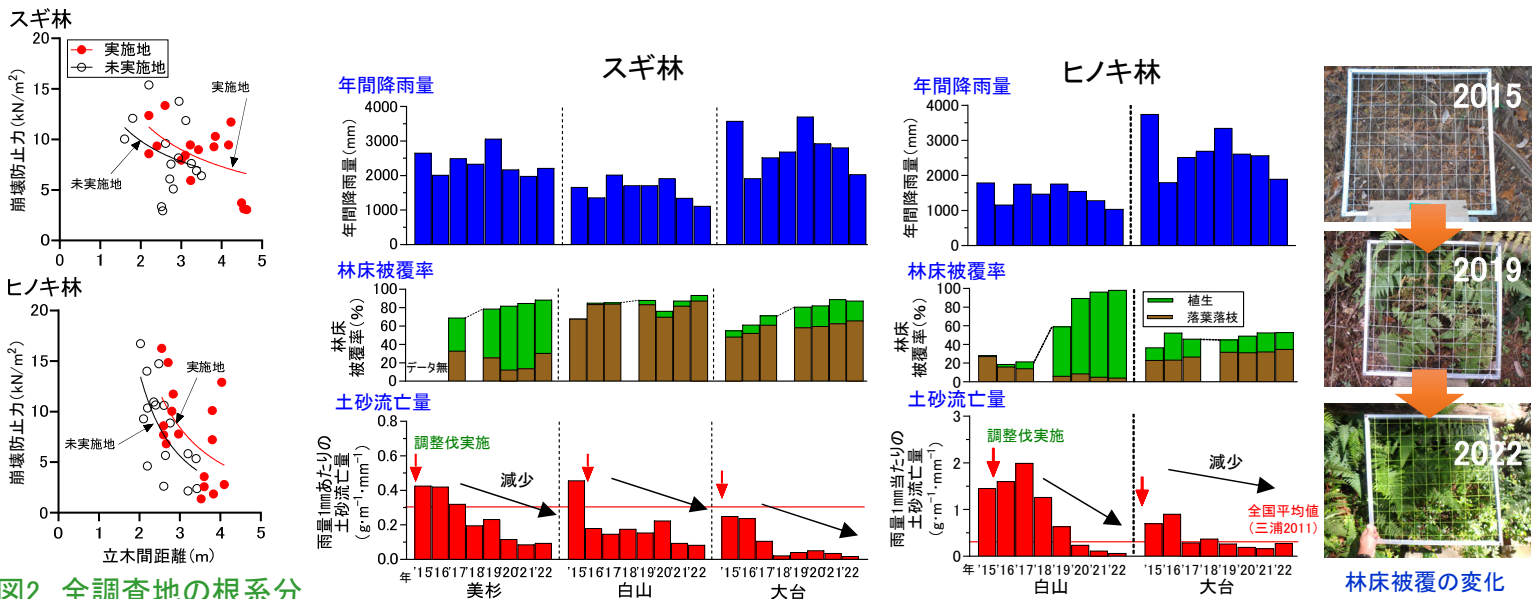


図2. 全調査地の根系分布データによる立木間距離と崩壊防止力の関係

図3. 調整伐後の林床被覆率と土砂流亡量の経年変化

- ①調整伐後6~11年で根系による崩壊防止力は斜面全体では未実施地よりも大きい
- ②調整伐と土砂止による土砂流亡抑制効果は調整伐後8年時点まで持続していた

目的:

UAVにより山腹部、溪岸部での調整伐による立木の肥大成長促進や健全性向上の効果を広域的に検証する。

方法:

平成26年度から調整伐前後の森林状態の変化を広域的にモニタリングしているが、これまでの航空レーザ測量に代わりUAV(ドローン)を使用することで、面積は限定されるものの低コストで即時的に森林情報を得られる可能性がある。平成26年度設定モニタリング区域内(大台町)において設定した3カ所の空撮区域、令和元年度事業実施地において設定した3カ所の空撮区域でUAVによる空撮を行った。大学との共同研究により UAV空撮データから高精度で森林情報を取得するための技術を開発し(図4)、取得した空撮データを解析することで(図5)、調整伐後の森林状態の変化を広域的に把握した(名古屋大学共同研究)。

結果:

調整伐を行うことによる直径成長の促進(図6)、森林資源の現況や現時点での目標直径到達状況などを広域的に確認できた(図7)。

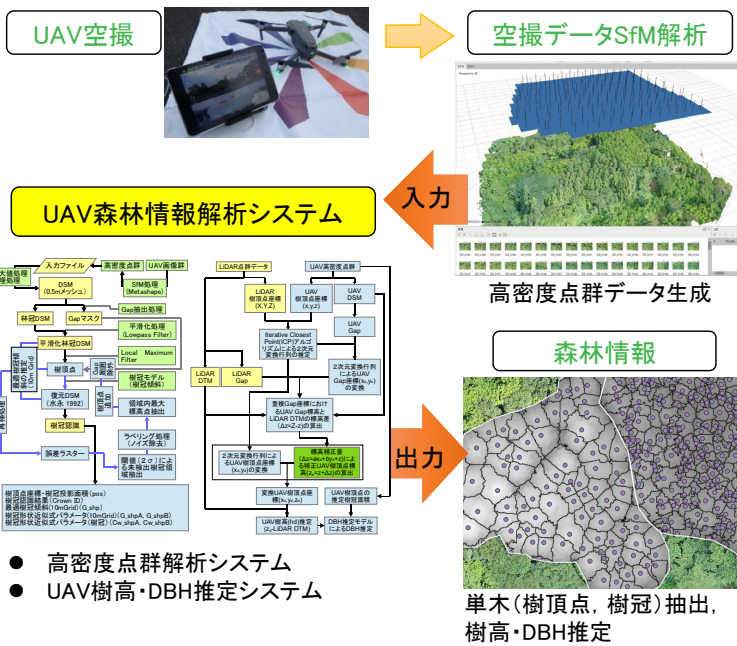


図4. UAV空撮画像からの森林情報解析技術

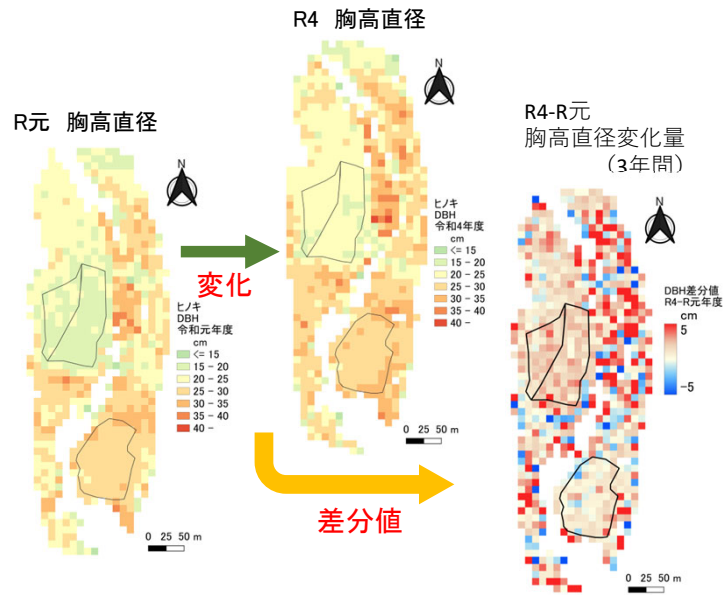


図5. 森林状態の変化量把握(胸高直径の例)

単木単位データを10m×10mメッシュ単位でマップ化し、2時間の変化量をGISで計算

● 作成したオルソフォト

● モニタリングの例 (胸高直径の3年間の変化)

● モニタリングの例 (胸高直径の現況)

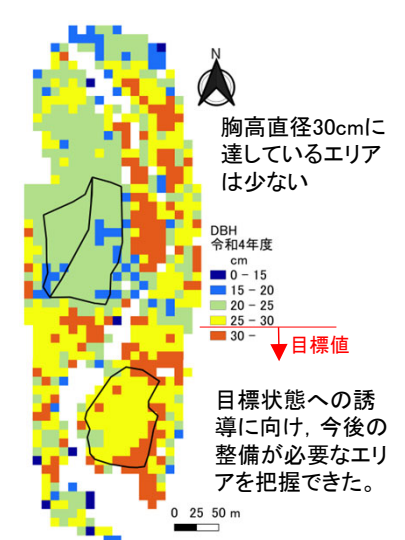
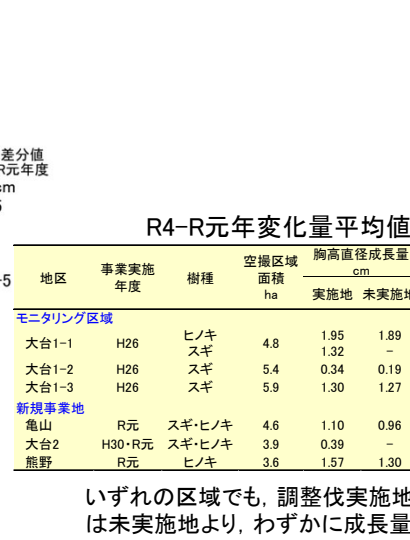
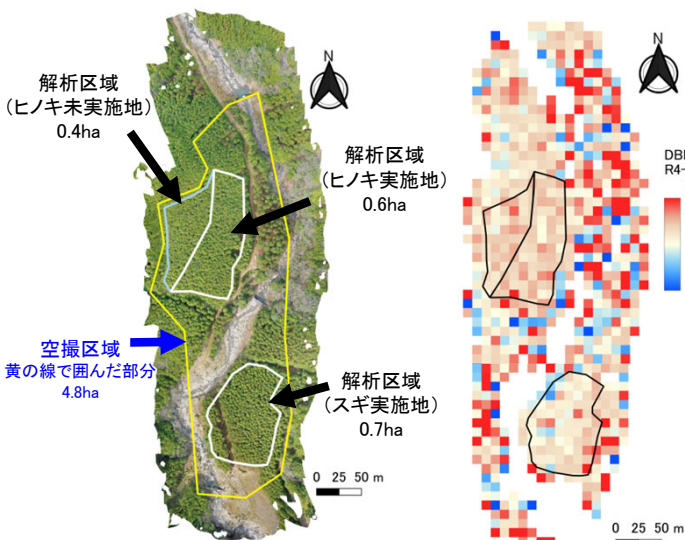


図6. 令和元年(調整伐後5年)から令和4年(同8年)の胸高直径の変化量(大台1-1地区)

図7. 胸高直径の現況(令和4年, 大台1-1地区)

項目3 整備森林における危険木発生状況調査 (R1~5) 資料2-2

目的:

渓流部で実施している危険木(倒流木)除去による流木発生抑制効果を検証する。

方法:

平成26年度, 27年度事業により渓流部の危険木除去を行った67箇所の整備溪流(延長55~2,015 m, 平均延長548 m, 総延長36,700 m)を除去から3~6年後に踏査し, 倒流木発生の現況を多点調査した(図8)。また, 整備溪流4カ所(延長283~673m), 未整備溪流2カ所(延長368, 745m)に固定試験地を設定し(図12), 毎年, 冬季の湯水期に危険木の発生, 消失, 移動状況を追跡調査した(一部, 三重大学共同研究)。

結果:

平成26, 27年度事業地の多点調査の結果, 再発生した倒流木の材積は除去材積と比較してわずかであり, 平成29年21号台風による風倒被害を受けた一部を除き, 除去効果は維持されていた(図9)。固定試験地における追跡調査でも, 調査を行った4年間に倒流木量はほとんど変化しなかった(図12)。そのため, 著しい台風被害などを受けなければ, 長期間にわたって除去効果は維持されると考えられた。倒木の発生要因は, 風倒に起因する根返りや幹折れ, 溪岸侵食が主要因であり, これらの発生を森林管理によって防ぐことで大幅に倒流木を少なくできる可能性がある(図10)。また, 流木は倒木と比べて腐朽度が高く, 長さが流路幅よりも短いことから(図11), 流路幅の狭い溪流内では倒木が分解, 破断して流木化するまで, これらが長期間滞留する危険性がある。そのため, 流木被害対策として渓流部の倒流木等を除去することは有効な手段であることがわかった。

「倒木」・・・山腹から溪流に入って, その場所から一度も流下していないもの
 「流木」・・・溪流に入ったのちに流下した履歴があるもの

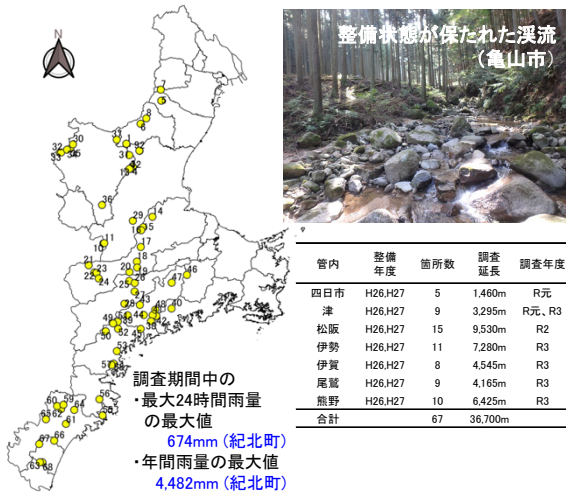


図8. 多点調査を行った事業地の位置

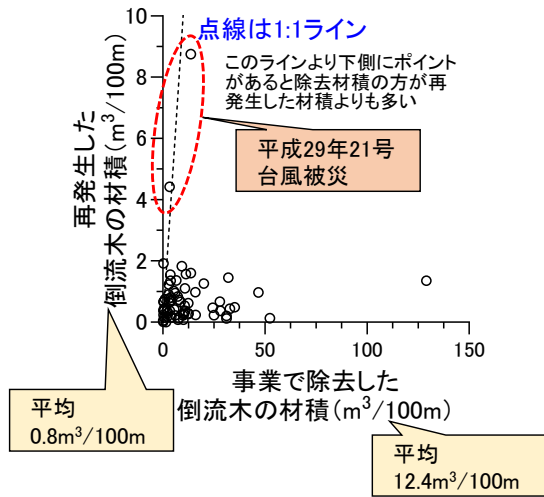


図9. 各事業地の倒流木除去材積と現状材積の関係(67カ所)

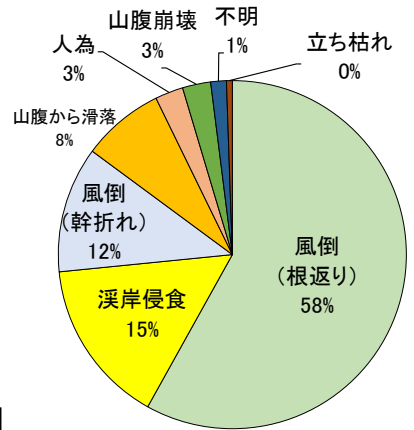


図10. 67カ所の事業地における全倒木(202.8m³)の発生要因 毎の材積割合

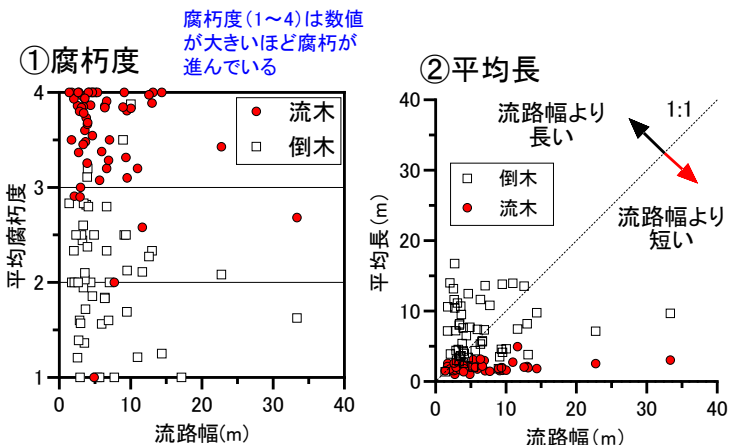


図11. 各事業地の整備区間中央部付近における最大24時間雨量時の流路幅と倒流木の腐朽度, 平均長の関係

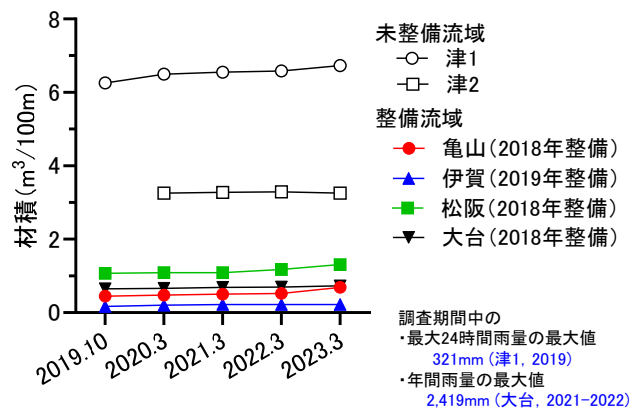


図12. 固定試験地における倒流木材積の経年変化

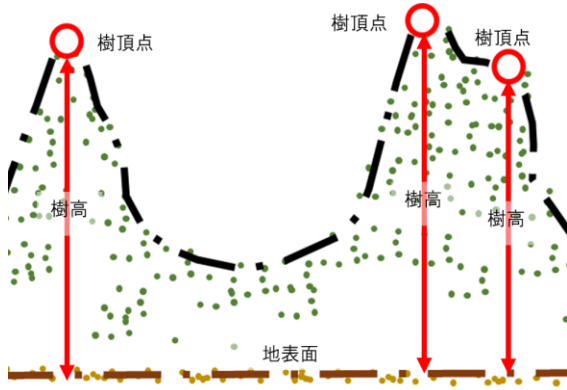
著しい台風被害などを受けなければ長期間にわたって除去効果は維持された

令和5年度の予定

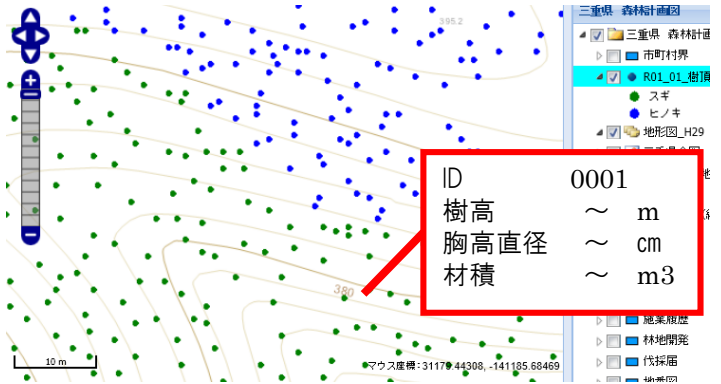
- 今後開催されるアドバイザーボードでの専門家の意見等をふまえて, 追加調査や成果のとりまとめを進め, 報告書を作成する予定である。

樹種や樹高、立木密度、材積等の森林資源情報を正確に把握することは、森林整備を行ううえで重要であるとともに、精度の高い3次元地形データを取得することにより、災害発生の危険性の高い地域等を効率的に把握することが可能となることから、災害に強い森林づくりをより効果的に進めるため、航空レーザ測量を実施します。

① 樹頂点の位置を抽出し、単木情報（樹高や本数、太さ、単木材積）を推定・記録

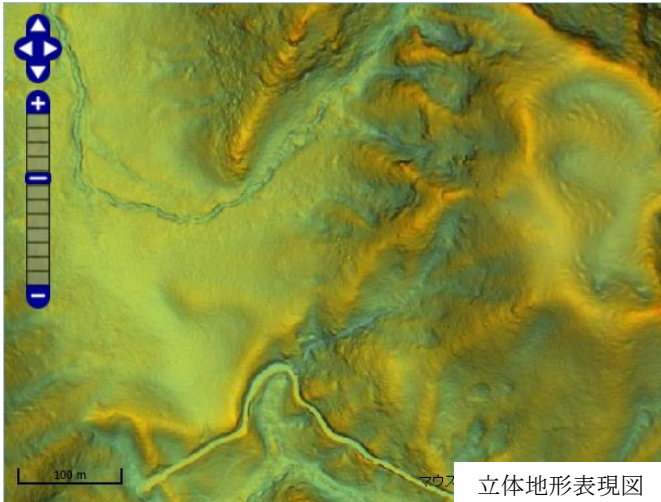


樹頂点の抽出イメージ

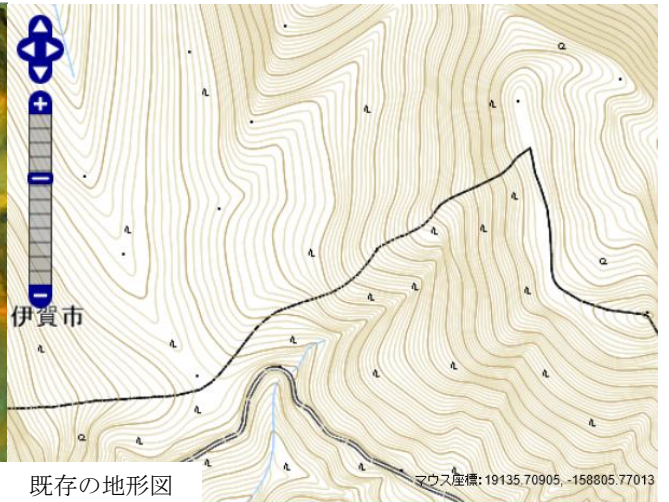


抽出した樹頂点データに、単木情報を記録

② 従来の地形図よりも詳細な地形情報の取得

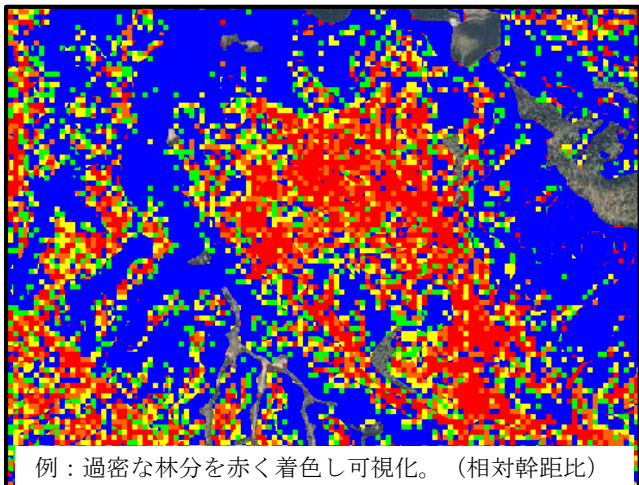


立体地形表現図

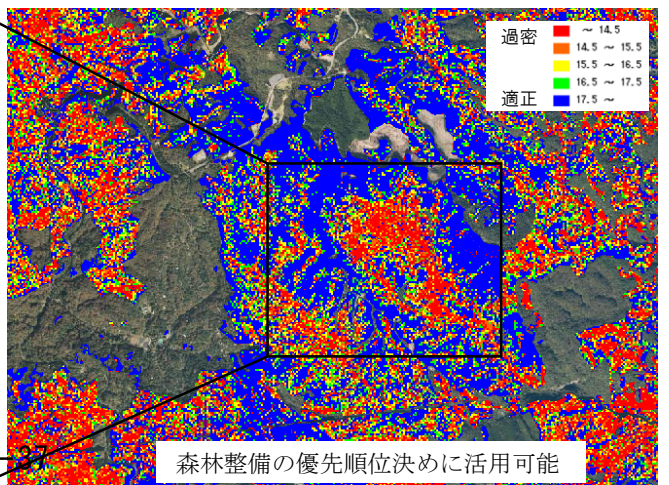


既存の地形図

③ 単木情報を林分単位（10m×10m）に集約し、森林の状態を可視化



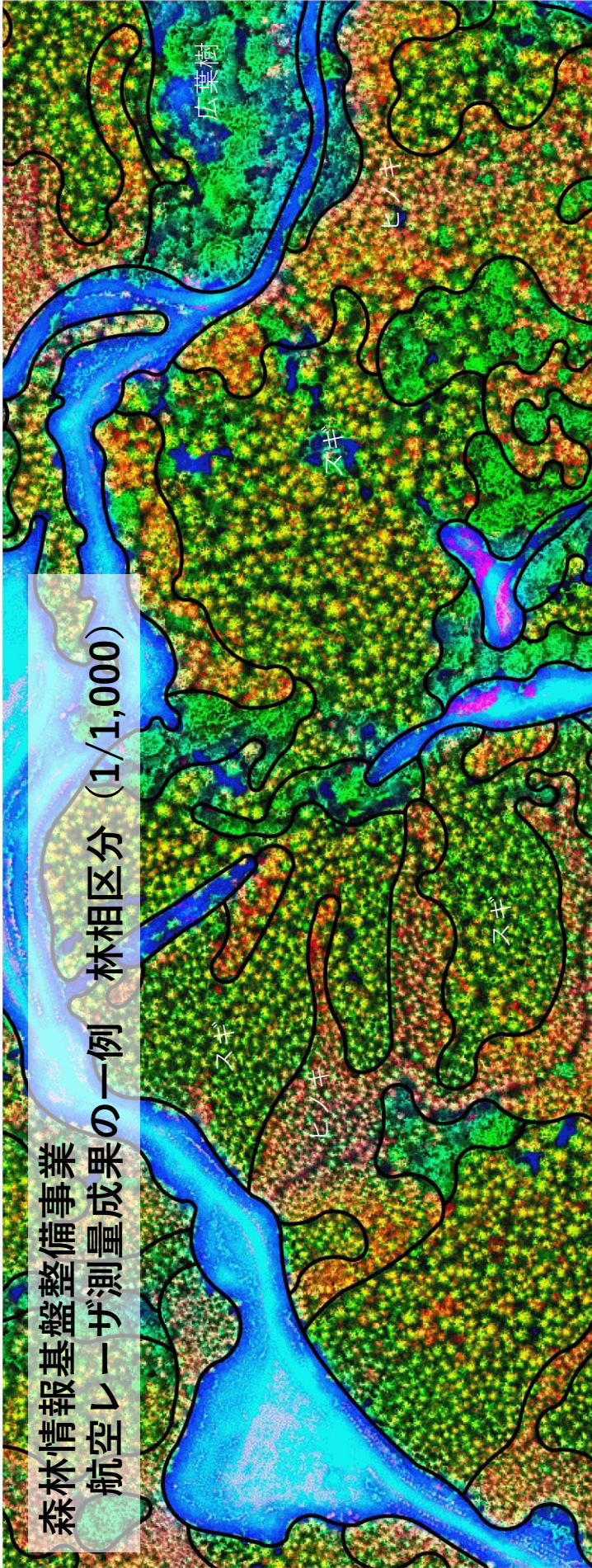
例：過密な林分を赤く着色し可視化。（相対幹距比）



森林整備の優先順位決めに活用可能

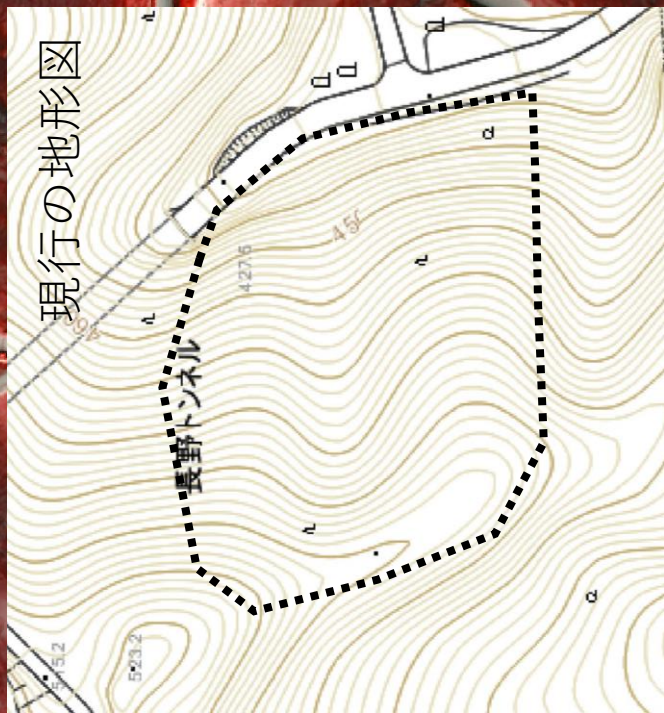
森林情報基盤整備事業

航空レーザー測量成果の一例 林相区分 (1/1,000)



飛行機から照射したレーザーの反射光の強さ等を用いて調製した「林相判読支援図」(上 背景)を活用することで、空中写真(下 背景)では影で見えづらい箇所についても、正確な林相区分(黒線)が可能となります。

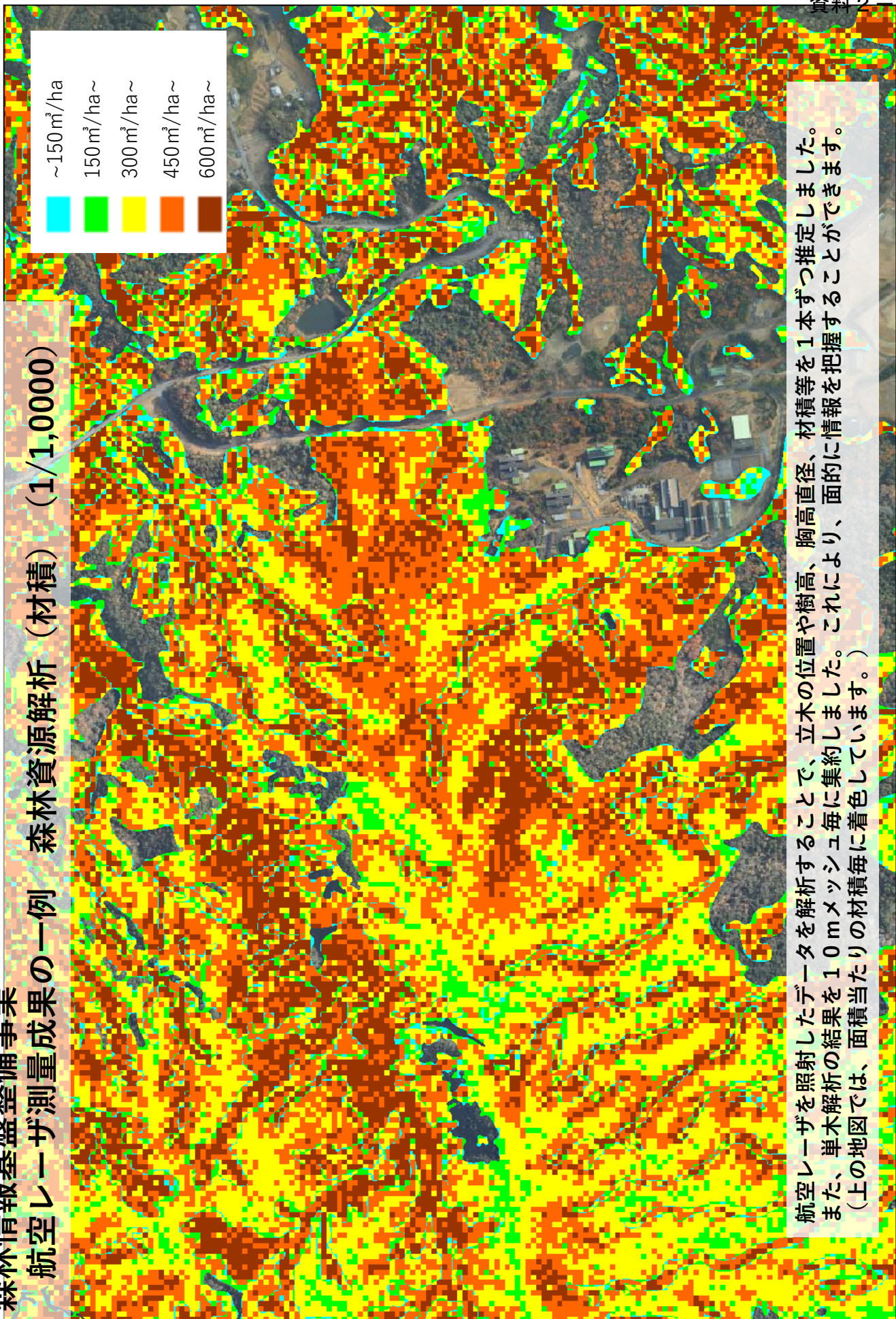
森林情報基盤整備事業
航空レーザー測量成果の一例 立体地形表現図 (1/1,000)



飛行機からレーザー光を照射し、反射した位置を算出することで、詳細に地形を計測し、立体地形表現図を作成しました。現行の空中写真から作成した等高線図(右)では微地形は読み取ることができませんが、航空レーザー測量で作成した立体地形表現図(左)では、地形の崩れや浸食状況などを読み取ることができます。

従来、現地に行かなければわからなかった情報が事前に机上でわかるため、危険で重労働であった現地調査を省力・軽減することができまます。

航空レーザー測量成果の一例 森林資源解析（材積）（1/1,0000）

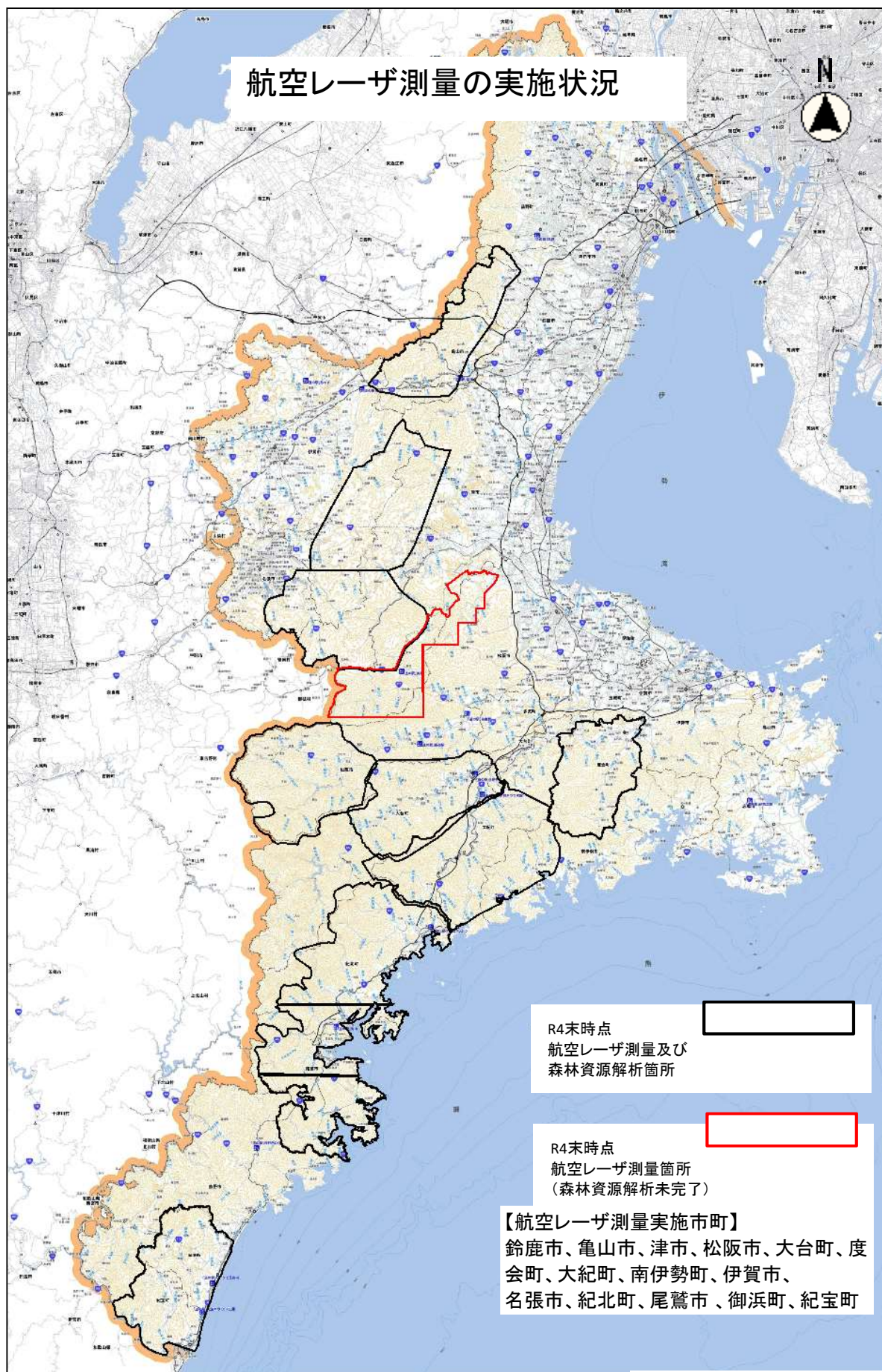


航空レーザーを照射したデータを解析することで、立木の位置や樹高、胸高直径、胸高径等を1本ずつ推定しました。また、単木解析の結果を10mメッシュ毎に集約しました。これにより、面的に情報を把握することができます。（上の地図では、面積当たりの材積毎に着色しています。）



これらの成果を単独あるいは組み合わせ活用することで、森林整備を進める林分を抽出することができます。
（例）立体地形表現図から溪流沿いの箇所を探索し、胸高直径が小さく流木化しやすい立木を可視化しました。

航空レーザ測量の実施状況



縮尺 1 : 720000

5000 500 10000 15000 20000

森林情報基盤整備事業の情報発信状況について

1 三重県ホームページへの掲載

The screenshot shows the official website of Mie Prefecture. The page is titled '森林情報基盤整備事業について' (About the Forest Information Base Improvement Project). The navigation menu includes 'Home', 'Living/Environment', 'Disaster Prevention', 'Welfare/Children', 'Sports/Education/Culture', 'Tourism/Industry/Local Development', and 'Government/Information'. The main content area features a sidebar with 'Forest/Forestry' and a main heading '森林情報基盤整備事業とは' (What is the Forest Information Base Improvement Project?). Below the heading, there is a paragraph explaining the project's purpose: to improve forest disaster resilience by using LiDAR and aerial laser measurement data for precise forest information. A table below the text is partially visible, with the first row containing the title '表_航空レーザ測量及び森林資源解析の実施状況'.

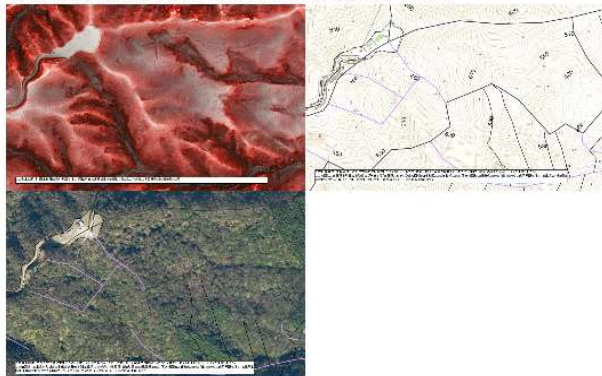
航空レーザ測量による詳細な地形データの取得

航空レーザ測量とは、飛行機やヘリコプター等からレーザ光を地上に照射し、地形を測量する手法のことです。レーザ光は地表まで到達するため、従来の空中写真測量よりも詳細な地形データの取得が可能です。

取得した地形データから傾斜や標高等を割り出し、地図上に表現することで、誰でも容易に地形を把握することができる立体地形表現図を作成することができます。

以下に、航空レーザ測量による2種類の立体地形表現図（左上）と、それぞれ同一箇所で実施された空中写真測量による等高線地図（右）と空中写真（下）を掲載しました。

（例1）立体地形表現図の例（赤色立体地図：アジア航測株式会社調製、左上の図）



「Mie Click Maps for 三重県森林ページ」資料 2-2 を公開しました

～森林管理のきっかけづくり～

県では、災害に強い森林づくりをより効果的に進めるため、令和元年度からみえ森と緑の県民税を活用し、航空レーザ測量とその測量成果を用いた森林資源解析により精度の高い森林情報の基盤整備を実施しています。得られた森林情報のうち、詳細な地形データや森林の分布などを、WEB上で確認することが可能となります。

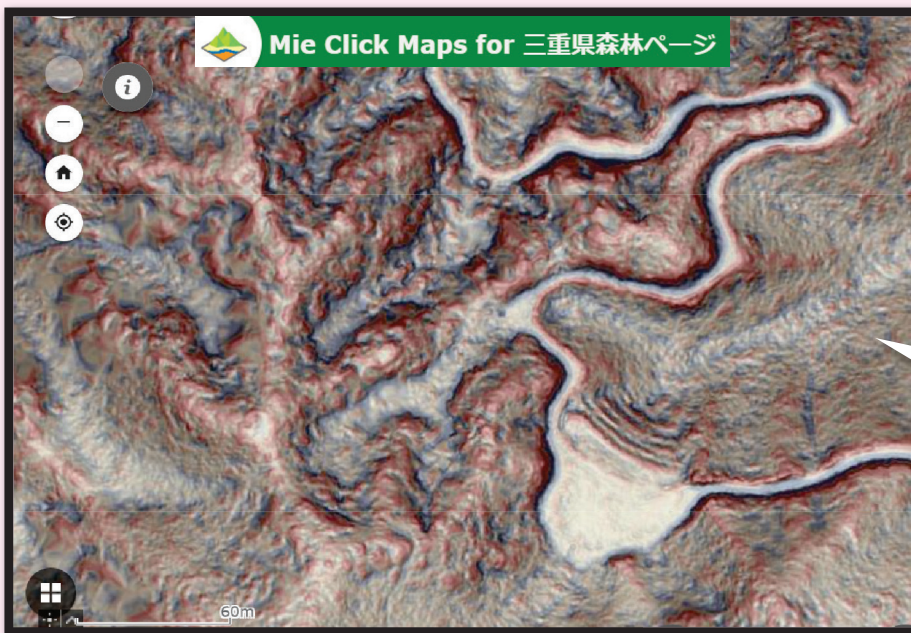
また、森林計画図や森林簿の情報の一部についても、WEB上で確認することが可能です。

●所有する森林を確認してみましょう●

森林情報をWEB上で確認することができるため、現地に行かずに所有する森林の情報を把握することができます。

所有する森林の現状が分からずにお困りの方などが、現状を把握するうえで有効な情報収集の手段となります。

立体地形表現図

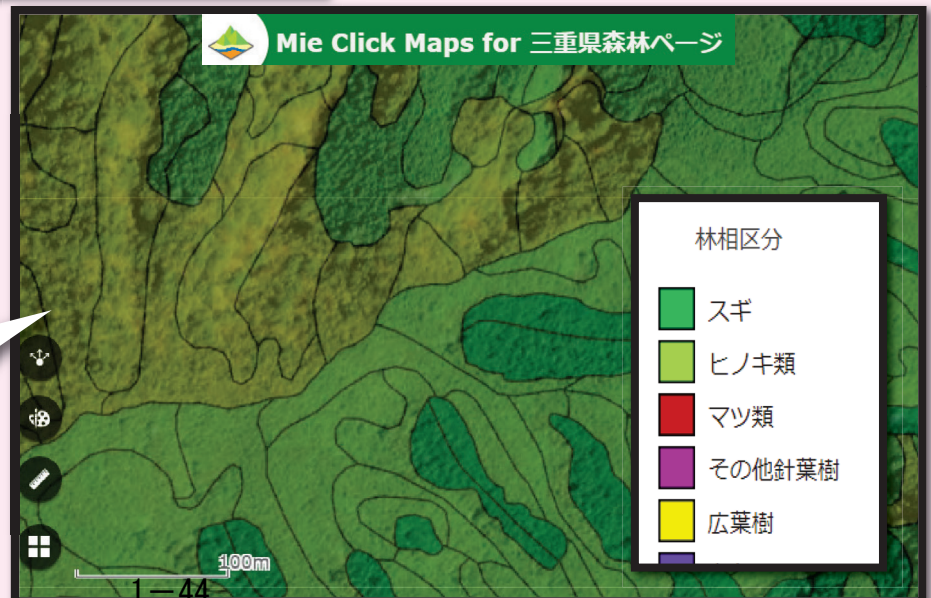


スマホで見れる



微地形を色、濃淡で表現した図です。
森林に覆われて上空からは見えない小さな尾根や谷、崩壊地形まで読み取ることができます。

林相区分図



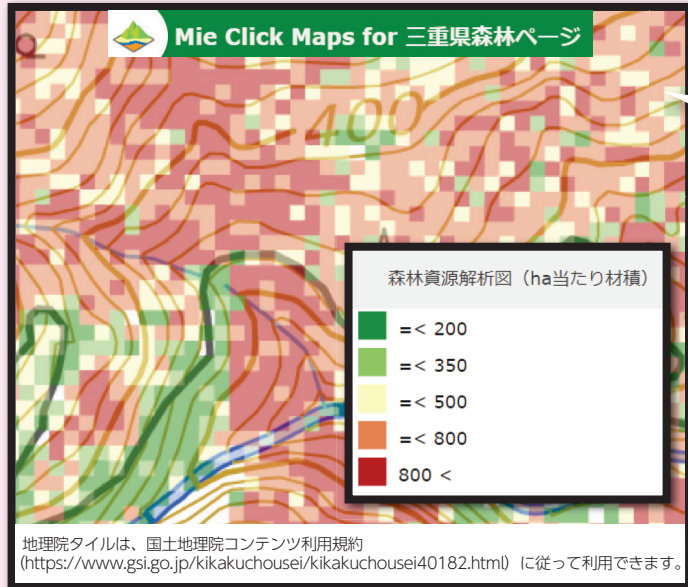
樹種毎に色分けした図です。
森林資源の分布状況を把握することができます。

※同一樹種であっても、本数密度、樹高等に明らかな違いがある場合は分割されています。

森林資源解析データとは、単木毎の情報を10m×10m単位で集約し、森林の特徴を可視化できるようにしたデータです。

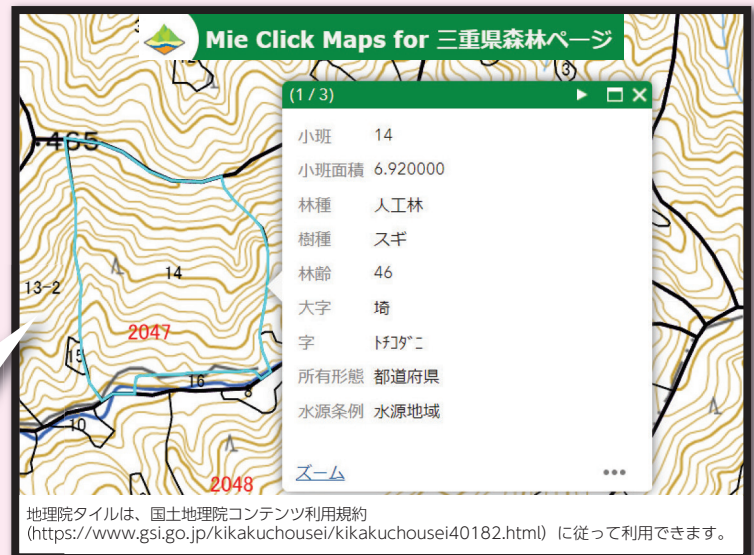
※単木毎の情報→ 航空レーザ測量によりレーザ光が樹木に当たった位置情報を解析し、得られた情報（樹頂点位置や樹高等の推定値）

森林資源解析図(ha当たり材積)



森林のha当たり材積を確認できます。赤い箇所ほど材積が多いです。(要因：樹高が高い、密な林分)

森林計画図



森林計画図※をWEB上で確認することができます。また、森林簿情報(樹種、林齢等)についても、区域ごとに確認できます。※森林計画図は、樹種や所有形態等により分割されています。

●掲載ホームページの紹介●

三重県地図情報サービス (Mie Click Maps) は、地図を利用して三重県が保有する位置や場所に関する情報を公開・提供するサイトです。

本サイトに三重県森林ページを新たに公開します。

(URL) <https://mcm-map-pref-mie.hub.arcgis.com/>



●お問い合わせ先●

航空レーザ測量に関すること

三重県 農林水産部 森林・林業経営課
スマート林業推進班
TEL059-224-2991

森林計画図に関すること

三重県 農林水産部 森林・林業経営課
森林計画班
TEL-059224-2564

航空レーザ測量成果の活用に関する研修会 事項書

日時：令和 5 年 2 月 7 日（火）

13時30分～15時30分

場所：三重県伊勢庁舎 401 会議室

1. 研修内容**(1) 森林境界明確化と意向調査の推進について**

～航空レーザ測量成果、森林クラウド等を活用した事例の紹介～

【概要】

航空レーザ測量成果を活用した他県での先進的な取組の事例紹介を通じて、森林経営管理制度に基づく森林境界明確化や意向調査を効果的に実施していくためのノウハウについて、株式会社パスコの上田副部長に講義いただきます。

- ①航空レーザ測量成果を活用した地籍調査（津市の事例）
- ②航空レーザ測量成果を活用した森林境界明確化（宮崎県延岡市の事例）
- ③過去の航空写真と ICT 技術を活用した森林境界明確化
（鹿児島県垂水市の事例）
- ④森林クラウドを活用した意向調査の見える化（福岡県久留米市の事例）

(2) 3Dを活用した路網計画について

～航空レーザ測量成果の活用に向けて～

(3) 質疑応答**2. 講師**

株式会社パスコ 事業統括本部 森林プロジェクト推進部
副部長 上田 正博

みえスマート林業推進協議会 ICT施業推進部会 事項書

日時：令和4年12月16日（金）13時30分～16時

場所：津市桜橋3丁目446-34 三重県津庁舎大会議室

1. 紀伊半島の森林経営管理に適した目標林型の類型化と施業指針の作成に関する調査・研究成果についての講義（13：30～14：30）

講師：三重大学大学院 生物資源学研究科 松村教授

【概要】

当該調査・研究については、森林経営管理制度を適正に運用し、効率的に森林整備を推進するため、紀伊半島の地域特性を踏まえた経営管理に適した森林の判定基準や現状の森林タイプに応じた目標林型の類型化、類型化した目標林型に誘導するための具体的な施業方法などをまとめた指針（マニュアル）となっており、その内容について三重大学の松村教授に講義いただきます。

（休憩）

2. 森林クラウドと指針（マニュアル）の実際の活用方法について（14：40～15：40）

講師：三重県農林水産部 森林・林業経営課 スマート林業推進班 田村

【概要】

指針に基づき、間伐施業が必要な森林の抽出や、施業を行う際の間伐率の設定、間伐施業の設計等の一連の流れを、森林クラウド上の航空レーザ測量及び森林資源解析成果を用いて行う手法を実演します。

3. ICT施業推進部会の今後の進め方について（15：40～16：00）

○第 2 期の取組実績

年度	レーザ計測面積	解析完了面積	計測対象市町	備 考
R1	約643km ² (64,310ha)	約398km ² (39,820ha)	津市・大台町・伊賀市・名張市・尾鷲市・紀北町	大台町・尾鷲市・紀北町は計測のみ
R2	約272km ² (27,205ha)	約554km ² (55,365ha)	鈴鹿市・亀山市・大台町・度会町・尾鷲市・紀北町	大台町・尾鷲市・紀北町は解析のみ
R3	約638km ² (63,780ha)	約440km ² (44,038ha)	松阪市・大台町・大紀町・南伊勢町・紀北町	大台町・紀北町は計測のみ
R4	約324km ² (32,386ha)	約479km ² (47,889ha)	津市・松阪市・大台町・尾鷲市・紀北町・御浜町・紀宝町	大台町・紀北町は解析のみ 津市・松阪市は計測のみ
合計	約1,877km ² (187,681ha)	約1,871km ² (187,112ha)		

○令和 4 年度事業の主な経費

項目	数量	単位	金額(千円)			レーザ計測面積	解析完了面積
			事業費	うち県民税	うち国費		
森林情報基盤整備第1号業務委託	1	業務	68,574	43,111	25,463	約200km ² (19,964ha)	約277km ² (27,672ha)
森林情報基盤整備第2号業務委託	1	業務	45,269	45,269	0	約124km ² (12,422ha)	約202km ² (20,217ha)
事務費	1	式	3	3	0		
合計			113,846	88,383	25,463	約324km ² (32,386ha)	約479km ² (47,889ha)

④—ア：森林教育体制整備事業

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

1 事業の目的

「森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりへ向けた教育」、「森林に関わる活動やビジネスを志すきっかけとなる教育」、「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」に取り組むことで、「みえ森林教育ビジョン」を実現し、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2 令和4年度事業の概要

みえ森林教育ビジョンを実現するため、森林教育の裾野を広げ、子どもから大人まで一貫した教育体系を構築し、主体的・対話的で深い学びの充実を図るためのイベントや講座の開催、森林教育プログラムの開発及び森林教育ステーションの整備等に取り組みました。

【具体的な取組】

- (1) 森林教育イベントの開催
 - ・第1回みえ森林教育シンポジウム
- (2) 森林教育プログラムの開発・実践
 - ① 子ども向け講座【ジュニアフォレスター育成講座】
 - ② 指導者向け講座【森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育む指導者養成講座】
 - ③ 学生向け講座【みえ森林教育 学生ワークショップ～森や木や自然にふれあい、学び、育む教育・保育を考えよう～】
 - ④ 企業向け講座【みえ森林教育企業講座 SDGs時代の企業における森林とのつきあい方について考える Vol.2～三重の資源、森と木をどう活かすか～】
 - ⑤ 幼児教育関係者向け支援【みえ森林教育アドバイザー派遣】
 - ⑥ 小学生向け冊子の開発・発行
 - (A) 副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」
 - (B) みえ森林ワークブック
- (3) 森林教育ステーションの整備
 - ① 森林教育ステーションの認定
 - ② 森林教育ステーション認定に向けた支援
- (4) 森林教育の効果検証

(1) 森林教育イベントの開催

【第 1 回みえ森林教育シンポジウム】

目的	森林教育に関心のある方から、実際に森林教育に取り組む実践者、また、子どもから大人など幅広い立場の県民が、ワークショップや体験教室に参加し、森林教育について学び、意見を交わし、考える機会を設けるほか、トークセッションや記念講演を通じて、こ森林教育に対する理解を深め、これまで以上に様々な場面で森林教育を推進することを目的に、みえ森林教育シンポジウムを開催します。
日時	令和 5 年 2 月 4 日(土)10 時から 16 時
場所	三重県総合文化センター
対象	幅広い立場の県民
内容	<p>第 1 部 ワークショップ</p> <p>① 幼児教育・保育セッション（参加人数 52 人） 対象：幼児保育関係者 テーマ：身近な自然を活用した「森のようちえん」的体験</p> <p>② 森林教育指導者セッション（参加人数 36 人） 対象：森林教育指導者 テーマ：「生きる力」を育む森林教育</p> <p>③ 学校教育セッション（参加人数 21 人） 対象：学校関係者 テーマ：「森林 ESD」を取り入れた多様な教育活動への対応</p> <p>④ 森の料理教室：どんぐりのクッキーづくり（参加人数 45 人）</p> <p>⑤ 木工教室：木の雑貨作り（参加人数 43 人）</p> <p>第 2 部 ステージプレゼンテーション</p> <p>① 第 9 回みえの森フォトコンテスト表彰式</p> <p>② トークセッション 「森や自然にふれる学び、育みのこれから」</p> <p>③ 記念講演会「絵本と自然とこども」（参加人数 327 人） いわむらかずお（絵本作家）</p>

反応	<p>参加者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題が深刻化し、その解決方法が見つからない中、緑化、森づくり、森林教育は大変重要な役割を果たすと思います。ぜひ今後もこのシンポジウムを続けて、一人でも多くの森林教育の指導者が増えることを期待しています。(幼児教育・保育セッション参加者) ・子どもたちの声が聞こえる中で、子どもや森に思いを寄せる大人が集まることができてとても良い雰囲気でした。(幼児教育・保育セッション参加者) ・園のすぐ横の山林や小川を活用した野外保育をしていますが、まだまだ野外保育とよべるレベルではありません。秘密基地や遊具を、木工や木材に詳しい方に協力いただいて子どもたちと作ってみたいです。(幼児教育・保育セッション参加者) ・野外体験の学童保育を行っています。子どもと子育て世代が気軽に利用できる自然体験フィールドを作りたいです。(森林教育指導者セッション参加者) ・今回のパネリストの活動は参考になった。子どもへの伝え方など参考にしたい。(森林教育指導者セッション参加者) ・子どもの体験格差について、私自身も常々感じているところなので、改善策を話し合える場があればと思いました。(森林教育指導者セッション参加者) ・今後も森林教育のつながりを広げることができるこのような場を期待しています。(森林教育指導者セッション参加者) ・学校現場の取組を知れてよかった。(学校教育セッション参加者) ・このように森林教育などテーマ性をもっていろんな方と話し合うのは大切だと思いました。(学校教育セッション参加者)
----	---

森林教育シンポジウムの開催状況



幼児教育・保育セッションの様子



学校教育セッションの様子



森の料理教室の様子



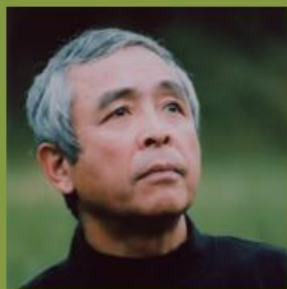
木工教室の様子



第9回みえの森フォトコンテスト表彰式の様子



記念講演会の様子

参加
無料

記念講演会「絵本と自然と子ども」

絵本作家 いわむらかずお さん

里山の自然や生きものに寄り添って生まれた、
すてきな絵本の物語。遊んだり、作業をしたり、
絵本の中の自然を体験できるフィールドづくり。
子どもたちの豊かな原体験につながる絵本と場
所を生み出した、いわむらかずおさんによるや
さしいおはなし会。絵本の朗読もあります。



森や自然に
ふれる学び、
育みを
考えよう、
話し合おう。

第1回

みえ森林教育シンポジウム

2023.2.4 (土) 10:00~16:00

三重県総合文化センター 主催：三重県 | 参加無料 |

詳細や各種申込についてはこちらからご確認ください。

第1回
みえ森林教育シンポジウム

同時開催

第15回
子ども応援! わくわくフェスタ

この取り組みは、
「みえ森と緑の県民税」
を活用して実施してい
ます。

お問い合わせ先

三重県林業研究所
普及・森林教育課

059-262-5352



059-262-0960



miefa2@pref.mie.lg.jp

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

プログラム

※予告なく変更する場合があります。



第1部 ワークショップ [男女共同参画棟]

10:00 ~ 11:45

幼児教育・保育セッション

[セミナー室A]

テーマ

身近な自然を活用した「森のようちえん」
的体験

モデレーター

宮里暁美 / お茶の水女子大学 人間発達教育
科学研究所

10:00 ~ 11:45

森林教育指導者セッション

[セミナー室B]

テーマ

「生きる力」を育む森林教育

モデレーター

高瀬宏樹 / 国立曽爾青少年自然の家

10:00 ~ 11:45

学校教育セッション

[セミナー室C]

テーマ

「森林 ESD」を取り入れた多様な教育活動
への対応

モデレーター

木俣知大 / (一社) 東京学芸大学
Explayground 推進機構

10:00 ~ 12:00

森の料理教室

[生活工房]

どんぐりのクッキーづくり

講師

柵山咲子 / 季節ごはん教室 niwacoya

10:00 ~ 12:00

木工教室

[生活工房]

木の雑貨づくり

講師

三重県木材組合連合会

※ワークショップは、どなたでも参加できますが、事前申
込が必要です。詳細はイベントホームページをご確認く
ださい。



第2部 ステージプレゼンテーション [文化会館棟・中ホール]

13:00 ~ 13:05

● 開会

13:05 ~ 13:20

● 第9回みえの森フォトコンテスト表彰式

13:25 ~ 14:15

● トークセッション「森や自然にふれる学び、育みのこれから」

嘉成頼子 / 森の風こども園、高瀬宏樹 / 国立曽爾青少年自然の家、
平山大輔 / 三重大学教育学部、宮里暁美 / お茶の水女子大学 人間発達教育科学研究所、
コーディネーター 新海洋子 / (一社) SDGs コミュニティ

14:30 ~ 16:00

● 記念講演会「絵本と自然とこども」

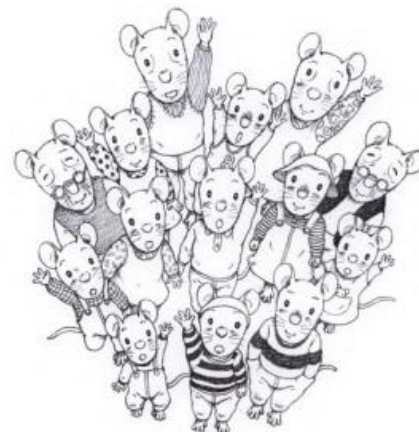
いわむらかずお 絵本作家

16:00

● 閉会

※閉会後いわむらかずおさんのサイン会を行います。(事前申込が必要です。)

※ステージプレゼンテーションは、どなたでも参加できますが、事前申込が必要です。席に余裕がある場合は当日参加も可能です。



記念講演会 「絵本と自然とこども」

里山の自然や生きものに寄り添って生まれた、すてきな絵本の物語。
遊んだり、作業をしたり、絵本の中の自然を体験できるフィールドづくり。
こどもたちの豊かな原体験につながる絵本と場所を生み出した、
いわむらかずおさんによるやさしいおはなし会。
絵本の朗読もあります。



いわむらかずお絵本の丘美術館



えほんの丘フィールド



イベントホームページ



いわむらかずお：絵本作家

1939年東京生まれ。東京芸術大学工芸科卒業。1975年東京を離れ、栃木県益子町の雑木林の中に移り住む。「14ひきのシリーズ」(童心社)や「こりすのシリーズ」(至光社)は国内だけでなく、フランス、ドイツ、台湾などでもロングセラーとなり、世界の子もたちに親しまれている。「14ひきのあさごはん」で絵本にっぽん賞、「14ひきのやまいも」などで小学館絵画賞、「ひとりぼっちのさいしゅうれっしゃ」(偕成社)でサンケイ児童出版文化賞、「かんがえるカエルくん」(福音館書店)で講談社出版文化賞絵本賞受賞。2014年にフランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。1998年4月栃木県馬頭町(現・那珂川町)に「いわむらかずお絵本の丘美術館」を開館。絵本・自然・子どもをテーマに活動を始めた。

(いわむらかずお絵本の丘美術館ホームページより)

県ホームページや県フェイスブックによるイベント情報の発信



三重県
Mie Prefectural Government



森や自然に
ふれる学び、
育みを
考えよう、
話し合おう。

第1回
みえ森林教育シンポジウム
2023.2.4 10:00～16:00
三重県総合文化センター 主催：三重県 | 参加無料 |

イベントホームページ

お知らせ

【2月3日】

- いむらからずおさんサイン絵本の販売を次のとおり行います。時間内に売り切れることも考えられますので、購入希望の方はお早めにお買い求めください。
 - ・日時：令和5年2月4日（土）12:00～14:30、16:00～16:50
 - ・場所：三重県総合文化センター中ホール・ホワイエ（ロビー）
- 第2部ステージプレゼンテーションの当日参加については、中ホール・ホワイエ（ロビー）の受付で直接お申込みください。施設の容量によって時間前に締め切れることもありますので、ご了承ください。

【1月30日】

- 1月27日までにワークショップ・ステージプレゼンテーションにお申し込みいただいた方には、1月29日までに抽選結果・参加決定のメールをBCCで一斉送信しています。お手元にメールが届いていない場合は、迷惑メールのフォルダを確認していただくとともに、[miefa2@pref.mie.lg.jp]からのBCCでの一斉送信メールを受信できるように設定を見直していただきますようお願いいたします。

【1月27日】

- 第2部ステージプレゼンテーションの申込について、定員を超える申込をいただいておりますが、席に余裕があるため、引き続き2月1日（水）まで申込を受け付けます。（会場の容量により事前に締め切る場合がありますのでご了承ください。）
- 第1部ワークショップ「学校教育セッション」について、引き続き2月1日（水）まで申込を受け付けます。
- 第1部ワークショップの会場について、次のとおり変更しますのでご注意ください。
 - ・森林教育指導者セッション：（変更前）セミナー室B→（変更後）セミナー室C
 - ・学校教育セッション：（変更前）セミナー室C→（変更後）セミナー室B

県ホームページ



いいね！ コメントする シェア

コメントを入力...

みえ森林・林業アカデミー
1月8日 · 🌳

2月4日（土）、『第1回みえ森林教育シンポジウム』を三重県総合文化センター（津市）で開催します！
テーマごとのワークショップやトークセッションのほか、14ひきのシリーズなどで有名な絵本作家の「いむらからずお」さんによる記念講演会も開催します。
どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください！
申し込みやプログラムなどの詳細はこちらでご確認ください。
【イベントホームページ】... もっと見る



参加無料



森や自然に
ふれる学び、
育みを
考えよう、
話し合おう。

第1回
みえ森林教育シンポジウム
2023.2.4 10:00～16:00
三重県総合文化センター 主催：三重県 | 参加無料 |

詳細や募集状況についてはこちらからご確認ください。

第1部
みえ森林教育シンポジウム

第15部
申込先着順10分枠で入場券

お問い合わせ先
〒514-8588 三重県津市
099-282-4352 099-282-0990 miefa2@pref.mie.lg.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

県フェイスブック

(2) 森林教育プログラムの開発・実践

① 子ども向け講座

【ジュニアフォレスター育成講座】

目的	森林や自然、野外活動等に関心のある子どもたちの学びの意欲をさらに高揚し、森林・林業及び持続可能な社会への理解を促進するとともに、子供たちの創意工夫や適応力、寛容さなどを養い、「生きる力」を育むことを目的に講座を実施します。
日時	令和4年11月23日(土)、12月3日(土)、12月4日(日) 令和5年1月14日(土)、1月15日(日) 計5日間
場所	三重びよクエの森 (三重県民の森)
対象	参加人数 15人 小学校4年生から6年生
内容	<p>11月23日(土)：1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズで考えよう森のはたらきと林業 ・木を切りたおしてみよう ・ネイチャーストーブを使ってみよう ・つえをつくってみよう ・森の木々を知ろう <p>12月3日(土)：2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツリークライミングで木に登ろう ・木の高さをはかろう ・はかってみよう二酸化炭素の固定量 ・森の木の本数を計算してみよう ・クッブ体験 <p>12月4日(日)：3日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アロマオイルをつくろう ・コンパスを使ってみよう ・ウォークラリーで森を学ぼう ・森の価値を考えよう <p>1月14日(土)：4日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のはしをつくろう ・火をおこしてみよう ・バームクーヘンづくり ・メニューを考えよう <p>1月15日(日)5日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの料理をつくろう ・ジュニアフォレスター宣言

効果と課題	<p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後まで元気よく子どもたちがいきいきとそれぞれの個性を発揮して活動する姿が見られた。 ・専門的な知識が必要なところでは、講師を別に依頼したことで、より細やかで興味を持てるプログラムができた。 ・前年度から対象年齢を1学年引き上げたことで、プログラムへの理解が深まり、座学に対しても集中している様子が見られた。 ・講座日数を5日間とすることで、余裕をもって実施することができた。 ・森や木に関する様々な方面からアクティビティを実施したことで、森や木に関して多面的な見方ができるようになった。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム数が多く、深い学びへの導きが不十分となるケースが見受けられたため、精査が必要 ・指導者養成講座と組み合わせると、子どもの人数に対して大人の人数が多くなり、相対的に子ども同士のコミュニケーションが少なくなっていく。最初から養成講座参加者が参画していくようなプログラムにしてもよい。 ・グループでの話し合いは、まとめるのが難しく、テーマの設定やファシリテートの仕方であまり誘導する必要がある。
反応	<p>参加者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このイベントは楽しいイベントなのでこれからも続けてほしい(4年生) ・木は二酸化炭素を吸収して固定して酸素を出すということが分かった(4年生) ・木で杖を作ったり、竹で箸を作って使うことができるということがわかった。(4年生) ・植えて、伐って、植えて、伐ってを繰り返して環境が良くなるということが分かった。(4年生) ・木にはいろいろな使い方や役割があるということが分かった(5年生) ・林業は木を守って育てる仕事で、色々な技術を持っていることがわかった。(5年生) ・針葉樹と広葉樹の見分け方が分かった(6年生)

ジュニアフォレスター育成講座の状況



1日目「森の木々を知ろう」



2日目「ツリークライミングで木に登ろう」



3日目「アロマオイルをつくろう」



4日目「自分のはしをつくろう」



5日目「自分たちの料理をつくろう」



5日目「ジュニアフォレスター宣言」

探ろう! **森** の価値ジュニア
フォレスター
育成講座

フォレスターとは、森を守り育てて活用するプロフェッショナル。

ロープでの木登りや森のはかり方、木の切り方、
木を使った道具づくり、そして火おこしなどを通して

きみもフォレスターになろう!

森林や林業について学び、体感する5日間です!

参加
無料

2022

11.23^水・12.3^土・12.4^日・1.14^土~1.15^日

各日

9:30 - 16:30 三重県民の森 (菰野町千草 7181-3)

※少雨実施 ※1.14-15は宿泊(屋内でのテント設営)が伴います

宿泊に関しては、保護者の方の同意書が必要になります(参加決定後に送付)

定員 15名程度(抽選)
対象 全日程参加できる県内の小学4~6年生

※ご兄弟、ご友人同士の組抽選は行いません ※お子様のみのプログラムです

申込期限 11/18(金)17時 ※抽選の結果は同日18時以降にご連絡いたします。

主催 三重県



お申込ページ

お申込み・お問合せ
三重県民の森

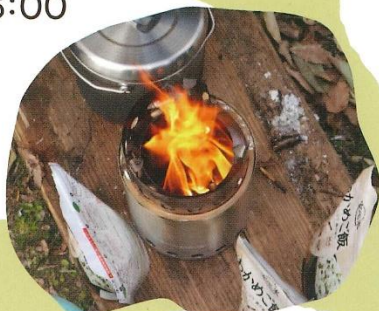
TEL: 059-394-2350 (9:00~17:00)

FAX: 059-394-2440 Email: info@mie-mori.jp

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

11.23 9:30~16:00

木を切りたおしてみよう
木をつえづくり
ネイチャーストープ体験
いろいろな木を知ろう



12.3 9:30~16:00

ツリークライミングで木に登ろう
木の高さははかってみよう
森の木の数を数えてみよう
クップで遊ぼう



12.4 9:30~16:00

アロマオイルを作ってみよう
コンパスを使ってみよう
森を学ぶウォークラリー



1.14 9:30~

森の材料でたき火をおこそう
森で夜をすごそう

屋内のテントにとまろう



1.15 ~16:00

たき火で料理をしよう
森の価値を考えよう



天候やその他の事情により、
日程及びプログラムの内容が
変更となる場合があります。

みえ森林教育の取組

三重県では、令和2年10月に策定した「みえ森林教育ビジョン」に基づき、森林と私たちの暮らし、経済がともに持続可能で豊かな社会をつくるために、誰もが森林や木に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人に育つことを促す「みえ森林教育」の取組を進めています。

今回の講座では、小学生の皆さんに、森での体験や学びを通して、仲間と楽しみながら森林の価値を探ることで、様々な気づきを得て、森林・林業・木への理解や関心を深めてもらいたいと考えます。

この事業は「みえ森と緑の県民税」を活用しています



カモミちゃん

新型コロナウイルス感染拡大対策について

- ・スタッフは業務中マスクを着用します。
- ・活動場所は野外を主とし、室内での活動の際は定期的な換気を行うなどの予防対策を行います。参加者の皆さまには次の事についてご協力をお願いいたします。
- ・発熱や咳などの風邪症状が見られる方は参加の自粛をお願いいたします。
- ・屋内での活動など必要に応じてマスクの着用をお願いいたします
- ・感染予防のため定期的に手洗いや手指消毒をしていただきます。

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた三重県指針に基づき実施します。

「ジュニアフォレスター育成講座」 参加申込書

申込先 三重県民の森 ファックス：059-394-2440 メール：info@mie-mori.jp

●ファックス申込は各項目ご記入の上、そのままご送信ください。メール申込は下記項目をご記入の上、メールをご送信ください。

●お申込の翌日に受付完了の返信がない場合は、お手数ですがお問合せください。

※収集した個人情報は三重県個人情報保護条例に基づき適切に管理します

ふりがな 参加者氏名	(年生) (性別)	ふりがな 保護者氏名	
電話番号		メール	
住所		備考・連絡欄	

②指導者向け講座

【森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育む指導者養成講座】

目的	「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」を進めていくため、森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育むことのできる指導者を育てることを目的に、講座を実施します。
日時	令和4年11月5日(土)、11月20日(日)、 12月3日(土)、12月4日(日)、12月18日(日) 令和5年1月14日(土)、1月15日(日)
場所	国立曽爾青少年自然の家、速水林業太田賀山林 三重びよクエの森(三重県民の森)、三重県林業研究所
対象	参加人数 12名 ・三重県内に在住、通勤又は通学している18歳以上の方 ・教育・保育関係者(志望者を含む)、森林教育指導者、自然体験等施設関係者又は当該分野に関する取組を実践されている方 ・原則、全日参加可能な方
内容	11月5日(土)1日目：そに森の子キャンプの視察 場所：国立曽爾青少年自然の家 11月20日(日)2日目：フィールド(森林)についての理解 「持続可能な森林利用」 場所：速水林業大田賀山林 12月3日(土)3日目：子どもの生きる力を育む自然体験活動 －指導者としての心構え－ 場所：三重びよクエの森(三重県民の森) 1月4日(日)4日目：対象者を理解する －発達段階をふまえた子どもとの関わり方－ 場所：三重びよクエの森(三重県民の森) 12月18日(日)5日目：自然体験活動における安全管理 場所：三重県林業研究所 1月14日(土)6日目：活動実践① 場所：三重びよクエの森(三重県民の森) 1月15日(日)7日目：活動実践② 場所：三重びよクエの森(三重県民の森) ※所定のカリキュラム終了時に認定試験に合格した場合、自然体験活動指導者(NEALリーダー)に登録可能

森林をフィールドにした子どもの「生きる力」を育む指導者養成講座の状況



6日目の実践で
火のおこし方を
子どもたちと一緒に
考えている様子



7日目の実践で
小刀の使い方を
子どもたちに教えている様子



7日目の実践で
のこぎりの使い方を
子どもたちに教えている様子

森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育む 指導者養成講座

資料2-2

自然体験活動指導者 [NEAL リーダー] 資格取得可能カリキュラム



森林や野外をフィールドに、子どもたちの主体的、対話的で深い学びを促進し、「自ら考え、判断して行動する力」「生きる力」を育む指導者養成講座を実施します。

この講座は、自然体験活動指導者（NEAL リーダー）養成カリキュラムに相当する内容となっており、所定のカリキュラム修了時に認定試験に合格すると自然体験活動指導者（NEAL リーダー）に登録することができます。

参加費
無料

11.5[±], 11.20^日, 12.3[±], 12.4^日, 12.18^日, 1.14[±], 1.15^日

■ 日 程：全7日間（日時・講座内容は裏面のとおりに）

■ 講 師：国立曾爾青少年自然の家 企画指導専門職 高瀬宏樹氏（11月20日以外）
速水林業代表 速水亨氏（11月20日のみ）

■ 対 象：次の要件を全て満たす方

- ・三重県内に在住、通勤又は通学している18歳以上の方
- ・教育・保育関係者（志望者含む）、森林教育指導者、自然体験等施設関係者又は当該分野に関する取組を実践されている方
- ・原則、全日参加可能な方

■ 定 員：10名程度（申込先着順）

■ 申込方法：右記のQRコード、三重県林業研究所ホームページ、みえ森林・林業アカデミーフェイスブックページから申込フォームにアクセスしてお申し込みください。
お問合せは、下段に記載の林業研究所普及・森林教育課までご連絡ください。

■ 申込締切：令和4年11月1日（火）17:00

※申込人数が定員に達した場合、申込を早期に締め切る場合があります。

■ 概 要：1. 導入・先進地視察 [第1回]

子どもの生きる力を育む体験活動の先進地視察を行い、活動の運営方法や指導者の子どもとのかかわり方について実際に見て学びます。

2. 講義・実習 [第2回～5回]

森林・野外での体験活動の意義や指導者としての技術、対象者理解、安全管理等について学びます。

3. 実践 [第6回～7回]

視察や講義・実習で学んだことをもとに、県主催の小学生を対象とした森林教育講座「ジュニアフォレスター育成講座」において焚火等に関する活動のスタッフとして運営に関わります。

■ 主 催：三重県

■ 共 催：(独) 国立青少年教育振興機構 国立曾爾青少年自然の家



申込フォーム
QRコード



この取組には
「みえ森と緑の
県民税」が活用
されています。



- 第1回 そに森の子キャンプ（国立曽爾青少年自然の家主催）の視察
日時：令和4年11月5日（土）13:00-15:00
場所：国立曽爾青少年自然の家（奈良県曽爾村太良路 1170）

- 第2回 フィールド（森林）についての理解、「持続可能な森林利用」
日時：令和4年11月20日（日）10:00-15:00
場所：速水林業大田賀山林（紀北町上里地内）
講師：速水林業代表 速水亨氏

- 第3回 子どもの生きる力を育む自然体験活動 ―指導者としての心構え―
日時：令和4年12月3日（土）10:00-15:00
場所：三重県民の森（菰野町千草 7181-3）

- 第4回 対象者を理解する ―発達段階をふまえた子どもとの関わり方―
日時：令和4年12月4日（日）10:00-15:00
場所：三重県民の森（菰野町千草 7181-3）

- 第5回 自然体験活動における安全管理
日時：令和4年12月18日（日）10:00-15:00
場所：三重県林業研究所（津市白山町二本木 3769-1）

- 第6回 活動実践①
日時：令和5年1月14日（土）10:00-15:00
場所：三重県民の森（菰野町千草 7181-3）

- 第7回 活動実践②
日時：令和5年1月15日（日）10:00-15:00
場所：三重県民の森（菰野町千草 7181-3）

注意事項

- ・申し込み時に記載いただいた個人情報は、三重県個人情報保護条例に基づき適切に管理し、講座の運営及び当該分野に係る情報提供以外の目的で使用することはありません。
- ・自然体験活動指導者（NEAL リーダー）の登録に必要な登録料（一般 5,000 円、学生 3,000 円）は自己負担となります。
- ・講座実施中に写真や動画を撮影し、県の広報媒体で使用させていただくことがあります。撮影が不可の方はあらかじめお申し出ください。
- ・野外での活動は、小雨決行です。荒天の場合は予定を変更する場合があります。
- ・雨具の用意と野外を歩ける靴、服装で参加してください。
- ・昼食と飲料を持参してください。
- ・基礎疾患をお持ちの方で、感染リスクを心配される方は参加をご遠慮いただくようお願いします。
- ・室内及び密集時におけるマスクの着用など、感染防止対策にご協力をお願いします。
- ・本講座で感染が発生した場合、保健所などの聞き取りにご協力ください。
- ・海外への訪問歴が7日以内にある方、発熱等の症状がある方は参加できません。
- ・講座当日は、受付時の検温、チェックリストの記入、こまめな手洗い、消毒をお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「三重県指針」等に基づき実施いたします。
- ・感染状況により実施方法を変更、または中止する場合があります。

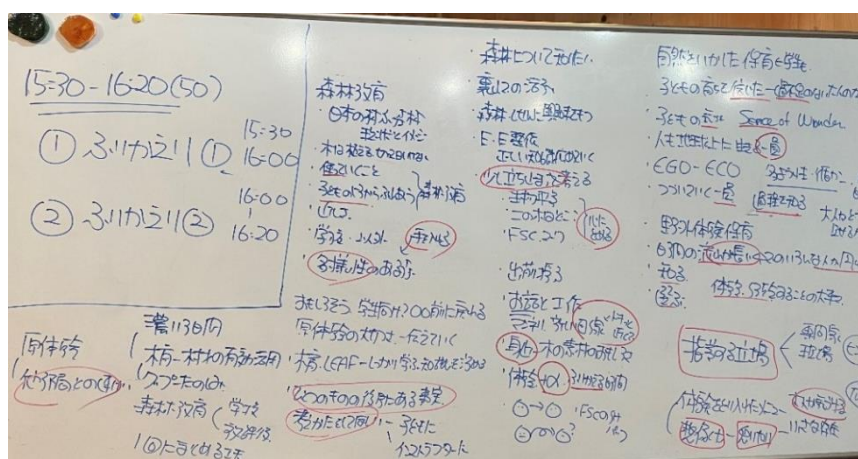
③ 学生向け講座

【みえ森林教育 学生ワークショップ～森や木や自然にふれあい、学び、育む教育・保育を考えよう～】

目的	将来森林教育に携わりたいと考える学生などを対象に、森林や木、自然にふれあいながら学び育む教育・保育について考えることを目的に、ワークショップを開催します。
日時	令和4年10月29日(土)、10月30日(日)、11月12日(土) 計3日間
場所	三重県林業研究所、三重びよクエの森（三重県民の森） 速水林業大田賀山林
対象	主に大学・短大・専門学校・大学校等の教育機関に在学する方で森林・自然、野外体験等を活用した教育・保育・子どもの育ち、森のようちえん、木育などに関心のある方 8名
内容	10月29日(土)1日目：三重県林業研究所 ・「木について知ろう」「森と社会の関係を知ろう」 ・「木工体験 ヒノキのターナーを作ろう」 ・「世界と日本の森林の現状」「LEAF の取組」 ・「森林飽和」「SDG s と森林保全」 10月30日(日)2日目：三重びよクエの森（三重県民の森） ・「森林環境教育に取り組む意義と効果」 ・「ネイチャーストープでお湯をわかそう」 ・「森のようちえんのフィールドを探索しよう」 ・「野外体験保育の意義と効果」 11月12日(土)3日目：速水林業大田賀山林 ・「持続可能な社会と森林利用」「森林認証の意義」 ・「FSC®の森を歩こう」 ・「森の香りのスモークチーズ試食会」 ・「森林教育とSDG s」

反応	<p>参加者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林にあまり関心がなかったが、昔の背景に驚き今の環境問題にも驚き関心を持つようになりました。 ・今までより一層、森林環境教育のおもしろさと必要性に気付くことができました。 ・森や自然の中で遊びながら学べる環境づくりのコツ、ポイントなど、森のようちえんの活動を小学校で取り入れることができないかと思いました。 ・森林のことについてほぼ何も知らなかったので学べてよかった。また、机上の学習だけでなく野外での活動も多かったことがよかった。 ・講義より体験活動が多い方が自分が指導する立場になったときに自分の経験で伝えやすいと思いました。 ・参加者の森林教育へのかかわりや森林に対する考え方を知って、意見交換する場が欲しいと思いました。 ・今後は森林インストラクターなどの資格にも挑戦してみたい。
----	---

学生向けワークショップの状況



みえ森林教育 学生ワークショップ

森や木や自然に ふれあい、学び、育む 教育・保育を考えよう



参加費
無料

森林教育ってなに？木育ってどんなこと？

森や木、自然にふれあいながら学び育む教育・保育について、
県内外で活躍する第一人者と一緒に、さまざまな体験を通して考えよう。



10.29^土, 10.30^日, 11.12^土

※全3日間、詳細は裏面をご覧ください

開催場所 | 10月29日 三重県林業研究所（津市白山町二本木）
10月30日 三重県民の森（菟野町千草）森の風こども園（菟野町千草）
11月12日 速水林業大田賀山林（紀北町海山区）
※10/30は大羽根園駅、11/12は伊勢中川駅から会場までの送迎が可能です。お申し込みの際に選択してください。

主催 | 三重県

参加費 | 無料

対象 | 主に大学・短大・専門学校・大学校等の教育機関に在学する方で、
森林・自然、野外体験等を活用した教育・保育・子どもの育ち、
森のようちえん、木育などに関心のある方。全3日間に参加できる方

定員 | 10名程度
※先着順/県内に在学・在住する方を優先する場合があります。

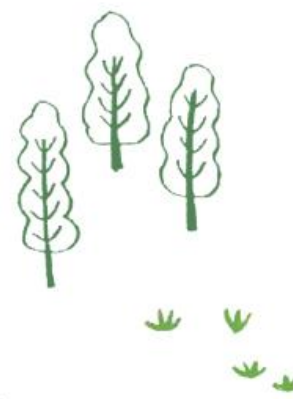
申込方法 | QRコード/三重県林業研究所ホームページ/みえ森林・林業アカデミー
Facebook ページから講座受付フォームにアクセスしてお申し込みください。



申込期限 | 令和4年10月17日(月) 17:00
※受付を早期に終了する場合があります。

お問合せ | 三重県林業研究所 普及・森林教育課

☎ 059-262-5352 📠 059-262-0960 ✉ miefa2@pref.mie.lg.jp



この講座は「みえ森と緑の県民税」を
活用して実施しています。



昨年度ワークショップ参加者の声

- 「学校では学ばない、教科書には載っていないことを知ることができ、自分の知識が広がった。」
 「森林と同じように、教育や学びについても様々な分野とのつながりが大切だと感じた。」
 「興味があった野外体験保育について、深く知ることができた。」



■ スケジュール

1日目 (10月29日)

- 09:30-10:00 あいさつ・オリエンテーション
 10:00-11:00 『木について知ろう』『森と社会の関係を知ろう』
 11:10-12:00 『木工体験 ヒノキのターナーを作ろう』
 熊本大学教育学部教授 田口浩継
 13:00-14:00 『世界と日本の森林の現状』『LEAFの取り組み』
 LEAF ナショナルインストラクター 吉田正木
 (LEAF=Learning about Forests)
 14:10-15:10 『森林飽和』『SDGsと森林保全』
 みえ森林・林業アカデミー学長 東京大学名誉教授 太田猛彦
 15:10-15:50 『木を投げるスポーツ“クップ”を体験しよう』
 16:00-17:00 ふりかえり・意見交換会

2日目 (10月30日)

- 09:30-09:50 三重県民の森 みえ森林教育ステーション見学
 10:00-11:00 『森林環境教育に取り組む意義と効果』
 京都教育大学教育学部教授 山下宏文
 11:00-11:20 ふりかえり・意見交換会
 11:20-13:00 『ネイチャーストーブでお湯を沸かそう』
 沸かしたお湯でお茶を淹れてランチタイム
 13:15-14:15 『森のようちえんのフィールドを探索しよう』
 (福) 森の風学舎理事 嘉成永慈
 14:25-15:25 『野外体験保育の意義と効果』
 東海大学児童教育学部児童教育学科専任講師 木戸啓絵
 15:25-16:10 ふりかえり・意見交換会

3日目 (11月12日)

- 10:50-11:00 あいさつ・オリエンテーション
 11:00-12:00 『持続可能な社会と森林利用』『森林認証の意義』
 12:45-14:15 『FSC®の森を歩こう』
 みえ森林・林業アカデミー特別顧問 速水林業代表 速水 亨
 14:15-14:30 『森の香りのスモークチーズ試食会』
 スギ間伐材製の本製燻製機で燻されたスモークチーズを試食
 14:30-15:30 『森林教育とSDGs』
 (一社) SDGs コミュニティ代表理事 新海洋子
 15:40-16:20 ふりかえり・意見交換会



■ 講師紹介

田口 浩継 (たぐち ひろつぐ)

熊本大学 教育学部 教授

木育、木材利用、森と人との関わりについての啓発に尽力。熊本県が発行する小学生・中学生の森林・林業・木材に関する副読本の監修を務める。

吉田 正木 (よしだ まさき)

LEAF ナショナルインストラクター

300年以上続く大紀町の林家「吉田本家」山林部代表、また薪ストーブ輸入販売を手掛ける株式会社ひのき家代表取締役社長。LEAF など森林教育の取組みや、スウェーデン発祥の木を使ったスポーツ「クップ」の普及にも尽力している。三重県クップ協会会長。

太田 猛彦 (おおた たけひこ)

みえ森林・林業アカデミー学長 東京大学 名誉教授

FSC ジャパン代表、かわさき市民アカデミー理事長等を務める。元職では、日本学術会議会員、日本森林学会会長、砂防学会会長、日本緑化工学会会長等を歴任。著書は「森林飽和-国土の変貌を考える (NHK 出版)」など。

山下 宏文 (やました ひろふみ)

京都教育大学 教育学部 教授

環境教育・森林環境教育に関する研究の第一人者。学校現場での普及や指導者の育成にも尽力している。日本エネルギー環境教育学会顧問。

嘉成 永慈 (かなり えいじ)

社会福祉法人 森の風学舎 理事

保育所型認定こども園 森の風こども園 副園長

三重県における「森のようちえん」の先駆けである「森の風こども園 (孤野町)」において、自然との関りを大切にしながら、子どもたちの育ちを見守る。小学生を対象とした自然体験活動「森の風しぜん学校」にも取り組む。

木戸 啓絵 (きど ひろえ)

東海大学 児童教育学部 児童教育学科 専任講師

青山学院大学大学院修了。在学中、ドイツへ森のようちえんの教育やシュタイナー教育を研究するため留学。研究テーマは、ドイツの幼児教育・ホリスティック教育・自然と子ども。ドイツと日本両国の森のようちえん事情に精通している。

速水 亨 (はやみ とおる)

みえ森林・林業アカデミー特別顧問 速水林業代表

平成12年に世界的な環境管理林業の証であるFSC認証を日本で初めて取得、その後の日本国内における認証林の広がりや国際的に通用するフェアウッドの考え方の普及に大きく貢献する。現在、三重県林業経営者協会会長、FSC ジャパン副代表、元職として、(一社)日本林業経営者協会会長等を歴任する。

新海 洋子 (しんかい ようこ)

一般社団法人 SDGs コミュニティ代表理事

SDGs・ESDプログラム開発、協働による地域課題解決の取組創出、協働による政策づくり、ESD/SDGs研修等を行う。NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議理事。昨年度のオンラインワークショップではモデレーターを務める。

④ 企業向け講座

【みえ森林教育 企業講座 SDG s 時代の企業における森林とのつきあい方について考える Vol.2～三重の資源、森と木をどう活かすか～】

目的	企業（事業者）を対象に、代々手入れされてきた林業地を見学することで、森林を知る体験をし、森林の現状や森林を活用することの意義などについて学び、企業が森林との結びつきやビジネスチャンスなどについて考える機会を創出することを目的に、講座を実施します。
日時 場所	令和 4 年 9 月 27 日(火)速水林業大田賀山林 令和 4 年 11 月 11 日(金)三栄林産、かぶとの森テラス 計 2 日間
対象	参加人数 10 名 三重県内に本社、または事業所を置かれている企業の方 (林業関係事業体を除く)
内容	1 日目：速水林業大田賀山林 実際に林業地を訪れ、感覚的に森を知るとともに、森林の現状や活用することの意義などについての講義と、林業最前線の事業者から生の声を聴く。 2 日目：かぶとの森テラス及び亀山市林業総合センター 製材所や木製品を販売するショールームの他、森林資源の新たな活用に係る取組について見学し、事業者からの講義や意見交換を実施
反応	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の講座への参加により、新たなビジネスチャンスを考えるきっかけづくりになりました。また、改めて弊社が林業に深く関わっていくことの重要性を再認識することができた講座でした。 ・間伐材を使った「子どもの体験（箸づくり）」を行っていますので、三重県産の間伐材を探していました。それらの情報をいただくことができました。 ・森林、林業を取り巻く環境と私たちのくらしとのつながり、事業への展開は、まず目に見える形で知り、互いの連携を摸索することが大事だと思いますので、今回のような機会を継続され、関係者が増えていくとよいと思います。 ・講習会に参加して三重県の生産森林の状況を初めて理解しました。他の社員にも参加させたいと思います。



令和4年度 みえ森林教育 企業講座

SDGs時代の企業における森林とのつきあい方について考える vol.2 ～ 三重の資源、森と木をどう活かすか ～

日本の森林は、木材利用だけでなく、国土保全や水源かん養など、私たちの暮らしを支える重要な役割を担っています。今まさに利用期を迎えているにも関わらず、この豊富な資源が十分に活用されず、林業・木材産業の担い手は減少し、手入れが行き届かない森林を、いかに健全な状態で持続させていくかが大きな課題となっています。

SDGsの時代にあって、私たちを取り巻く環境や社会、経済がうまく調和し、持続可能で豊かな社会をつくっていくためには、三重県の森林を上手く活用し、林業・木材産業だけにとどまらず、健康、観光、教育などの新たな視点で事業を展開するなど、森林や木材が私たちの暮らし中で、ごく当たり前に取り入れられている社会をつくっていく必要があります。

県では、森林や森林資源を活用する担い手として企業に注目し、企業が森林との結びつきや木材利用、さらには新たなビジネスチャンスなどを考えるきっかけをつくりたいと、企業の方を対象とした講座を開催します。

本講座では、実際に林業地や製材・加工場、販売店ショールームを訪れ、講義と林業最前線の事業者を交えたディスカッションや交流を通じて、これからの森林とのつきあい方について様々な視点から考えていきます。

森林や木に関わりのない方も、この機会にぜひご参加ください。

講座参加者募集

令和4年度 みえ森林教育 企業講座


「SDGs時代の企業における森林とのつきあい方について考える vol.2」

- | | |
|----|---|
| 対象 | 三重県内に本社、または事業所を置かれている企業の方(林業関係企業を除く) |
| 内容 | ・日本の森林や林業について知っていただく講義
・林業現場(林業地、製材所、加工場、ショールームなど)の見学
速水林業、森林組合おわせ、三栄林産株式会社
・森林や林業、地域とのこれからのつきあい方に関するディスカッション |
| 講師 | 全日程のモデレーター 青木 雅生氏(三重大学人文学部 教授) |
| 日程 | 全2日間(現地集合・解散)
第1日目 令和4年 9月27日(火) 10:00~16:30
(集合) 速水林業大田賀山林(三重県北牟婁郡紀北町海山上里) 9:45集合
第2日目 令和4年 11月11日(金) 9:00~17:00
(集合) 三栄林産 かぶとの森 70(三重県亀山市加太中在家 8125) 8:50 集合 |

④ 幼児教育関係者向け支援【みえ森林教育アドバイザー派遣】

目的	森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人づくりを目的とした「みえ森林教育」を推進するため、未就学児を対象とした保育、幼児教育を行う現場での森林教育の取組を支援することを目的に、森林教育 アドバイザーを派遣します。
日時 場所	令和 4 年 11 月 16(水) 名張市防災センター
対象	名張市内私立・公立の保育園・こども園の職員 22 名 名張市保育幼稚園室 2 名、名張市農林資源室 1 名 計 25 名
内容	アドバイザー：認定こども園森の風こども園 副園長 嘉成永慈氏 名張市自然体験保育研修～自然体験保育実践に向けたポイント～ 意見交換会
反応	主催者の声 ・市としては来年度以降も同様にアドバイザーの派遣を希望したい。
状況	 <p>研修会の様子</p>

県ホームページによる案内

 みんなで支える森林づくり

- ① みんなでつくる三重の森林
- ② 企業の森
- ③ みえ森と緑の県民税
- ④ 森林を学ぶ
- ⑤ 森づくり活動

 ツイート

 LINEで送る

 印刷する

保育、幼児保育の現場にみえ森林教育アドバイザーを派遣します

みえ森林教育アドバイザー派遣実施要領を制定しました

森林と私たちの暮らし、経済がともに持続可能で豊かな社会づくりを進めるため、「みえ森林教育ビジョン」の趣旨に則り、森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人づくりを目的に、「みえ森と緑の県民税」を活用して、未就学児を対象とした保育・幼児教育を行う現場に、森林教育アドバイザー派遣します。

1. 森林教育アドバイザー派遣の内容

- (1) 派遣対象
 - ア. 保育所、幼稚園及び認定こども園
 - イ. 市町
 - ウ. その他、林業研究所長（以下「所長」という。）が必要と認める者
- (2) アドバイザーによる支援内容
 - ア. 保育・幼児教育現場の視察及び課題解決に向けた助言
 - イ. 森林教育推進に向けた出前講座等の講師
 - ウ. ワークショップ等による課題抽出とその解決に向けた提案
 - エ. その他、所長が必要と認める支援
- (3) 経費の負担

アドバイザー派遣に要する経費（講師旅費、報償費）は、予算の範囲内で県が負担します。

2. 森林教育アドバイザー派遣の申請手続き

- (1) 提出書類：様式第1号「みえ森林教育アドバイザー派遣申請書」
- (2) 提出方法：郵送又はメールにより申請してください。
- (3) 送付先：〒515-2602 三重県津市白山町二本木3769-1
三重県林業研究所普及・森林教育課
e-mail : miefa2@pref.mie.lg.jp

3. 関係資料

- (1) [みえ森林教育アドバイザー派遣実施要領](#)（PDFファイル）
- (2) [様式第1号 みえ森林教育アドバイザー派遣申請書](#)（Wordファイル）
- (3) [様式第2号 みえ森林教育アドバイザー派遣実施報告書](#)（Wordファイル）
- (4) [別記1 みえ森林教育アドバイザー派遣：申請者アンケート](#)（Wordファイル）
- (5) [別記2 みえ森林教育アドバイザー派遣：参加者アンケート](#)（Wordファイル）



この取組にはみえ森と緑の県民税が活用されています。

⑥ 小学生向け冊子の開発・発行

(A) 副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」

目的	「みえ森林教育ビジョン」の趣旨に則り、森林教育の裾野の拡大のための取組として、児童が三重県の森林について知識を深め、関心をもつきっかけとなることを目的に、小学5年生の社会科に対応した副読本を発行・配布しました。
日時	令和4年7月発行・配布
対象	県内の小学校に通う小学5年生の全ての児童

三重の森林とわたしたちの暮らし

年
組

名前

もくじ

もしも森がなかったら? 1

木を切ることは自然破壊? 3

三重県の木はどこに使われているの? 4

森のお仕事ってどんなもの? 5

校庭の木を調べよう 6

三重県の森にはどんな特徴があるの? 7

地域と森のつながり 8

とくちようてき 三重県の特徴的な生き物



カモシカ (ウシ科カモシカ属)
三重県の獣 (昭和39年指定)
昭和30年に国の特別天然記念物に指定。三重県では、鈴鹿山地と紀伊山地の2箇所にカモシカ保護地域が設定されています。



イセエビ (イセエビ科イセエビ属)
三重県の魚 (平成2年指定)
暖かくきれいな水環境を好みます。江戸時代にはすでに「伊勢えび」として人びとに親しまれていました。



ネコギギ (ギギ科ギギバチ属)
伊勢湾・三河湾に流入する河川の固有種で、現在は絶滅危惧種に指定されています。三重県の中村川が「中村川ネコギギ生息地」として平成23年に国の天然記念物に指定されました。



神宮スギ (スギ) (ヒノキ科スギ属)
三重県の木 (昭和41年指定)
伊勢神宮の神域に生育するスギのことを神宮スギといいます。樹高40mを超える高木もみられ、天に伸びる美しい姿は参拝者の目をみはらせ、人々に親しまれています。

みんなといっしょに森のことを考えてみたいカモード

カモミ

エビちゃん

ネギぼう

<p>発行 三重県農林水産部</p> <p>監修 三重大学教育学部 教授 平山大輔</p> <p>協力 三重県教育委員会事務局</p> <p>制作 株式会社自然産業研究所</p> <p>発行年月 平成26年10月(初版) 令和4年7月(令和4年度版)</p>	<p>問い合わせ先 三重県林業研究所 普及・森林教育課 〒515-2602 津市白山町二本木3769-1 TEL 059-262-5352 FAX 059-262-0960 Email miefa2@pref.mie.lg.jp</p>
---	--

この副読本は、「みえ森と緑の県民税」を活用して作成しました。

(B) みえ森林ワークブックの開発・発行

目的	「みえ森林教育ビジョン」の趣旨に則り、主体的・対話的な学びを取り入れた教育手法の体系化を図ることを目的に、小学校の学習指導要領に適合した「みえ森林ワークブック」を発行しました。
日時	令和5年3月発行
対象	県内の小学校に通う5年生及び6年生の全ての児童
内容	<p>1) みえ森林ワークブック作成検討会の開催 みえ森林ワークブック作成にあたり、教育関係者を主とする検討会を3回開催し、小学校の学習現場で活用されるワークブックとするため、学習指導要領や森林ESDとの関連付けなどを検討しました。</p> <p>【検討会のメンバー】 津市立育生小学校 教諭 伊藤洸亮 一般社団法人SDGsコミュニティ 代表理事 新海洋子 松阪市立徳和小学校 主幹教諭 服部真一 三重大学教育学部 教授 平山大輔 京都教育大学 教授 山下宏文 三重県教育委員会事務局小中学校教育課 三重県林業研究所</p> <p>2) みえ森林ワークブック作成業務委託 上記検討会の意見を踏まえ、学習指導要領に対応した小学5年生の社会科と小学6年生の理科のワークブックを作成し、それぞれ23,000部、教員用の手引書各3,000部を発行しました。</p> <p>3) その他 作成したみえ森林ワークブックは、毎年小学5年生に配布している副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」と併せて、令和5年7月に配布します。</p>

5年生 社会

「森林とわたしたちの暮らし」

めあて

森林にある資源や、森林の持つはたらきを学び、国土の環境を守るために森林がどのようなはたらきをしているのかを考えよう。
また、山に木を植えて育てる林業の仕事を知り、学んだことをもとに、国土の環境を守るために、自分たちにできることを考えよう。

森林のようす ～天然林と人工林～

日本にはどのような森林資源があり、人工林と天然林でどのような違いがあるのかを考えよう。



森林を育て、守る人々 ～木材生産と木材輸入～

林業の仕事や、木材の生産量や輸入量の変化から、日本の林業の現状について考えよう。

森林のはたらき ～森林の適正な管理～

森林のもつはたらきについて学び、森林が荒れないためには森林をどのように管理していく必要があるのかを考えよう。

緑の循環 ～木材利用の大切さ～

緑の循環について理解し、木材を利用することで森林や国土の環境にどのような影響があるのかを考えよう。

森林を守る取組 ～わたしたちにできること～

国土や三重県の森林を守るための取組について調べ、自分たちにできることを考えよう。



発行 三重県農林水産部
編集 みえ森林ワークブック制作検討会
協力 三重県教育委員会事務局
制作 株式会社アイブレーション
発行年月 令和5年3月

問い合わせ先
三重県林業研究所普及・森林教育課
〒515-2602 津市白川町二本木 3769-1
TEL 059-262-5352 FAX 059-262-0960
e-mail: miefa2@pref.mie.lg.jp



このワークブックは、FSC® 認証を受けた、環境にやさしい木材(国産材)で作成しました。

このワークブックは「みえ森と緑の県民誌」を活用して作成しました。

みえ森林ワークブック

5年生 社会



組	名前
---	----

もくじ

森林のようす ～天然林と人工林～ P.1
 森林を育て、守る人々 ～木材生産と木材輸入～ P.3
 森林のはたらき ～森林の適正な管理～ P.5
 緑の循環 ～木材利用の大切さ～ P.9
 森林を守る取組 ～わたしたちにできること～ P.11
 【資料集】森林のすがた(三重県・日本・世界) P.13



みえ森林ワークブック

6年生 理科



組	名前
---	----

もくじ

わたしたちの暮らしと、三重県の自然や森林のすがた P.1
 地球にある水の循環 P.3
 地球にある空気と生物の関わり P.5
 地球にすむ生物のつながり(食物連鎖) P.7
 水、空気、生物、そして森林とのつながり P.9



6年生 理科

「地球に生きるわたしたちと森林」

めあて

生活の身近にある水、空気そして食べる、食べられるのつながりについて考え、地球上の様々な物質と森林、そしてわたしたちの生活が深く関わっていることを学ぼう。
また、森林のはたらきについて自分たちで調べて、森林の大切さを感じよう。

わたしたちの暮らしと、三重県の自然や森林のすがた

わたしたちの暮らしと、三重県の自然や森林のすがたをみつめよう。

地球にある水の循環

水は、すがたを変えながら、どこからどこへ移動しているのだろう。



地球にある空気と生物の関わり

地球にある酸素と二酸化炭素は、どこからどこへ出入りしているのだろう。

地球にすむ生物のつながり(食物連鎖)

森林にすむ生物たちの食べる、食べられるの関係を考えよう。

水、空気、生物、そして森林とのつながり

わたしたちの暮らしにとって、森林はどのような役に立っているのだろう。

調べ1 森林のはたらき「川や海を豊かにする」

調べ2 森林のはたらき「二酸化炭素をたくわえる」「きれいな空気をつくる」

調べ3 森林のはたらき「動物のすみかとなる」

調べ4 森林のはたらき「木材を生み出す」

調べ5 森林のはたらき「水をたくわえる」「土を支える」

調べ6 森林のはたらき「風や砂を防ぐ」



このワークブックは、FSC® 認証を受けた、環境にやさしい木材(国産材)で作成しました。



このワークブックは、FSC® 認証を受けた、環境にやさしい木材(国産材)で作成しました。

このワークブックは「みえ森と緑の県民誌」を活用して作成しました。

(3) 森林教育ステーションの整備

① 森林教育ステーションの認定

目的	県民の皆さんに森づくりの大切さや木材利用の意義を広く普及することを目的に、木製遊具や玩具に触れ、森林・林業について学べる常設型の森林教育施設を「みえ森林教育ステーション」に認定します。
期間	令和4年4月～令和5年3月
対象施設	みえ森林教育ステーション認定要領第2条より (1) 県産材を使った遊具又は玩具を常設していること。 (2) 森林や木材に関する書籍や絵本について、未就学児から小学生までを対象に各年代に対応した書籍を10冊以上常設していること。 (3) 主に未就学児や児童、保護者等の複数名が日常的に利用できる空間（以下「森林教育 空間」）が確保されていること。 (4) 森林教育空間の広さは、おおむね4㎡以上あり、木製の床であること。 (5) 常設の職員を設置し、森林教育活動を積極的に展開する意欲があること。 (6) 第5条の認定施設の管理者の責務の遂行が見込まれること。
認定状況	【令和4年度認定施設 8件】 認定 No.007 ふらここひろば hanare（認定日 R4.7.7） 認定 No.008 桜橋子育て支援センター（認定日 R5.1.2） 認定 No.009 紀宝町子育て支援センター（認定日 R5.3.9） 認定 No.010 紀宝町生涯学習センター「まなびの郷」 （認定日 R5.3.9） 認定 No.011 紀宝町飛雪の滝キャンプ場（認定日 R5.3.9） 認定 No.012 伊賀市子育て包括支援センター（認定日 R5.3.14） 認定 No.013 尾鷲市幼保連携型認定こども園ひのきっこども園 （認定日 R5.3.10） 認定 No.014 尾鷲市子育て支援センター ちびっこひろば （認定日 R5.3.10）
反応	【施設担当者の声】 ・子どもたちの興味に沿って森のお話もでき、子どもたちがいろいろなことに関心を持っていることが分かった。 ・0歳児から2、3歳児までの子どもたちを対象とした木のコーナーはとても人気で、木の車や電車等の玩具で遊ぶことを楽しんでい

ます。

・木の床が心地よいのか、寝転んだり素足になったりして体全体で心地よさを感じている姿が見られました。また、自然と子どもが集まって落ち着いて遊んでいました。

【施設利用者の声】

・子どもたちが木製おもちゃのチップでいろんなものを作ったり並べたりと飽きもせず制作していたのが印象的だった。

・座るのが気持ちいい。

・木の匂いがする。

・昔のおばあちゃんが住んでいた頃を思い出す。

・三重県の木でこんないいものが作れるんですね。

・ここで絵本を読むと落ち着きます。

・木の床は暖かいんですね。

認定施設の活用状況



ふらここひろば（紀北町）

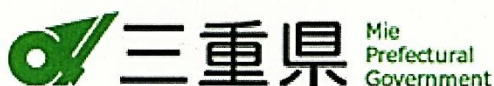


桜橋子育て支援センター（津市）



紀宝町子育て支援センター（紀宝町）

県ホームページによるみえ森林教育ステーション認定施設の紹介



みえ森林教育ステーション認定施設

認定番号008 桜橋子育て支援センター（津市）

「みえ森林教育ステーション認定制度」により、津市の桜橋子育て支援センターが認定番号008の施設に認定されました。

この施設は津駅に近い閑静な住宅街に立地する施設です。館内は明るく温かな雰囲気、ふれあい遊びや絵本の読みかけなどを毎日、午前と午後を実施しています。

施設情報

施設名	桜橋子育て支援センター
認定番号	008 令和5年1月20日認定
所在地	津市桜橋3丁目204
管理者	津市
利用対象	未就園児とその保護者
開館時間	午前：10：00～12：00 午後：13：00～16：00
休館日	①水曜日、土曜日、日曜日、祝日 ②年末年始（12月29日～1月3日）

ホームページ

津市HP（子育て支援センターにでかけてみませんか）

<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1465279288997/index.html>

問合せ 桜橋子育て支援センター

電話・FAX 059-225-4500

【施設の写真】

施設外観



認定証



館内の様子

② 森林教育ステーションの認定に向けた支援

目的	みえ森林教育ステーションの認定を受けようとする施設の整備に必要な物品の一部を支援します。
期間	令和4年4月～令和5年3月
支援施設数	8施設
対象資材	みえ森林教育ステーション整備支援事業実施要領第4条より (1) 県産材の積み木(※可能な限り地域産材とする。) 1セット (2) 木製タイル 5㎡程度 (3) 木製玩具(※5点までとする。) (4) 森や木に関する書籍や絵本 10冊程度

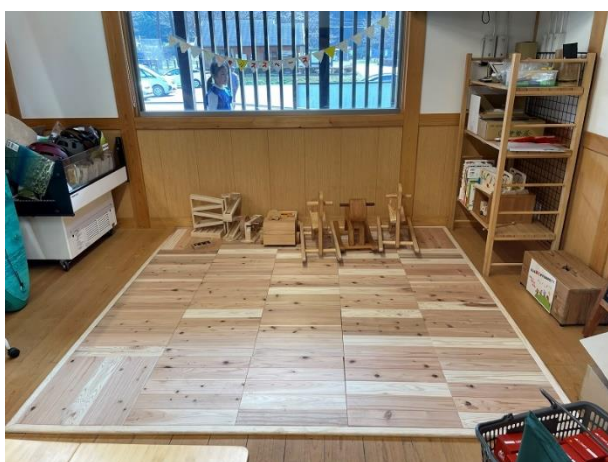
各施設に支援した森林教育関連物品の設置状況



ふらここひろば(紀北町)



桜橋子育て支援センター(津市町)



飛雪の滝キャンプ場(紀宝町)



ひのきっここども園(尾鷲市)

(4) 森林教育の効果検証

目的	「みえ森林教育ビジョン」のもと、森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりに向けた森林教育を展開していくことを目的に、三重県内の子どもたちが森林や木、木材に対して有している認識や関わりについての現状調査を、キッズ・モニターアンケートにより実施し、その結果を分析しました。
日時	調査期間：令和4年10月28日から11月14日
対象	キッズ・モニター登録者 558 人（うち回答者 153 人） ・県内在住又は在学の小学4年生から18歳までの児童・生徒等
林業研究所 研究職員 による 検証結果	<p>1) キッズ・モニターアンケートの結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9割近くの回答者が森林・木、木材に親しみを「感じる」および「少し感じる」と回答しました。 ・この1年間に森林等に親しむ体験や活動が「ない」と回答した割合は約4割を占め、年代別では小学生が12%、中学生が40%、高校生が74%となり、年代が上がるほど増加しました。 ・森林や木材、林業について教わる相手として多くの児童・生徒等が「学校の先生」「親など」を選択しました。 <p>2) 考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒等に森林教育を実施するためには、教育機関と連携して学校における教育活動の一環として組込まれることが有効と考えられる。 ・木製の学習机や椅子の導入や、興味を持ちやすい樹種を構内に植栽するなど森林等との関わりに気づき、親しめるしかけを学校や公園を優先して整備するとともに、その気づきを促す働きかけを行うことが有効と考えられる。 ・十数年後に児童・生徒等が「親など」の立場になった時、彼らが森林等に対して感じる「親しみ」がその子ども世代へ教示される可能性があると考えれば、充実した森林体験と正しい見識に基づく森林教育を推進することはとても意義深いと考えられる。 <p>3) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の検証結果については、「三重県林業研究所研究報告第13号（通号33号）」に掲載するとともに、その内容を県ホームページに掲載しました。

三重県林業研究所研究報告 第 13 号 (通号第 33 号) への掲載状況

三重県林業研報(13), 2023

資料

三重県における森林や木、木材に対する子どもの意識
—キッズ・モニターアンケート「森林教育について」の結果から—Children's awareness of forests, trees and wood in Mie Prefecture
-Results of the kids monitor questionnaire about forest education-石川智代^{1)*}Tomoyo Ishikawa^{1)*}

要旨：みえ森林教育ビジョンの実現のため、三重県の子どもが森林や木材、木との関わりにおいてどのような状況で、どのような意識を持っているのか、実態を把握するためにキッズ・モニターアンケートを実施した。アンケートの結果、9割近くの回答者が森林や木、木材に親しみを「感じる」および「少し感じる」とした。一方で、この1年間に森林等に親しむ体験や活動が「ない」と回答した割合は約4割を占め、その割合は小学生と比較して中学生・高校生で低くなった。また、森林や木材、林業について教わる相手として「学校の先生」と「親など」が同程度であった。みえ森林教育について、より多くの児童・生徒等に効果的に実践するためには学校行事として組み込むことや、児童・生徒等が「親など」に成長して社会を担うことを踏まえて子どもから大人まで一貫した体系化することが必要と考えられた。さらに、森林教育プログラムの実践と評価、ブラッシュアップを積み重ねることとあわせて、森林教育体系全体の評価・見直しを継続していくことが必要と考えられた。

キーワード：森林教育、モニターアンケート、子ども

はじめに

SDGs や脱炭素社会など持続可能な社会の実現に向けて、森林はその存在による多面的機能の発揮や林業・木材産業を通じた循環利用可能な資源生産などによる貢献が期待されている(林野庁 2022)。その一方で、三重県では収穫期を迎えた森林資源が十分に活用されずに森林の適正な管理・更新が危ぶまれる状況にある(三重県 2020)。このような森林・林業をめぐる情勢の変化や三重県の状況に対応した森林環境教育・木育を推進するため、三重県は令和2年10月に「みえ森林教育ビジョン」を策定した(三重県 2022a)。みえ森林教育ビジョンでは、目標とする社会及び人物の将来像を「森林と私たちの暮らし、経済がともに持続可能で豊かな社会」、「森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人」と掲げている。そして、みえ森林教育ビジョンのもと、森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりに向けて展開される森林環境教育及び木育を「みえ森林教育」と総称し、可能な限り多くの子どもたちに届けることを目指している。今後、目標とする社会の実現に向けて効果的なみえ森林教育を展開していくためには、その社会を担うことになる三重県内の子どもたちが森林や木、木材に対して有している認識や関わりについて現状を把握し、それを踏まえた森林教育を企画し、実践する必要がある。

¹⁾ 三重県林業研究所

Mie Prefecture Forestry Research Institute

* E-mail : ishikt06@pref.mie.lg.jp

(5) 主な経費の内訳

項目	支出額 (円)	備考
みえ森林教育シンポジウムの開催	3,163,599	報償費、旅費、消耗品・備品 購入費、会場使用料など
ジュニアフォレスター育成講座	2,979,075	委託費、旅費、消耗品費
指導者養成講座	140,905	報償費、旅費など
学生向け講座	717,075	報償費、旅費、消耗品費、チ ラシ印刷費など
企業向け講座	432,141	報償費、旅費、委託費、バス 借り上げ料など
みえ森林教育アドバイザー派遣	58,925	報償費、旅費
みえ森林ワークブック作成	4,191,406	委託費、報償費、旅費など
副読本作成	804,495	委託費、旅費
みえ森林教育ステーションの認定	1,029,789	消耗品費、旅費など
その他事務経費等	8,394,808	会計年度任用職員報酬など
合計	21,912,218	

④ーイ：みえ森づくりサポートセンター運営事業

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

1. 事業の目的

森林教育や森づくり活動に携わる人材の育成を図るとともに、これらの活動に地域や学校等で取り組みやすい体制を整えることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2. 令和4年度事業の概要

学校や地域で実施される森林教育や森づくり活動にかかる相談窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、森林教育や森づくり活動に対する、広域的・総合的なサポートを行いました。

【具体的な取組】

- (1) 森林教育指導者や学校関係者を対象とした養成講座の開催
 - ① 森林教育指導者養成講座【地域講座】
 - ② 森林教育指導者養成講座【スキルアップ講座】
 - ③ 学校教職員森林環境教育研修
- (2) 森林教育指導者等への活動支援
 - ① 森のせんせい登録、② 森のせんせい座談会、③ 森の学校
 - ④ 物品の貸出
- (3) 学校現場における森林教育の支援
 - ① 森林教育出前授業、② 森林教育活動のコーディネート
- (4) 森の写真教室及びみえの森フォトコンテストの実施
 - ① こども森の写真教室
 - ② 第9回みえの森フォトコンテスト
 - ③ みえの森フォトコンテスト入賞作品展示
- (5) 森づくり活動の支援
 - ① 県民参加の植樹祭、② 森づくり活動支援講座
- (6) 森林教育・森づくり活動に関する相談対応
- (7) 森林教育・森づくりに関する冊子・季刊誌の発行など
 - ① 森林教育活動事例集、② 森林づくりニュース
 - ③ ホームページや SNS を活動した情報発信

(1) 森林教育指導者や学校関係者を対象とした養成講座の開催

森林教育の推進に向けた指導者養成講座及び学校教育関係者を対象とした研修を実施しました。

- ① 森林教育指導者養成講座【地域講座】：地域の特性に応じた指導者養成講座を6回実施し、80名が参加しました。

講座名	開催日	開催場所	募集人数	受講人数
【伊賀地域】技術編	5月15日(日)	伊賀上野びよクエの森 (上野森林公園)(伊賀市)	10名	10名
【松阪地域】知識編	6月26日(日)	松阪市飯高林業総合センター、 月出の中央構造線周辺森林(松阪市)	15名	14名
【松阪地域】 野外活動安全管理編	7月17日(日)	松阪市森林公園(松阪市)	15名	13名
【四日市地域】 木育初級編	7月23日(土)	三重びよクエの森(三重県民の森) (菰野町)	20名	16名
【東紀州地域】 見学編②(流通・加工)	9月17日(土)	熊野原木市場協同組合、 (株)野地木材工業(熊野市)	15名	14名
【松阪地域】 見学編①(森林・林業)	1月14日(土)	叶林業所有森林、宮前小学校 (松阪市)	15名	13名

受講者の声

- ・たくさんのプログラムができてよかったです。いろんな場面でインタープリテーションがつかえるようになりたいです。(技術編受講者)
- ・文面だけで読んでもイメージしにくかった「森林の多面的機能」の理解が、自分なりに進んだように感じています。(知識編受講者)
- ・自然体験活動に対するリスクとハザードについて指導者として、考え、どのように参加者・子どもに伝えるべきか考える機会となりました。(野外活動安全管理編受講者)
- ・プログラム作成を行う事で木育を実施する立場のことを深く考える機会となりました。(木育初級編受講者)
- ・「製材」を日本の文化として残さなければいけないと思いました。製材の過程を知り、現場のナマを見聞きすることで、三重県の木を使うことの大切さが理解できました。木材は、人の知識、経験、技、歴史がたくさん詰まっているものなのだと思います、感動しました。(見学編②受講者)
- ・若い人が地域でプロとして林業をしているのに感心しました。町に住む素人になにができるのかと思いました。(見学編①受講者)

② 森林教育指導者養成講座【スキルアップ講座】：森林教育の指導者のスキルアップ講座を3回実施し、22人が参加しました。

講座名	開催日	開催場所	募集人数	受講人数
LEAF ローカルインストラクター編	11月26日(土) 11月27日(日)	(株)ひのき家及び周辺山林(大紀町)	10名	3名
コミュニケーション編	9月3日(土) 9月4日(日)	登茂山公園(志摩市)	15名	5名
木育中級編	11月20日(日)	いなべ自然楽校(いなべ市)	10名	14名

受講者の声

- ・実技を見聞きするのと、自分でやるのでは全く違い、下見の大切さ、事前のイメージが大切と痛感しました。(LEAF ローカルインストラクター編受講者)
- ・インタープリテーションについて、体系的に学ぶことができ、講義もとても勉強になりました。実習では、改めて他の方の視点を取り入れていくことの大切さを感じました。学んだことを生かせるようにしていきたいです。(コミュニケーション編受講者)
- ・実際に森のせんせいのような活動をしてみようと思ったときに、ノコギリの使い方など役に立ちそうな話が聞けてよかったです。(木育中級受講者)

指導者養成講座【スキルアップ研修】の実施の状況



LEAF ローカルインストラクター編の様子

木育中級編の様子

- ③ 学校教職員森林環境教育研修：学校での森林教育の取組促進を図るため、県教育委員会事務局との共催により学校教職員を対象とした研修（1回）を実施し 20 名が参加しました。

講座名	開催日	開催場所	募集人数	受講人数
学校教職員森林環境教育研修	7月29日（金）	三重県総合博物館 MieMu	20名	20名

受講者の声

- ・環境教育の概念や考え方が大きく変わりました。今まで「生き物を大切に」「食べ物やごみ問題」というイメージがありましたが、今回の講座から木という視点から子どもたちとともに考えていくことができるとわかった。
- ・学校にある木について、子どもたちと調べたり、生き様（ざま）について話をしていきたい。授業だけでなく、朝の会などちょっとした時間に子どもたちに森林の大切さや面白さを伝えていきたい。
- ・中学校技術を担当しており、森林に関する授業が新学習指導要領から入ってきたので、すぐにでも取り入れられると思った。
- ・5年生の社会科だけでなく、様々な学年で実践できそうだと思った。

学校教員森林環境教育研修の実施の状況



(2) 森林教育指導者等への活動支援

① 森のせんせい登録

(目的) 県民やさまざまな主体の参画による森林教育を進めるため、森林教育指導者の活動内容等の情報を学校や関連施設に提供し、森林教育の場や機会を拡大することを目的に、森林や自然環境に関する学習の指導者を「森のせんせい」として登録しました。

(森のせんせい登録者数の推移)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
個人	19	19	24	29	33	34	38	48	55	61	77
団体	10	16	16	20	26	28	30	32	40	43	47
合計	29	35	40	49	59	62	68	80	95	104	124

② 森の先生座談会

(目的) 森のせんせいなど森林教育者のネットワーク構築を目的に、森のせんせい座談会を開催しました。

(内容) 参加者から地域で行っている森林教育の状況について報告し、活動における課題への対応や参考となる事例の紹介など、意見交換を行いました。

開催地域	開催日時	開催会場	参加人数
北勢地域	3月26日(日) 13:00~16:00	三重びよクエの森 ふれあいの館	4名
中南勢・伊賀地域	2月4日(土) 10:00~11:45	三重県総合文化センター 男女共同参画棟	7名
伊勢志摩地域	1月28日(土) 10:00~12:00	横山ビジターセンター	3名

森のせんせい座談会の実施の状況



1月28日横山ビジターセンター



3月26日三重県民の森

③ 森の学校

(目的) これから森林教育指導者として活躍する意欲のある森のせんせいが、森林教育を実践し、経験を積む場として、森林や木について楽しく学べることをテーマに、森林散策や木工体験等を行う「森の学校」を実施しました。

(内容) 令和4年度は29回の「森の学校」を実施し、1,002人に対して森林教育を実施しました

【森の学校開催一覧】

番号	開催場所	開催日	森の学校名	参加者数
1	イオンモール東員	4月2日(土)	三重県産間伐材で森の標本箱を作ろう!	20人
2	イオンモール東員	4月3日(日)	丸太切り体験と木のキーホルダーを作ろう!	27人
3	高田短期大学	5月15日(日)	竹林整備と竹の小物作り	10人
4	高田短期大学	5月15日(日)	竹林整備とスタードーム作り	15人
5	イオンモール鈴鹿	5月21日(土)	三重県産材でイス作り	17人
6	イオンモール鈴鹿	5月22日(日)	木と貝がらのちょうちょブローチ作り	48人
7	イオンモール明和	6月11日(土)	三重県産材で作る森の標本箱作り	31人
8	イオンモール明和	6月12日(日)	葉っぱで遊ぼう	36人
9	イオンモール津南	6月18日(土)	木のペンダント作り	21人
10	イオンモール津南	6月19日(日)	三重県産材で作る森の標本箱作り	27人
11	イオンモール四日市北	7月2日(土)	小径木のコースター作り	33人
12	イオンモール四日市北	7月3日(日)	ねじり組コースター作り	40人
13	イオンモール桑名	7月9日(土)	ねじり組コースター作り	40人
14	イオンモール桑名	7月10日(日)	木のバードコール作り	32人
15	松阪市森林公園	7月10日(日)	木のペンダント作り	52人
16	四日市塩浜児童館	7月30日(土)	カホン作り	21人
17	四日市塩浜児童館	7月30日(土)	木のバードコール作り	18人
18	県立みえ子どもの城	8月7日(日)	夏の自然観察会	26人

19	県立みえ子どもの城	8月7日(日)	小さな夏の生き物観察会	19人
20	県立みえ子どもの城	8月7日(日)	間伐材でポールハンガーづくり	22人
21	県立みえ子どもの城	8月7日(日)	竹のおもちゃ作り	22人
22	三重県環境学習 情報センター	8月11日 (木・祝)	竹のこと知ってる？竹を使って工作の技を学ぼう！	45人
中止	松阪農業公園 ベルファーム	9月18日(日)	県産スギのイス作り	台風接近
中止	松阪農業公園 ベルファーム	9月19日 (月・祝)	マイ箸作り	〃
23	イオンモール東員	9月23日 (金・祝)	スケルトンリーフ作り	51人
24	イオンモール東員	9月24日(土)	森の妖精作り	36人
25	イオンモール東員	9月25日(日)	間伐材で本立てを作ろう	36人
26	県営サンアリーナ	10月10日 (月・祝)	マイ箸作り	57人
27	松阪市森林公園	10月16日(日)	バードコール作り	80人
28	松阪市農業公園ベルフ アーム	10月29日(土)	マイ箸作り	54人
29	松阪市森林公園	12月11日(日)	森のサンタクロース作り	66人

森の学校の実施の状況



10月16日松阪市農業公園
ベルファーム



12月11日松阪市森林公園

④ 物品の貸出

(目的) 地域における森林教育活動を支援することを目的に森のせんせい、森づくり活動団体、市町及び県を対象に、森林教育活動や森づくり活動に必要な物品などを貸し出しました。

(貸し出し状況)

番号	貸出先	貸出物品	貸出期間	用途・イベント等
1	森のせんせい	もりぼーる、積木、もくロック	4月18日～ 5月2日	熊野の木に触れよう木育イベント
2	森のせんせい	イベントテント	4月28日～ 5月9日	長谷園釜出し市での活動PR
3	森のせんせい	丸太切り台、ノコギリ	7月29日～ 8月1日	久間田公民館イベント
4	森のせんせい	ナイフ	4月21日～ 4月26日	子どもブッシュクラフト教室
5	子育て支援センター	もりぼーる、滑り台、積木、他	10月11日～ 10月13日	木木 木のおもちゃで遊ぼう!
6	県松阪農林事務所	子どもフォレスターなりきりセット	7月4日～ 7月26日	みえこどもの城「キッズおしごと広場」
7	津農林水産事務所	森のはたらきパネル	8月5日～ 8月8日	夏休み森と緑の親子塾
8	森づくり活動団体	ヘルメット、ノコギリ、ナイフ	8月10日～ 8月12日	子ども里山そうぞう学校2022・専科
9	森づくり活動団体	ヘルメット、ノコギリ、ナイフ	8月19日～ 8月22日	子ども里山そうぞう学校2022
10	市民センター	ヘルメット、丸太切り台、ノコギリ	8月3日～ 8月5日	森を守り、ワンちゃんを守る「MORI・WAN」体験活動
11	市民センター	丸太切り台、ノコギリ	10月14日～ 10月19日	いがびと交流と伊賀焼きを学ぶ「iga-style」体験活動
12	市民センター	ヘルメット、丸太切り台、ノコギリ	10月28日～ 11月2日	森を守り・伝統を学ぶ「MORI・IGA」体験活動
13	森づくり活動団体	ヘルメット、ノコギリ、ナイフ	8月26日～ 8月29日	子ども里山そうぞう学校2022・専科
14	森のせんせい	ヘルメット	8月22日～ 8月26日	慶應志木の森

15	森のせんせい	バーニングペン	10月4日～ 10月11日	小学校における自然体 験学習
16	森のせんせい	バーニングペン	11月10日～ 11月15日	小学校における自然体 験学習
17	森のせんせい	クップ	9月12日～ 9月20日	高校学園祭
18	森のせんせい	ヘルメット	11月18日～ 11月21日	松阪フェス木バル 2022
19	子育て支援セ ンター	もりぼーる	11月11日～ 11月24日	子育て支援センター事 業
20	森のせんせい	子どもフォレスター なりきりセット、ガー ド付きヘルメット	10月6日～ 10月18日	第8回みえチェーンソー 技術競技大会
21	森のせんせい	紙芝居一式、ノコギリ	10月21日～ 10月25日	MORIET～未来へつな ぐ森づくり体験～
22	鈴鹿市	森のはたらきパネル	10月28日～ 11月4日	緑に親しむ記念樹配布 事業
23	森のせんせい	ヴォイスウォーカー	10月31日～ 11月7日	日本森林インストラク ター協会全国研修会
24	三重県緑化推 進協会	イベント用テント	11月10日～ 11月14日	県民参加の植樹祭
25	県尾鷲農林水 産事務所	ノコギリ、キリ、丸太 切り台	11月17日～ 11月22日	三重紀北町 海・山こ だわり市
26	森のせんせい	森のはたらきパネル	11月16日～ 11月25日	まるごと林業体験
27	県林業研究所	丸太切り台	11月24日～ 11月25日	小学校出前授業
28	森のせんせい	もりぼーる、他	12月2日～ 12月5日	伊賀オーガニックフェ スタ 2022
29	森のせんせい	ヴォイスウォーカー	12月16日～ 12月19日	里山保全活動の市民講 座
30	市教育委員会	ノコギリ、バーニング ペン	2月1日～ 2月4日	小学校出前授業
31	県農林水産部	三重の木ふるさと三 重かるた	1月26日～ 1月31日	みえの木製品コンテス ト表彰式

(3) 学校現場における森林教育の支援

① 森林教育出前授業(12回)

(目的) 市町、学校、保育所等における森林教育を支援するため、学校等からの要望に応じ、指導者の紹介やプログラム提案等を行い、出前授業を実施しました。

(内容) 令和4年度は21か所から応募があり、これまで出前授業を実施していない施設を対象に12か所で森林教育出前授業を実施しました。

【出前授業実施個所一覧】

市町	開催場所	開催日	対象	単元の位置づけ	内容
桑名市	深谷教育集会所	8月9日 (火)	小学1～6年生30名 関係者4～5名	—	・森林の話 ・桑名の森林クイズ ・丸太切り体験 ・コースターやメダル作り
木曾岬町	木曾岬小学校	11月15日 (火)	小学4年生32名 関係者3名	総合学習	学校の森について学ぼう！ ・身近な森の観察 ・森林のはたらきと木の話 ・木に触れて木に親しもう
津市	安濃小学校	9月26日 (月)	特別支援学級小学2～6年生12名 関係者7名	自主活動	・森林と木の話 ・丸太切り（ノコギリ）体験 ・バードコール作り ・樹木の観察
松阪市	松尾小学校	12月2日 (金)	小学5年生47名 関係者3名	社会科 図工 総合学習	森の働きのおはなし 県産材を使った木工工作など
明和町	修正小学校	12月13日 (火)	小学5年生6名 関係者3名	社会科 図工	・森や木、林業についての話 ・丸太切り体験 ・キーホルダー作り
伊勢市	中島小学校	10月4日 (火)	小学5年生42名 関係者2名	社会科	・森林の話と林業の話 ・丸太切り体験 ・コースター作り
伊勢市	みなと小学校	9月28日 (水)	小学5年生54名 関係者2名	社会科	・森と木の話 ・地域の木を使ったマイ箸作り
伊勢市	豊浜東小学校	11月10日 (木)	小学5年生8名	社会科	・森の話と林業の話 ・丸太切り体験

			関係者 2 名		・ コースター作り
伊勢市	皇学館 中学校	9月20日 (火)	中学2年生 26名 関係者6名	総合学習	・ 林業の現状や森林の働きと SDGs との関わりについて ・ 小箱の木工作
南伊勢 町	南勢中 学校	1月18日 (金) (予定)	中学1年生 20名 関係者5名	—	・ 三重の森林や林業の話 ・ 地域の間伐材を活用した箸 作り
志摩市	神明小 学校	7月12日 (火)	小学6年生 40名 関係者2名	社会科 図工	・ 森と木の話 ・ 三重県産材を使ったマイ箸 づくり
名張市	特別支援 学校伊賀 つばさ学 園中学部	7月8日 (金)	中学2年生 11名 関係者6名	社会科、 理科(生 活)	・ 木の話 ・ スプーン作り
合計			302名		

子どもたちの声

・ 丸太の切り方やクイズをしていっぱい学べてよかったです。また、みんなと森林教室をやりたいです。森のせんせいとどこかで会いたいです。(深谷教育集会場小学3年生)

学校関係者の声

・ 11月に実施される本校の宿泊研修にもつながるととても良い体験でした。(皇学館中学校)

・ 座学の部分はとても勉強になりましたが、子どもたち(小学1年生)にとっては少し理解が難しかったようです。(津市立安濃小学校)

・ 授業のねらいを変えれば、どの学年でも実施することができると感じました。(明和町立修正小学校)

出前授業の実施の状況



12月13日明和町立修正小学校



1月18日南伊勢町立南勢中学校

② 森林教育活動のコーディネート

(目的) 森林教育活動を希望する市町、学校、保育所等において森林教育が実施されるよう、指導者の紹介やプログラム構築等のコーディネートを 28 件行いました。

番号	コーディネート対象	実施月日	対象	内容	備考	
1	JTB 津支店	9月10日	子ども 11名 大人 19名	森林・林業の話と間伐体験、ストラップづくり	JTB 地球いきいきプロジェクト	
2	高田短期大学	4月13日～	教員 7名	7つのゼミナールに森のせんせいを紹介	ゼミナール特別授業	
3	伊勢市教育委員会中島小学校	6月17日	小学 1年生 34名	ラブリバー公園での自然体験	きらり自然体験活動推進事業 触れる・作る・感じる自然体験プログラム	
4	伊勢市教育委員会豊浜東小学校	7月13日	小学 3～4年生 19名	ハマボウ群生地での観察会		
5	伊勢市教育委員会小俣小学校	10月11日	小学 4年生 97名	森の話とクップ体験		
6	伊勢市教育委員会宮山小学校	10月11日	小学 4年生 48名	森の話とクップ体験		
7	伊勢市教育委員会小俣小学校	10月21日	小学 5～6年生 251名	森の話とクップ体験		
8	伊勢市教育委員会上野小学校	10月28日	小学 1年生 19名	林業の話とオブジェ作り		
9	伊勢市教育委員会小俣小学校	11月18日	小学 1年生 106名	森林の話とコースター作り		
10	伊勢市教育委員会中島小学校	11月21日	小学 4～6年生 95名	森の話とクップ体験		
11	鈴鹿市久間田公民館	4月19日	—	森のせんせいについて(問い合わせ相談)		鈴鹿市公民館事業
12	伊賀市丸柱市民センター	5月11日	—	事業内容と講師の相談		伊賀市市民センター行事
13	松阪市森林公園	5月6日	—	森の学校の実施の相談	森の学校	

14	四日市市北部児童館	5月11日	—	出前授業と森の学校の相談	出前授業・森の学校
15	鈴鹿市旭が丘公民館	5月12日	—	森のせんせいの派遣とミエトイキャラバンの相談	環境学習センターの出前授業にて実施
16	多気町農林商工課	5月18日	—	出前授業の相談	多気町「木と触れ合う森林事業」植樹活動
17	明和町教育委員会	10月6日	小学3～4年生26名	森林・林業の話とキーホルダー作り	明和町市町交付金事業
18	(株)伊藤萬	8月7日	—	ブース出展の相談	おかげさまダイニング第1回マルシェ
19	東員町立城山小学校	12月2日	小学5年生20名	森探索と樹木観察、樹木銘板作成と取り付け	東員町市町交付金事業
20	伊賀市丸柱里山を知る会	9月29日	2名	自己保有林での里山保全・活動の相談	
21	鈴鹿市農林水産課 他	9月15日	2名	森林教育出前授業の相談	次年度計画
22	川越町おひさま児童館	10月5日	1名	森の学校の相談	町単独事業
23	多気町農林商工課	12月12日	2名	津田小学校における出前授業の相談	多気町市町交付金事業
24	伊賀市立神戸小学校	1月26日 2月14日	小学1～2年生21名	森林や林業の話、キノコの話と菌打ち体験	伊賀の森っこ育成推進事業
25	多気町立津田小学校	2月上旬	小学5～6年生18名	津田小学校における出前授業・講師紹介	津田小学校自主事業
26	玉城町産業振興課	2月24日	年中14名	下外城田保育園での木育事業	玉城町市町交付金事業
27	玉城町産業振興課	3月1日	年中37名	外城田保育園での木育事業	
28	玉城町産業振興課	3月15日	年中72名	田丸保育園での木育事業	

(4) こども森の写真教室及びみえの森フォトコンテストの実施

① こども森の写真教室

(目的) カメラを通して森や自然のおもしろさや豊かさを発見してもらうことを目的に、小中学生とその家族を対象に「こども森の写真教室」を開催しました。

(実施概要)

場所：三重県総合博物館 MieMu

参加人数：7組 16名

内容：講師に、県内外で活躍する写真家の松原豊さんをお迎えして、撮り方のレクチャーを受けたあと、三重県総合博物館のミュージアムフィールドの森を散策し、カメラにより写真を撮影しました。

参加者の声

- ・スマホで写真を撮るのが当たり前になっているが、カメラの設定方法などわかってよかった。
- ・自分の撮影した写真を大きな画面で見ることができてよかった。

実施の状況

② 第9回みえの森フォトコンテスト

(目的) 写真撮影を通じて森林や木に親しみ、その大切さを知っていただくことを目的に、「三重の森林」をテーマにして「第9回みえの森フォトコンテスト」を開催しました。

(実施概要)

募集期間：令和4年6月1日から10月10日まで

募集テーマ：三重の森林

応募資格：県内在住又は通学・通園（所）等している18歳以下の方

応募作品数：134名 309点

うち、小学生以下の部 48名 101点

うち、中学生以上の部 86名 208点

審査員の講評

● 写真家 松原氏

・小学生以下の部の特徴は、目についたものを直接的に捉えているものが多く、親子で森林のおもしろさや美しさ、貴重さなどを一緒に感じながら写真撮影を楽しんだのだと思います。これからも新しい森林との出会いを楽しんでもらいたいと思います。

・中学生以上の部では、場所による環境の変化を捉えたものが多くありました。また、日常生活の中の森林との関わりを表現している作品もあり、そのような眼差しの存在は大変嬉しく思いました。

● 三重大学教育学部 平山教授

・今年も昨年同様300点を超える応募があり、大変うれしく思っています。
・小学生以下の部では、子どもならではの低い視点から至近距離で、形のおもしろさやユニークさを捉えた写真が多かった一方で、中学生以上の部では、林業、農業などの人の営みを含めて、その地域の特性を捉えた写真が多くみられました。

・これからもカメラを手に、三重の森林を歩いてもらえればと思います。

● みえ森づくりサポートセンター 北野センター長

・写真を撮る人の始点の多様性が感じられました。
・南北に長く、また垂直的に海洋の温暖帯から亜寒帯までの森林がみられる三重県の自然は、変化に富んでいて、被写体として捉えるものは実に多いと思います。
・ぜひ、現地を訪れて三重県には様々な森林があることを体感していただきたいと思います。

第9回みえの森フォトコンテスト入賞作品



小学生以下の部 最優秀賞作品
「森の光」



中学生以上の部 最優秀賞作品
「木になりたい」



小学生以下の部 優秀賞作品
「ご先祖さまからの贈り物」



中学生以上の部 優秀賞作品
「海上の紙の森」

③ みえの森フォトコンテスト入賞作品展示

「三重の森林」をテーマに実施したみえの森フォトコンテストの入賞作品を、公共施設や商業施設などで展示し、子どもたちの視点で捉えた三重の森林をたくさんの方に見ていただきました。

【みえの森フォトコンテスト入賞作品の展示状況】

番号	展示場所	展示期間	対象
1	イオンモール東員	4月1日(金)～4月7日(木)	第8回入賞作品
2	イオンモール鈴鹿	5月16日(月)～5月22日(日)	
3	イオンモール明和	6月6日(月)～6月12日(日)	
4	イオンモール津南	6月13日(月)～6月19日(日)	
5	イオンモール四日市北	6月27日(月)～7月3日(日)	
6	イオンモール桑名	7月4日(月)～7月10日(日)	
7	熊野古道センター	7月11日(月)～7月25日(月)	
8	三重県総合文化会館	2月4日(土)【表彰式】	第9回入賞作品
9	三重県総合博物館	2月21日(火)～3月12日(日)	
10	ハイトピア伊賀	3月15日(水)～3月24日(金)	
11	イオンモール東員	3月27日(月)～3月31日(金)	

みえの森フォトコンテスト入賞作品展示の状況



みえ森林シンポジウムにおける展示の様子



イオンモール東員における展示の様子

(5) 森づくり活動の支援

① 県民参加の植樹祭

広く県民に呼びかけ、森林を育む意識を醸成し、県民参加の森づくりを推進することを目的に、令和5年3月4日(土)に菰野町の三重びよクエの森(三重県民の森)において『みんなで森づくり県民の森 de 植樹祭』を開催しました。

日時：令和5年3月4日(土)9:00 から

場所：三重びよクエの森(三重県民の森)

参加者：一般参加 25名(子ども：15名、大人 10名)

地元みどりの少年隊 3体 32名(子ども：17名、大人 15名)

内容：ふれあいグリーンキャンペーンで三重トヨペットより寄贈していただいた苗木6種類(クマノザクラ、キハダ、ハウノキ、イタヤカエデ、クヌギ、タムシバ) 20本を植樹しました。

「みんなで森づくり県民の森 de 植樹祭」における植栽の状況



② 森づくり活動支援講座

(目的) 地域で森づくり活動をさらに活発化するため、安全・安心な活動に向けた森づくりに関する講習会を開催しました。

(実施概要)

参加人数：三重県内で森づくり活動をしている方 15 名

【座学】 森林作業をする上での安全衛生講習

6月4日(土) 9:00~16:00 中勢森林組合会議室

【実技講習(刈払い機)】

6月5日(日) 9:00~12:00 三重県林業研究所構内

【実技講習(チェーンソー)】

6月5日(日) 13:00~16:00 三重県林業研究所構内

森づくり活動支援講座の実施状況



(6) 森林教育・森づくり活動に関する相談対応等

市町や学校、森林教育指導者（森のせんせい）等からの森林教育や森づくり活動に関する相談に随時対応し、活動のコーディネートや森林教育に関する情報収集、普及啓発を行いました。

	地方公共団体	教育機関	森のせんせい	その他	計
回数	27	23	10	13	73

主な問い合わせ内容

- ・会社の CSR 活動の一環として、森林保全活動に取り組みたいが具体的に予算の範囲内で何が出来るか相談したい。（企業）
- ・市が実施する自然体験事業に多くの小学校から要望があるので、その対応策について相談したい。（市教育委員会）
- ・公民館で行う森林教育活動で森のせんせいとして講師をする際の謝金の扱いについて教えてほしい。（森のせんせい）
- ・市民センターで行う自然教室における森のせんせいを紹介してほしい。（市民センター）
- ・森林公園のイベントで木工教室や自然観察をしていただける森のせんせいを紹介してほしい（森林公園管理者）
- ・研究資料の収集のため、竹林整備をしている団体を紹介してほしい。（大学関係者）
- ・森づくり活動をしたい方がいるので、活動グループを紹介してほしい。（大学関係者）
- ・森づくりの活動プログラムを紹介する冊子作成のため、印刷物発行にかかる助成金などの支援制度を教えてほしい。（森づくり活動団体）

(7) 森林教育・森づくりに関する冊子・季刊誌の発行など

① 森林活動活動事例集の発行

学校等において、森林教育の導入や取組の参考となるよう、県内で実施された森林教育活動の取組を取りまとめた事例集を作成し、県内小中学校や関係機関へ配布するとともに、その内容をみえ森づくりサポートセンターのホームページに掲載しました。

発行部数：1,300 部

記載事例数：県内の学校等で実施された森林教育活動 31 事例

配布先：国公立特別支援学校、義務教育学校、掲載校、森林・林業関係校、森のせんせい、森づくり活動団体、県市町農林担当部局、三重県森林管理署

森林教育活動事例集

02 学校の森について学ぼう！

木曾岬町立木曾岬小学校

学校の森の音での宿 森林授業 森の森を歩く
 話ごころ観察 落葉の下、地面の観察 見つけたものご観察 話ごころ発表の様子

森らい・・・

・「学校の森」を観察し、秋の樹木や森の様子を知る

取組内容

最初には森のせんせいから「森とは何か」について話を聞き、植物に対する理解を深めました。

その後、「学校の森」の中に入り、散歩しながら木々の名前や特徴などを教えてもらいました。グループの中には、ミツヤモミジなどの種を見つけた子もあり、種のにっこり、植物のおもしろさを感じていました。また、グループキーパーの形をした葉やおいしいドングリの話などを楽しみながら話をしました。

室内に戻ってからは、手で気づいたことなどを発表して共有しました。話によって、気づいた内容などが異なり、興味深そうに相手の発表を聞く姿が見られました。

【先生のコメント】 身近に素晴らしい森があることに気づきやすくなりました。活動後、休み時間などに学校の森に散歩に行く姿なども見られました。

③ ホームページや SNS を活用した情報発信

県内における森林教育や森づくり活動に関する情報や、この事業がみえ森と緑の県民税を活用して実施されていることを、みえ森づくりサポートセンターのホームページやフェイスブック、インスタグラムを活用して発信しました。



みえ森づくりサポートセンターのホームページ

みえ森づくりサポートセンターの
インスタグラムみえ森づくりサポートセンターの
フェイスブック

(8) 主な経費の内訳

項目	支出額 (円)	内訳		
		区分	金額 (円)	備考
みえ森づくり サポートセン ター運営事業	29,601,511	旅費	1,587	職員旅費
		光熱水費	1,983,000	電気代、水道代
		修繕費	440,333	貸与自動車の車検料
		損害保険料	20,010	貸与自動車の損害保険料
		委託料	27,110,981	みえ森づくりサポートセンター 運営業務委託
		公課費	45,600	貸与自動車の自動車税

④ーウ：森林教育施設整備事業

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：④森と人をつなぐ学びの場づくり

1 事業の目的

県民の皆さんがいつでも利用できる森林教育の活動フィールドや木製遊具などが常設された施設等を整備し、森林・林業、木材利用への理解を深め、意識の醸成を図ることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2 令和4年度事業の概要

三重県民の森のステーションにおいて、感染症対策に努めながら、ステーションの適正な運営を行うとともに、定期的に森林教育にかかるイベント等を実施しました。

また、三重県林業研究所の樹木図鑑園などの野外フィールドを森林教育活動が行えるフィールドに再整備するための調査を実施しました。

【具体的な取組】

- (1) 三重県民の森みえ森林教育ステーションの運営
- (2) 三重県林業研究所樹木図鑑園等の植生調査
- (3) 林業研究所多目的広場整備

(1) 三重県民の森みえ森林教育ステーションの運営

目的	森林教育ステーションにおける森林教育や施設運営、安全管理を適切に行い、本施設における森林教育を推進するとともに、利用者に安心安全で快適な環境を提供し、より多くの利用者への森林・林業、木材利用への理解を深めることを目的に、三重県民の森みえ森林教育ステーションを運営します。
期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
場所	三重びよクエの森（三重県民の森）みえ森林教育ステーション
対象	利用者数 9,728人 未就学児とその保護者
内容	<p>○ 三重県民の森「みえ森林教育ステーション」運営及び感染症対策等にかかる安全管理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林教育業務として、森林教育に関する展示や啓発物の作成を行うとともに、毎月1回程度の森林教育に関するイベントを開催しました。 ・運営業務として、資機材の管理やホームページ・SNSを活用した情報発信を行いました。 ・安全利用業務として、感染症対策のため、利用は事前予約制とし、利用人数を制限するほか、玩具の貸出や資機材の消毒を行い、安心して利用していただける環境を整えました。 <p>【イベントの実施状況】</p> <p>4月16日丸太パズルづくり（参加者31人） 4月21日丸太パズルづくり（参加者14人） 6月18日木の実クラフト（参加者27人） 6月23日木の実クラフト（参加者18人） 7月27日チョウの幼虫を飼ってみよう（参加者21人） 8月17日葉っぱクラフト（参加者36人） 8月27日絵本「へんしん」読み聞かせ会（参加者31人） 9月17日メッセージカード（参加者29人） 9月18日メッセージカード（参加者34人） 10月15日ハロウィンランタンづくり（参加者35人） 11月1日秋さんぽ（参加者3人） 11月2日秋さんぽ（参加者14人） 11月4日秋さんぽ（参加者16人） 11月6日シイタケを育てよう（参加者36人） 11月12日どんぐりクッキーをつくろう（参加者18人） 12月10日木の枝でつくるクリスマスツリー（参加者35人） 12月11日カッティングボードづくり（参加者31人）</p>

12月14日	木の枝でつくるクリスマスツリー (参加者 29人)
12月13日~25日	落ち葉プール
1月25日	木の実でクラフト (参加者 2人)
1月28日	木の実でクラフト (参加者 28人)
2月11日	作って遊ぼう竹のおもちゃ (参加者 29人)
2月21日	冬さんぽ (参加者 7人)
2月22日	冬さんぽ (参加者 15人)
2月24日	冬さんぽ (参加者 2人)
3月16日	木の空間でベビトレヨガ (参加者 9人)

施設利用の状況



6月18日 木の实クラフト



8月17日 葉っぱクラフト



3月16日 木の空間でベビトレヨガ



野鳥のはく製の展示

(2) 三重県林業研究所樹木図鑑園等の植生調査

目的	みえ森林教育ビジョンに基づき、子どもから大人まで誰もが森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人に育つことを促す森林教育活動を展開するため、三重県林業研究所の樹木図鑑園及び緑化見本園をみえ森林教育ステーションとして整備・管理するための調査を行いました。
時期	令和5年3月
場所	三重県林業研究所 樹木図鑑園及び緑化見本園
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木図鑑園及び緑化見本園の現地調査を基に、樹木の生育状況や整備・管理の方針等について、学識経験者の助言をもとに検討しました。 ・調査の結果、樹木図鑑園、緑化見本園ともに、枯死・消失や育成状況の悪化は見られるものの、明確なコンセプトに基づいて配植されていることから、これらは現状を大きく変更することなく、森林教育の場として有効活用できるものと考えられました。 ・学識経験者からは、本来の樹形や葉・花・果樹を観察できるような管理・育成を行っていくことが望ましいという指摘がありました。 ・令和5年度以降、この調査内容と学識経験者の意見を踏まえ、森林教育の行えるフィールドとして整備をすすめていきます。



樹木図鑑園に設置されている案内板

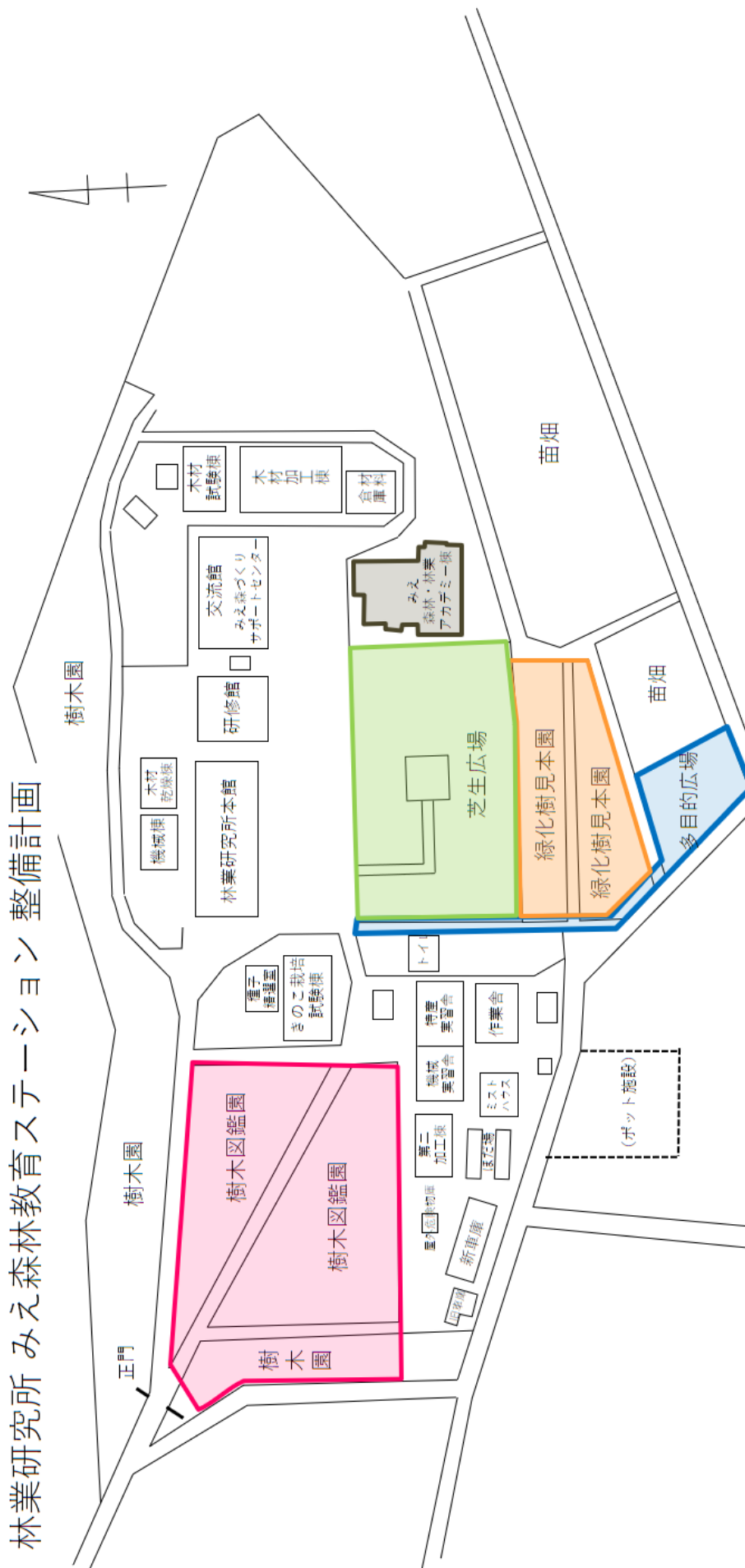
(3) 林業研究所多目的広場整備

目的	子どもから大人まで誰もが林業研究所の樹木見本園等を活用し、森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人に育つことを促す森林教育活動を展開することを目的に、三重県林業研究所の多目的広場を整備しました。
時期	令和5年3月
場所	三重県林業研究所 多目的広場
内容	・幅広い年代・立場の県民を対象に、林業研究所の樹木図鑑園や見本園を活用した森林教育を実施するため、多目的広場の整備を行いました。

多目的広場と進入路の整備状況



林業研究所 みえ森林教育ステーション 整備計画



整備スケジュール	R 4	R 5	R 6	整備の内容	活用計画
多目的広場	広場・進入路整備			野外で行う森林教育活動の拠点となるフィールドと各フィールド間を安全に往来するためのアクセス道の整備	林業研究所が行う、下記のような森林教育関係の講座やイベント等において活用する。 ・県が実施する、森林教育指導者養成講座において、森林教育指導者を目指す受講者が、樹木の特性や活用について学ぶ樹木観察フィールド。 ・県が実施する、森づくり活動支援講座において、森づくり活動を行う受講者が、チェーンソーや刈払い機の安全な取扱について学ぶフィールド。 ・県職員が指導者となり、近隣の小中学生等が校外学習として、野外レクリエーションや樹木観察などの森林教育を行うフィールドとしての活用。
樹木園鑑賞園	植生調査	樹木整備・歩道整備		様々な樹種の観察を行うフィールドの整備	
芝生広場		整備		野外レクリエーションを実施するフィールドの整備	
緑化樹見本園	植生調査		整備	多様な樹種・品種の樹木を観察するフィールドの整備	
			整備		

(4) 主な経費の内訳

項目	支出額 (円)	内訳		
		区分	金額 (円)	備考
森林教育施設整備事業	11,764,381	委託費	7,084,000	・みえ森林教育ステーション運営業務委託 ・三重県林業研究所樹木図鑑園等の植生調査
		工事請負費	4,367,000	・林業研究所多目的広場整備
		その他事務経費	313,381	

⑤：生物多様性推進事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：⑤地域の身近な水や緑の環境づくり

1 事業の目的

活動団体や県民・事業者・行政などが連携して取り組む生物多様性の重要性に関する普及啓発や自然環境保全活動を推進し、県民みんなで森林生態系等の生物多様性の保全が図られる体制づくりを行うことで、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性の保全を図ります。

2 事業の必要性

県では、これまで、地域の特性を踏まえた生物多様性の保全を進めるための地域戦略である「みえ生物多様性推進プラン」の取組方針に沿って、生物多様性に関する理解の促進を図るとともに、県民による地域の自然を守る保全活動など、地域と連携した取組を進めてきました。

その結果、自然環境の保全に取り組む活動団体数や希少種等の保全活動実施数が増加するなど、一定の成果が得られました。

一方で、近年、大規模な自然地の開発が増加しているほか、管理不足の里山等の増加、外来生物の増加など、森林生態系の置かれている現況は依然として厳しい状況にあります。

そのため、これまでの取り組みをさらに進めるとともに、今後は様々な主体と協力しながら生物多様性の保全に取り組んでいく必要があります。

3 事業の内容

生物多様性推進施策に必要な基礎的な情報の収集や希少な動植物の生息状況を調査・整理するとともに、生物多様性に関する普及啓発に取り組めます。

また、自然環境保全団体や専門家と協力して生物多様性の保全を推進します。

4 令和 4 年度生物多様性推進事業の実績

(1) 野生生物の生息状況調査

生物多様性推進施策に必要な野生動植物種の情報を把握するため、県内の湖沼・河川等にて、現況の確認及び野性鳥類（ガン類、カモ類、ハクチョウ類、カワウ）の生息状況調査を実施しました。（338地点）



写真、鳥類の生息状況調査

(2) 希少種評価対象リストの作成・調査

生物多様性保全の重要性がより一層求められている中、県の発行する「三重県レッドデータブック 2015」は希少種保全の基礎資料として広く活用されていますが、発行から7年が経過し、内容の見直しが必要となっています。そこで、改訂に向けた評価対象種の選定及び生息状況調査を実施するとともに、自然観察会や調査体験会等のイベントを20回開催し、生物多様性の重要性についての普及啓発を行いました。

また、県内の野生生物の生息状況を把握し、事業者への適切な指導を行うため、野生生物生息情報の迅速かつ正確な検索及び登録が可能となるデータベースを整備しました。

表 1. 「三重県レッドデータブック 2015」改訂スケジュール

	R4												R5												R6											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
評価カテゴリー策定								■																												
ホットスポットみえ検討								■																												
評価対象種選定																																				
生息状況調査																																				
予備調査																																				
カテゴリー評価																																				
レッドリスト案作成																																				
執筆																																				
RDB 案作成																																				
編集・製本																																				
普及啓発																																				

表 2. 主な生息状況調査の実施状況

調査日	部会	調査場所	調査内容、調査種など
7月13日	植物	志摩市	コモウセンゴケ
8月1日	植物	大紀町	ウエマツソウ等
9月27日	魚類	熊野市	汽水性ハゼ類
10月12日	貝類	田中川	塩性湿地、干潟の貝類
10月14日	魚類	多気町	トウカイヨシノボリ
11月3日	植物	熊野市	カワラハハコ等
11月15日	鳥類	東紀州	海鳥
12月6日	クモ類	松阪市	キシノウエトタテグモ等
1月3日	蘚苔類	紀宝町	クマノゴケ等
1月18日	昆虫類	伊勢神宮宮域林	オサムシ科
2月6日	蘚苔類	尾鷲市	クサリゴケ等
3月14日	貝類	伊勢神宮宮域林	淡水貝類

表 3. 主な普及啓発イベント実施状況

実施日	イベント名	場所	参加者	実施概要
8月7日	加太川の生き物を調べてみよう	亀山市森林公園 加太川	親子15組程度	加太川にて魚類等の水生生物の観察会
8月9日	なつやすみのひょうほんづくり	磯部生涯学習センター	小学生及び付き添い10組	昆虫の標本作成体験
8月10日	ぼくら生き物調査隊	みえこどもの城	小学生及び付き添い20組	昆虫の標本作成体験
8月28日	里山塾	亀山みちくさ公園	親子15組程度	ため池の水生生物観察・池干し
9月10日	鈴鹿川探検隊	安楽川	親子15組程度	安楽川にて魚類等の水生生物の観察会
9月27日	魚類調査体験会	熊野市内河川	大学生2名	汽水性ハゼ類の生息確認調査
10月16日	里山塾	亀山みちくさ公園	親子15組程度	亀山みちくさ公園での生き物全般の観察会



写真. 8月9日 なつやすみひょうほんづくり



写真. 8月28日 里山塾



写真. RDB 啓発用パンフレット

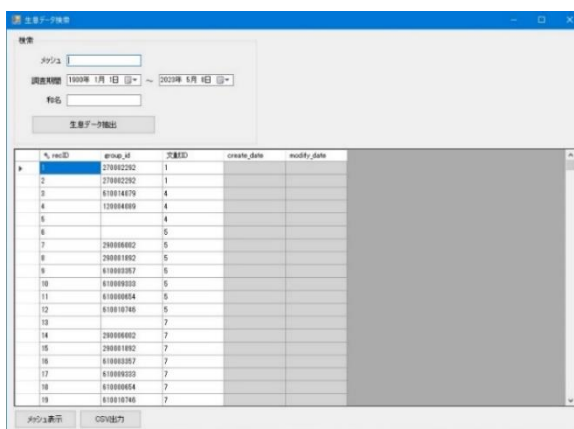


写真. データベース画面

(3) 自然環境保全活動の支援

生物多様性保全活動について、専門家の派遣を行うなどにより支援を行いました。(表4参照) また、県指定種の保全・周知を進めるため、県指定種パンフレットを増刷しました。

表 4. 自然環境保全活動の実施状況

対象種	活動時期	実施内容
マメナシ	令和4年4月	保全活動団体、専門家とともに調査および保全活動を行った。
ギフチョウ	令和4年4月	保全活動団体とともに調査を行った。
アゼオトギリ	令和4年6月	保全活動団体、専門家とともに保全活動を行った。
マイヅルテンナンショウ	令和4年6月	保全活動団体とともに調査を行った。
ハルサキヤマガラシ (外来種)	令和4年6月	保全活動団体とともに駆除活動を行った。
ため池の外来種	令和4年11月	保全活動団体とともに駆除活動を行った。
フクロウ	令和4年11月	保全活動団体とともに保全活動を行った。
須賀利大池	令和5年3月	保全活動団体、専門家とともに調査および保全活動を行った。



写真. 保全活動の実施状況（マメナシ）



写真. 保全活動の実施状況（ギフチョウ）



写真. 保全活動の実施状況（マイヅルテンナンショウ）



写真. 保全活動の実施状況（フクロウ）

5 主な経費の内訳

項目	数量	単位	金額 (千円)	備考
野生生物の生息状況調査（鳥類）	1	式	426	委託料：418 旅費：6 使用料：2
希少種評価対象リストの作成・調査及び普及啓発（委託）	1	業務	13,881	・専門家による改訂委員会設置 ・専門家団体による生息状況調査 ・普及啓発
データベース整備（委託）	1	業務	2,145	
自然環境保全活動の支援	1	式	110	報償費：18 旅費：34 消耗品費：16 傷害保険料：5 使用料：37
普及啓発物品の作成	1	式	73	県指定種パンフレット：3000部
その他事務経費等	1	式	437	
合計			17,072	

森林とふれあう自然公園環境整備事業

令和 5 年 3 月末現在

1. 事業の目的

地域の活動団体や市町等と連携し、自然公園や森林公園を活用した森林教育のイベントやガイドツアーなどの推進と、自然公園や森林公園にある歩道等の施設整備を行うことにより、県民が森林や緑と親しむ機会を創出し、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深めます。

2. 令和 4 年度事業実績

1) 森林にふれあう活動の推進

県民が森林とふれあう機会を増大するため、県内にある自然公園内の園地や歩道、森林公園を活用して自然観察ツアーや森林教育イベントを行い、豊かな生態系の観察や森林のはたらきを伝えると共に、一人ひとりが健やかな森林を次世代に引き継ぐ大切さを感じることができる「県民全体で森林を支える社会づくり」のための森林教育と施設整備を行いました。

◆自然公園・自然歩道での取組状況



自然観察ツアー

ウォーキングツアーの状況



自然観察ツアー

ウォーキングツアーの状況



自然観察ツアー

ツアーガイドからの説明状況



自然観察ツアー

ツアーガイドからの説明状況



森林教育イベント（植樹体験）

参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）

参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）

参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）

参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）

◆大杉谷登山歩道での取組状況



自然観察ツアー&ボランティア整備

ツアーガイドからの説明状況



自然観察ツアー&ボランティア整備

ツアーガイドからの説明状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者による歩道の補修作業状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者による歩道の補修作業状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者によるゴミ拾い作業状況
(自然環境保全活動)



自然観察ツアー&ボランティア整備
集められたゴミ
(自然環境保全活動)

◆ 森林公園での取組状況

○ 三重県民の森



森林教育イベント「アスレックをつくろう！」
参加者による木製アスレックの整備状況



森林教育イベント「アスレックをつくろう！」
参加者による木製アスレックの整備状況



森林教育イベント「アスレックをつくろう！」
丸太ベンチづくりの状況



森林教育イベント「アスレックをつくろう！」
森林教育実施状況（ヒノキチップづくり）

○上野森林公園



森林教育イベント「親子で大工体験」
講師からの説明状況



森林教育イベント「親子で大工体験」
講師からの説明状況



森林教育イベント「親子で大工体験」
丸太椅子製作体験



森林教育イベント「親子で大工体験」
大工体験状況

◆ 森林教育実績

自然公園名	自然公園施設名	実施場所	実施日	参加人数	内容
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	伊勢市	9月24日	6名	自然観察と文化歴史ツアー（二見町ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	10月1日	7名	自然観察ツアー（菅島ウォーキング）と海女さんふれあい体験
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	志摩市	10月23日	22名	自然観察ツアー（麦崎ウォーキング）と魚釣り体験
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	11月6日	19名	自然観察ツアー（神島ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	11月19日	48名	森林教育イベント（クラフト体験教室）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	11月20日	12名	森林教育イベント（クラフト体験教室）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市 志摩市	12月3日	9名	自然観察ツアー（青峯山ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	南伊勢町	12月4日	12名	自然観察ツアー（宿浦・田曾浦の浅間山ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	志摩市	1月15日	16名	自然観察ツアー（国府散策ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	志摩市	1月29日	20名	自然観察ツアー（御座金比羅山と英虞湾を巡るウォーキング）
吉野熊野国立公園	大杉谷登山歩道	大台町	8月6, 7日	8名	自然観察ツアー（トレッキング）とボランティア整備（歩道整備、ゴミ拾い）
			10月29, 30日	8名	自然観察ツアー（トレッキング）とボランティア整備（歩道整備、ゴミ拾い）
鈴鹿国定公園	御在所岳園地	菟野町	9月11日	55名	森林教育イベント（植樹：自然環境保全活動）
吉野熊野国立公園 奥伊勢宮川峡県立 自然公園	大杉谷登山歩道 大杉谷自然の家	大台町	10月23日	18名	森林教育イベント（森林と水のサイクリングツアー）
自然公園外	上野森林公園	伊賀市	3月4日	22名	森林教育イベント（木製ベンチ整備）
自然公園外	三重県民の森	菟野町	3月12日	13名	森林教育イベント（木製複合遊具（すべり台）整備）

◆ 自然公園等の年間利用者数

名称	利用者数（人）	備考
大杉谷登山歩道（吉野熊野国立公園内）	6,670	令和4年度実績
伊勢志摩国立公園	576万	令和2年度実績
御在所ロープウェイ（鈴鹿国定公園内）	319,533	令和3年度実績
奥伊勢宮川峡県立自然公園	585,000	令和2年度実績
三重県民の森	183,139	令和4年度実績
上野森林公園	116,026	令和4年度実績

3. 『みえ森と緑の県民税』による取り組みであることの周知方法

- ・自然観察ツアーや森林教育イベント（以下、イベントという。）の募集チラシや自然公園内での活動ポスター等に、『みえ森と緑の県民税』を活用していることが分かるように周知を行いました。
- ・イベントの参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』のパンフレットなどの配布を行い、開催時の最初に参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』の目

的や認知度確認、並びに参加しているイベントが『みえ森と緑の県民税』の取り組みのひとつであることの周知を行いました。

- ・ イベント開催中は、『みえ森と緑の県民税』によるイベントであることが分かるように『のぼり旗』を設置し、イベント参加者以外の方々にもPRを行いました。
- ・ 植樹活動や施設整備の修繕が行われた箇所には、『みえ森と緑の県民税』を活用して行われたことが分かるように看板などを設置しました。
- ・ ホームページやSNSなどを活用してイベントの状況を掲載しています。
- ・ 県立図書館や県庁舎で、事業の内容と取り組み状況についてパネル展示によるPRを行いました。
- ・ イベントの中にはケーブルテレビで放送されたものもあり、多くの方々に情報発信ができました。

◆ イベント開催募集チラシや自然公園内の活動状況ポスターでの周知状況



チラシやポスターでの周知状況

活動目的やロゴマークなどを記載

◆ イベント開催時に活用したパンフレット



◆ イベント開催中での周知状況



イベント開催中での周知状況

「みえ森と緑の県民税」のぼり旗を設置

◆ 施設整備を行った箇所の周知状況



自然環境保全活動を行った箇所の周知状況

「みえ森と緑の県民税」の看板を設置
(御在所岳)



施設整備を行った箇所の周知状況

「みえ森と緑の県民税」の看板を設置
(上野森林公園)

◆ ホームページでのイベント実施状況の周知

三重県 Mie Prefectural Government

サイト内検索 Google™カスタム検索 検索

くらし・環境 防災・防犯 健康・福祉・子ども スポーツ・教育・文化 観光・産業・しごと まちづくり 県政・お知らせ情報 組織・業務

現在位置: トップページ > くらし・環境 > 自然環境 > 自然公園 > お知らせ >
『みえ森と緑の県民税』を活用して、三重県民の森の木製複合遊具（すべり台）がリニューアルされました！
担当所属: 県庁の組織一覧 > 農林水産部 > みどり共生推進課 > 自然公園班

自然公園

- お知らせ
- 三重の自然公園
- 国立公園湯喫プロジェクト
- 長距離自然歩道
- 自然公園に関する法令
- 自然公園に関する計画
- 三重の美しい景色

『みえ森と緑の県民税』を活用して、三重県民の森の木製複合遊具（すべり台）がリニューアルされました！

令和5年3月12日（日）、三重県民の森において、みえ森と緑の県民税を活用した森林教育イベント「アスレチックをつくろう！」を開催しました。小雨の中、県内から4家族13名が参加し、三重県民の森にある人気の木製複合遊具（すべり台）の修繕作業が行われました！

最初に、参加者にもみえ森と緑の県民税の目的と森林の働きなどについて学んでいただき、続いてメインとなる木製複合遊具（すべり台）の修繕作業を行いました。講師からは、道具の使い方や作業の手順などの指導を受けながら、参加されたみなさんに修繕作業を実施していただきました。

また、作業終了後、間伐が行われた森林を見学し、間伐作業の目的を学んでいただきました。子供たちには、間伐の際に発生した枝を集めて、チップパー機（破砕機）により木材チップを作成してもらい、転倒時のケガ防止のためのクッション材として、今回、修繕作業を行った木製複合遊具（すべり台）の下に敷きならべて完成しました。

◆ 県立図書館及び県庁舎でのパネル展示による周知状況



周知状況（パネル展示）

県立図書館



周知状況（パネル展示）

津庁舎



周知状況（パネル展示）

伊勢庁舎



周知状況（パネル展示）

尾鷲庁舎

◆テレビ取材状況

森林教育イベント「親子で大工体験」

テレビ撮影状況（上野森林公園）

4. 参加者の意見及び感想

- ・サイクリングを通して森林のことも学べてとてもよかったです。
- ・みえ森と緑の県民税について周知する事が必要だと思います。今回のイベントに参加し、その事を知る事が出来て良かったです。
- ・コンクリートや護岸工事などで土地を固めるのではなく、昔の日本の治水の技や作法を取り入れた山の整備を希望します。豊かな三重の森をこれ以上無くさずにおいてほしいです。学校教育でも森の現状や回復の方法などもっと取り上げてほしいです。
- ・自然について仙人から学ぶことができておもしろかった。自然と関わる活動を増やしてほしい。今回の貴重な体験を、ありがとうございました。
- ・普段、木材に触れる機会がないので、子どもたちにとって良い経験になりました。
- ・子どもと一緒に、なかなか出来ないことが出来て良い経験になりました。
- ・のこぎり、かなづち、皮むき、全部力があるものだったけど、やり終わったら達成感があった。
- ・初めて植樹の体験ができ、楽しかった。
- ・シカによる食害が進んでいることを知って、驚いている。

5. 主な経費の内訳

委託業務名	契約先	契約額（円）
森林とふれあう自然公園 環境整備業務委託（大杉 谷）	公益社団法人 大杉谷登山センター	3,520,000
Happy Birthday! 伊勢志 摩国立公園	一般財団法人伊勢志摩国 立公園協会	1,661,000
森林とふれあう自然公園 環境整備業務委託（御在 所岳）	御在所ロープウェイ株式 会社	869,000
森林とふれあう自然公園 環境整備業務委託（宮川 ダム湖）	NPO 法人大杉谷自然学校	627,000
森林とふれあう自然公園 環境整備業務委託（三重 県民の森）	NPO 法人 ECCOM	957,000
森林とふれあう自然公園 環境整備業務委託（上野 森林公園）	NPO 法人 ECCOM	968,000
その他事務経費等		455,489
合計		9,057,489